



<http://www.wakayama-u.ac.jp/>



2015

outline of
wakayama
univ.

和歌山大学概要

outline of wakayama univ.

1. 教育・研究目的

大学の教育研究上の目的に関すること

- ・和歌山大学の目的及び使命 2

2. 教育・研究組織

教育研究上の基本組織に関すること

- ・機構図 6
- ・学部・大学院・特別専攻科 7
- ・附属機関 12

3. 教職員数・活動体制

教育組織、教員の数等に関すること

- ・教職員数 21
- ・役職員一覧 23
- ・役員会等 24
- ・各組織間の連携を図る体制、委員会等 25

4. 学生の受入・進路状況

入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数、並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

- ・アドミッションポリシー、選抜状況、入学者数 26
- ・学生数 28
- ・卒業生・修了者数 31
- ・進路状況 32

5. 授業科目・計画

科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

- ・各学部のカリキュラム 35

6. 卒業・修了評価基準

学修の成果にかかる評価及び卒業または修了の認定に当たっての基準に関すること

- ・各学部・大学院の単位認定・成績評価基準 46
- ・各学部の卒業要件・判定基準、大学院の修了要件・認定基準 47

7. キャンパス・教育研究施設

校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

- ・キャンパスマップ 48
- ・学生支援施設、体育施設 50
- ・課外活動施設、休息のとれる施設など 51
- ・土地・建物 一覧 52

8. 授業料・入学金

授業料、入学金、その他の大学が徴収する費用に関すること

- ・検定料・入学金・授業料 54
- ・学生寮、下宿等の費用 54

9. 学生の修学及び生活支援

大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

- ・授業料免除、奨学金等 54
- ・各種支援窓口 55

10. 各種資料 56

平成27年度 学年暦

平成27年

4月	1日(水)	第1学期開始
	5日(日)	入学式
	6日(月)	ガイダンス
	7日(火)	//
	8日(水)	第1学期授業開始
	15日(水)	第1学期履修登録締切
	29日(水)	休日(昭和の日)
	30日(木)	代替授業日:月曜日授業実施
5月	3日(日)	休日(憲法記念日)
	4日(月)	休日(みどりの日)
	5日(火)	休日(こどもの日)
	6日(水)	休日(振替休日)
6月	1日(月)	創立記念日
	26日(金)	授業休止日(学生大会)
7月	17日(金)	第1学期試験時間割発表
	20日(月)	休日(海の日)
	30日(木)	予備日
	31日(金)	第1学期補講・試験期間開始
8月	6日(木)	第1学期補講・試験期間終了
	7日(金)	予備日
	10日(月)	夏季休業開始
		夏季一斉休業開始
	14日(金)	夏季一斉休業終了
9月	18日(金)	夏季休業終了
	21日(月)	休日(敬老の日)
	22日(火)	休日(国民の休日)
	23日(水)	休日(秋分の日)
	30日(水)	第1学期終了
10月	1日(木)	第2学期開始
		第2学期授業開始
	8日(木)	第2学期履修登録締切
	12日(月)	休日(体育の日)
11月	3日(火)	休日(文化の日)
	20日(金)	授業休止日(大学祭準備)
	21日(土)	大学祭
	22日(日)	大学祭
	23日(月)	休日(勤労感謝の日)(大学祭後片付)
	26日(木)	代替授業日:月曜日授業実施

12月23日(水) 休日(天皇誕生日)

27日(日) 冬季休業開始

平成28年

1月	1日(金)	休日(元日)
	5日(火)	冬季休業終了
	7日(木)	代替授業日:月曜日授業実施
	8日(金)	代替授業日:火曜日授業実施
	11日(月)	休日(成人の日)
	15日(金)	授業休止5・6限(センター試験準備)
	16日(土)	大学入試センター試験実施 ※(関係者以外入構禁止)
	17日(日)	大学入試センター試験実施 ※(関係者以外入構禁止)
	21日(木)	第2学期試験時間割発表
2月	2日(火)	予備日(1/15代替授業5・6限)
	3日(水)	予備日
	4日(木)	第2学期補講・試験期間開始
	10日(水)	第2学期補講・試験期間終了
	11日(木)	休日(建国記念の日)
	12日(金)	予備日
	25日(木)	前期日程入学試験実施 ※(関係者以外入構禁止)
3月	12日(土)	後期日程入学試験実施 ※(関係者以外入構禁止)
	16日(水)	春季休業開始
	20日(日)	休日(春分の日)
	21日(月)	休日(振替休日)
	25日(金)	学位記・修了証書授与式
	31日(木)	第2学期終了 春季休業終了



瀧 寛和

Hirokazu Taki

1956年大阪府生まれ。大阪大学工学修士（制御工学）、工学博士（知能情報学）。1980年三菱電機株式会社に入社。1986～1990年財団法人新世代コンピュータ技術開発機構の研究開発に参加。1998年から和歌山大学システム工学部教授。同学部長、副学長、システム情報学センター長、工学自然科学系長などを経て、2015年から学長。専攻は知識情報処理、人工知能、知的システム。

和歌山大学は、自信を持って 社会で活躍できる学生を育て、 地域と融合する大学を目指します

和歌山大学は、1949年（昭和24年）5月、和歌山師範学校（男子部・女子部）、和歌山青年師範学校及び和歌山経済専門学校を包括し、学芸学部（現・教育学部）・経済学部の2学部をもって発足しました。1995年（平成7年）10月にシステム工学部を開設、2004年には法人化により国立大学法人和歌山大学となり、その後2008年（平成20年）4月には、経済学部観光学科を母体に観光学部を設置し、現在は、4学部4大学院研究科（システム工学研究科及び観光学研究科は博士課程）からなる中規模総合大学となっています。

また、2014年4月には観光学研究科に博士課程を開設し、学士課程から大学院博士課程までの観光学教育によって、深く多様な学識と鋭い現実分析の方法をもつ観光立国日本を担う人材を養成する唯一の国立大学となりました。

2016年度から第3期（2016年～2021年）中期目標・中期計画に基づく運営が始まります。第3期中期目標の〈基本的な目標〉は以下を予定しております。

和歌山大学は、高野・熊野世界文化遺産など豊かな歴史と環境に育まれた和歌山県唯一の国立総合大学として、学術文化の中心としての使命と役割を担い、「地域と融合」し、地域の発展に寄与する学術研究を推進し、地域創生を牽引する人材を育成します。

1. 恵まれた自然環境や文化遺産を生かした、豊かな人間性を育てる教養教育と、一つの専門性に偏らない分野横断的な専門教育により、創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
2. 学生に卒業後の進路を意識させ、確実な専門性を身につけさせる教育体系により、自らの将来に目標と自信を持ち、その実現に向けて粘り強く取り組む人材を育成します。
3. 独創的で萌芽的な研究や新たな分野を切り開く基礎研究を推進し、将来の学術基盤の核を育てます。
4. 観光学など新しい分野で先導的な研究を進展させ、世界をリードする海外の諸大学と連携した国際的な研究拠点を形成します。
5. 和歌山県を中心とするその周辺地域の発展のために、地域イノベーションを起こす応用研究・産学連携研究を進めます。
6. 地域の企業、自治体、団体と連携した実践的な課題に触れる「地域と融合した深い学び」により、柔軟な社会性と対人関係力を養い、地域に誇りを持ち、地域社会に貢献する人材を輩出します。
7. 和歌山圏域の最も重要な財産である農産物、食品の付加価値を高め、農林業と食、健康、環境に関するグリーンイノベーションプログラムを推進します。
8. 人口減少、高齢化の課題解決、防災・減災に寄与するプロジェクトに地域社会とともに取り組みます。

本冊子が、皆様に和歌山大学をご理解していただく手がかりになれば幸いです。なお最新情報につきましては、和歌山大学ホームページ（<http://www.wakayama-u.ac.jp>）をご覧ください。

1 教育・研究目的

大学の教育研究上の目的に関すること

■和歌山大学の目的及び使命

国立大学法人和歌山大学が設置する和歌山大学は、学術文化の中心として広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を研究、教授し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、社会に寄与する有為な人材を育成することを使命とする。(和歌山大学学則第1章第1条)

■大学の基本的な目標（中期目標前文）

和歌山大学は、高野・熊野世界文化遺産など豊かな歴史と環境に育まれた和歌山県唯一の国立総合大学として「地域を支え、地域に支えられる大学」であるとともに、持続可能な社会の実現に寄与することを宣言する。

その実現のため、3つの基本目標を掲げる。

1. 和歌山大学は、現代の学生の、青年期に至る人間形成上の諸課題を深く認識し、教養教育、専門教育によって「生涯学習力」を培った市民・職業人として社会に参加し、その発展に寄与できる人間を育てる。
2. 和歌山大学は、紀伊半島を含む黒潮文化圏という歴史、自然、経済、文化を活かした研究活動によって創造された知見を活かし、地域から日本と世界の発展に寄与する。
3. 和歌山大学は、教員の多様な問題関心に基づく諸活動を尊重し、職員の主体的な職務遂行を支え、学生が高度な理論と実践力を修得するとともに「学生満足」が充足される大学生活を送ることができるよう支援を強化する。また、教員・職員・学生相互の信頼関係のもとでの協働と参画を通じて、「自主・自律・共生の気風にあふれる大学」であることを目指す。



■和歌山大学 2013～2015 行動宣言

国立大学法人和歌山大学は、この間第2期(2010年4月～2016年3月)の中期目標・中期計画に基づいて教育、研究、大学経営を展開してきました。

特に2011年1月以来、第2期中期目標・中期計画の重要諸課題を絞り込んだ「2011-2013 行動宣言」は、和歌山大学改革のシンボルとして学内外の大きな共感をえて、予算獲得も含めて多くの成果を上げました。

2013-2015年行動宣言は、前宣言の成果・到達をふまえ、第2期後半期の焦点的課題を明示したものです。和歌山大学は、この8つの課題の実現を強く意識しつつ、全構成員の参画と協働で第2期中期目標・中期計画の諸課題を総合的に実現するべく大学経営を遂行します。

これまでの研究成果の蓄積及び専門教育の深化と連動しつつ、 時代と社会が求める深い教養と、自ら考え、自ら行動し、 他者とともに問題解決に取り組むことのできる実践力をもつ人間を育てます。

- ①各学部・研究科における特色あるカリキュラムの実践とともに、2012年10月には教養教育に責任を持つ組織として「教養の森」センターを設置し、本格的な教養教育改革に着手しました。大学の構成員(教員・職員・学生)間の連携強化を図りつつ、2014年4月からの教養科目の再編成を目指します。
- ②キャリア支援・キャリア教育、国内外のインターンシップなどにおいても、問題解決に取り組むことのできる実践力の養成に努めました。今後は、アクティブラーニングなどの手法を導入するとともに、学部・専門領域を超えた協働型の教育プログラムの開発に取り組みます。
- ③学生の異文化理解力を養うために ASEAN 諸国における体験型学習プログラムの拡充を図るなど、学生が主体的に学び続けることができる環境づくりやそのための教育組織・体制の整備を行います。

教育・研究・地域貢献を三位一体として

『地(知)の拠点形成事業(COC)』に取り組み、学生が大学での学びを通して 地域の課題等の認識を深め、解決に向けて主体的に行動できる学生を 育成するとともに、地域再生・活性化の拠点となる地方国立大学を形成します。

- ①「地域を支え、地域に支えられる大学」として、これまでに取り組んで来た教育・研究・地域貢献に関する知識と経験を生かし、和歌山圏域の抱える人口の減少や高齢化、地域産業の活力の低下などの課題解決のため、個人・学部の枠を越えた全学的取り組みとして『地(知)の拠点形成事業』を展開します。
- ②本事業を和歌山大学の重点事業のひとつとして、これらに取り組む学内組織・教職員及び地域における関係機関、企業、NPO 法人等を積極的に支援します。
- ③本事業における研究及びフィールドワークなどの成果に基づき、新たな学生の教育プログラムを構築します。

和歌山大学の教育・研究拠点の整備を進めるため、図書館の施設・設備・機能を さらに充実させるとともに、教養教育、わかやま学、グローバル教育などの 連携を深め、和歌山に育ち世界に羽ばたく優秀な人材の発信基地とします。

- ①学生が集まる場所、主体的な学習の場所として、図書館を活性化するため、施設の増・改築、設備の充実などを行うとともに、教養科目の「教養の森ゼミナール」を図書館内で開講するなど教養教育との連携を図ることなどにより、図書館機能を強化しています。
- ②今後とも、各学部における専門教育の深化、教養教育改革の拠点として、また紀州経済史文化史研究所を中心とした『わかやま学』の充実、国際教育研究センターを中心としたグローバル教育の進展とも連動しながら、さらなる教育・研究機能の充実に努めます。
- ③これらの図書館機能の強化により、図書館の利用者数は増加傾向にあります。引き続き、全ての利用者の関心に応えられるレファレンスを重視した図書館運営に努めます。

教育及び地域貢献の基礎となり、和歌山大学という高等教育機関の存立の 基盤である研究の充実を図りイノベーションの創出を支援するとともに、 学内及び国内外との共同研究や企業・自治体等との研究上の連携を強化します。

- ①観光学研究の中心拠点の構築と世界レベルの研究への発展、文部科学省が策定する「理工系人材養成戦略(仮称)」に対応した研究の充実や大学院への社会人受け入れの促進など、時機に適したさまざまな課題に積極的に取り組みます。
- ②教育組織と教員(研究)組織を分離し、限られた学内資源を有機的連携のもとに有効活用することにより研究交流及び共同研究を促進するなど、研究環境の改善に努めます。
- ③新たな発想を生みだし、それらが成熟した研究プロジェクトに至るまでの過程において、より円滑に研究活動を発展させることができるよう、引き続き、研究組織及び研究支援システム等のあり方について検討します。

和歌山の地域と世界にとって不可欠な防災・災害時支援及び農・林にかかわる教育・研究の充実など地域創造支援事業に全体的に取り組みます。

- ①和歌山という地域の重要な財産である農業や林業および食、健康、環境にかかわる事業の発展に寄与する研究プロジェクトを推進します。
- ②和歌山はもとより、我が国及び世界にとって優先すべき課題のひとつである防災・災害時支援等に関する教育・研究プロジェクトについて全学的な取り組みを進めるとともに、関係機関等との連携を図り、外部の有識者等による委員会を立ち上げつつ、地域全体で推進する体制を構築します。

『ミッションの再定義』を踏まえて、和歌山大学の強みや特色を活かしつつ、社会のニーズに的確に対応した教育・研究体制及び組織を再編し、そのために必要な教員組織及び事務組織の改革を実行します。また大学経営・運営の本質を見つめ、次代を担う人材を養成します。

- ①『ミッションの再定義』により明確化される和歌山大学の強みや特色を活かし、学長を中心として全学的な教育改革の方針及び実現へのプロセスなどを早急に取りまとめます。
- ②国立大学法人を取り巻く環境が大きく変化している中で、社会の要請に対応可能な教育・研究体制を再編するため、学部、大学院等教育組織、センター等共同教育研究組織、事務系組織等の改革を進め、限られた学内資源を有効活用することを可能にします。これにより、学生・教職員がそれぞれメリットを享受できるよう配慮し、努力します。
- ③大学経営・大学運営の本質を見つめ、困難な時代に積極的に立ち向かうことのできる、次の時代を担う人材を養成します。近い将来に大学法人経営に役員として参画できる職員を生み出すこと、合わせて男女共同参画の実現を目指します。

大学が保有する知的、人的、物的な財産を十二分に活用・広報し、小・中学生、高校生が憧れと入学の希望をもち、地域の人々の声援を受け、地域の誇りとなる大学を目指します。

- ①和歌山大学の貴重な財産ともいえるべき、教育、研究、人、施設、文化財などに関する情報の交流を円滑に行うことができるような定期的な研究交流・情報交流などの場を設けます。
- ②それらの情報を積極的に発信し、地域の皆様に愛される和歌山大学を目指します。また、和歌山の人々に「我がふるさとに和大有り」と思ってもらえるよう、和歌山大学ブランドの形成に努めます。
- ③小・中学生、高校生が和歌山大学に対する関心と憧れをさらに抱いてくれるよう、「おもしろ科学まつり」「公開体験学習会」「出前授業」等への参加、「学習補充教室推進事業」の受託、オープンキャンパスの充実、図書館見学の受け入れなどを積極的に推移します。

大学と同窓会等、同窓会等相互の連携を促し、学年・卒業生の生涯を支援します。

- ①和歌山大学は1949年からはじまる新制大学以前からの歴史の中で、輩出された有為な人材、母校への高い誇りを持つ卒業生、同窓生とともに、真の「就業力」形成に取り組み、学生が人生の自己決定をできるよう支援します。
- ②学部ごとにおかれている同窓会、後援会の支部及びそれぞれにおける世代を越えた交流・連携を促進するため、同窓会連携室を設置して具体的な方策を検討・実施します。
- ③自校の伝統と歴史、文化を掘り起こし、自校史教育を学生の教育プログラムに取り込みます。また、継承された貴重な資料等を整理し、広く公開することにより、自校への愛着や誇りを醸成します。



■和歌山大学の教育目的

和歌山大学は、和歌山、南大阪地域の学術文化の中心として広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を研究、教授し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、社会に寄与する有為な人材を育成します。このたび、この目的を達成するための教育における3つの方針を策定しました。

●〈学部・大学院 共通〉●

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1. 学問への探究心にあふれ、課題解決のため意欲的に取り組むことのできる人
2. 明確な目的意識をもつ人
3. 新しいことに積極的に挑戦する意欲をもつ人

●〈学部〉●

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 教養教育、専門教育によって「生涯学習力」を培った市民・職業人として社会に参加し、その発展に寄与する能力を備えている。
2. 幅広い知識とコミュニケーションで他者とともに問題解決に取り組む能力を備えている。
3. 獲得した知識や技能を社会に役立てる実践的能力を備えている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 豊かな知性と人間性を育み、基本的な学習能力を獲得するため、すべての学生を対象に学生の現状と、時代と社会が求める人間像を踏まえた教養教育を実施する。
2. 専門的知識と実践力を体系的に学ぶために、学部の人材養成に照らした専門教育を実施する。
3. 最先端の研究活動や社会的活動の実施、あるいは教員・学生間のコミュニケーションを通じて、専門的知識を社会に役立てるための教育を実施する。
4. 学んだ知識やスキルを統合し、問題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する少人数教育を実施する。
5. 国際的視野や異文化理解能力、コミュニケーション能力を養う体験型プログラム等の教育を実施する。

●〈大学院〉●

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 各専門分野に通じ、時代と社会が求める高度な専門性と学際性を備えている。
2. 幅広い見識と深い学識を基に、高度な分析能力や応用能力、他者に平易かつ論理的に表現する能力を備えている。
3. 問題解決のために必要な高度の専門知識を自主的に学習し、高い水準で獲得する能力を備えている。

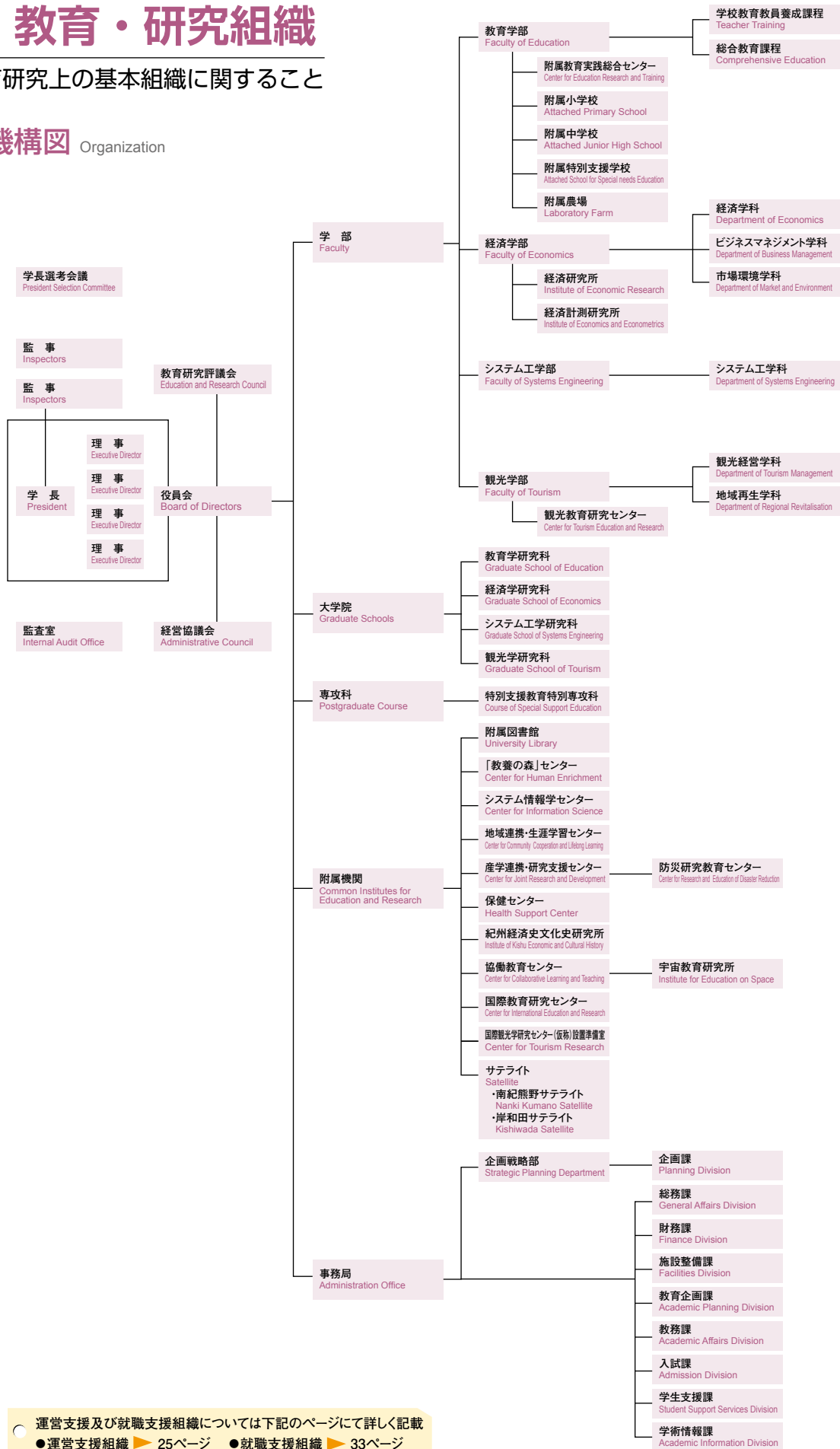
カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 各分野に通じ、高度な専門性と学際性を総合的に推進するカリキュラムを実施する。
2. 幅広い見識と深い学識を論理的実践的に自ら追求するため、専門的知識と実践力を体系的に学ぶための専門教育を実施する。
3. 先見性・創造性の伴う思考力と対応力を育成する教育を実施する。
4. 高度な分析能力を身につけ、専門知識、技能を展開して問題解決にあたる能力を培うため少人数による演習形式による授業を実施する。

2 教育・研究組織

教育研究上の基本組織に関すること

機構図 Organization



運営支援及び就職支援組織については下記のページにて詳しく記載
 ●運営支援組織 ▶ 25ページ ●就職支援組織 ▶ 33ページ

■学部・大学院・特別専攻科 Faculties, Graduate Schools, Postgraduate Course

○学部 Faculty

学部	学科	コース・メジャー・科目
教育学部 Faculty of Education	学校教育教員養成課程 Teacher Training	<ul style="list-style-type: none"> ・教育科学コース Education Science Course ・教科教育コース Subject Teaching Course ・児童教育コース Primary Education Course
	総合教育課程 Comprehensive Education	<ul style="list-style-type: none"> ・文化研究プログラム Program in Cultural Studies ・環境教育プログラム Program in Environmental Education
経済学部 Faculty of Economics	経済学科 Department of Economics	<ul style="list-style-type: none"> ・経済社会理論科目群 Socio-Economics ・政策科学科目群 Economic and Social Policy ・応用社会分析科目群 Applied Socio-Economic Analysis
	ビジネスマネジメント学科 Department of Business Management	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント科目群 Management ・会計科目群 Accounting ・情報科目群 Information Technology
	市場環境学科 Department of Market and Environment	<ul style="list-style-type: none"> ・流通システム科目群 Commercial System ・経済環境科目群 Economic Environment ・法律科目群 Law
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	システム工学科 Department of Systems Engineering	<ul style="list-style-type: none"> ・機械電子制御 Mechatronics ・電子計測 Electronic Measurement ・応用物理学 Applied Physics ・化学 Chemistry ・知能情報学 Intelligent Informatics ・ネットワーク情報学 Network Informatics ・環境科学 Environmental Science ・環境デザイン Environmental Design ・メディアデザイン Media Design ・社会情報学 Socio-Informatics
観光学部 Faculty of Tourism	観光経営学科 Department of Tourism Management	<ul style="list-style-type: none"> ・観光マネジメントコース Tourism Management ・観光マーケティングコース Tourism Marketing
	地域再生学科 Department of Regional Revitalisation	<ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくりコース Tourism & Regional Revitalisation ・観光文化コース Tourism & Culture ・観光コンテンツコース Tourism & Contents

教育学部 Faculty of Education

<学部・課程の教育目的>

学部は、教育と関わる職業人の養成を目的とし、学校教育教員養成課程では、人間と教育、科学や芸術に関する専門的知識と教育実践力を備えた教育に関わる人材を養成し、総合教育課程では、文化と環境についての幅広い知識を備え、それを活かして社会の様々な教育関連の仕事に携わる、豊かな教養のある人材を養成する。(教育学部規則 第1条の2)

学校教育教員養成課程 <small>Teacher Training</small> <ul style="list-style-type: none"> ・教育科学コース Education Science Course ・教科教育コース Subject Teaching Course ・児童教育コース Primary Education Course 	総合教育課程 <small>Comprehensive Education</small> <ul style="list-style-type: none"> ・文化研究プログラム Program in Cultural Studies ・環境教育プログラム Program in Environmental Education
---	---

時代が求める教育者を育成。

～実践を重視したカリキュラムで、教育現場に求められる素養を身につけます。～

全国的に優れた教員就職実績を誇る教育学部では、教育現場に求められる専門知識と実践的な素養を備えた教育者の育成に取り組んでいます。附属の小、中、特別支援学校をはじめ、実際の教育現場で学ぶ機会がきわめて豊富で、山間・へき地が多い和歌山ならではの「へき地・複式教育実習」など、特色ある取り組みも盛んです。また、教員免許状取得を卒業要件としない総合教育課程があります。教育学部では、多様な分野に対応したカリキュラム、各分野の専門家である教員を備えており、さまざまな分野に触れてから自分が専門的に学びたい分野を選べるのも大きな特色です。

経済学部 Faculty of Economics

<学部の教育目的>

学部は、広い視野と専門領域に応じた基礎学力及び経済社会を体系的に理解できる能力をもち、経済社会のさまざまな問題を真摯に受け止め、的確に判断し創造的・実践的に対応できる人材を育成することを目的とする。(経済学部規則 第1条の2)

経済学科 <small>Department of Economics</small> <ul style="list-style-type: none"> ・経済社会理論科目群 Socio-Economics ・政策科学科目群 Economic and Social Policy ・応用社会分析科目群 Applied Socio-Economic Analysis 	(学科の教育目的) 経済学科は、経済現象とそれを生み出すメカニズムを分析するとともに、経済現象と社会的文化的諸現象との相互の結びつきを分析して、現代社会が抱える多様な諸問題を解明するための研究と教育を行い、幅広い視野に立って判断し行動できる創造的な人材の育成を行う。(経済学部規則 第2条の2)
ビジネスマネジメント学科 <small>Department of Business Management</small> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント科目群 Management ・会計科目群 Accounting ・情報科目群 Information Technology 	(学科の教育目的) ビジネスマネジメント学科は、多角的な教育により、社会貢献や情報化社会への対応が求められる現代の企業において、時代の変化に応じ、組織原理や経営行動の創造的変革に対応できる人材の養成を目指す。(経済学部規則 第2条の2)
市場環境学科 <small>Department of Market and Environment</small> <ul style="list-style-type: none"> ・流通システム科目群 Commercial System ・経済環境科目群 Economic Environment ・法律科目群 Law 	(学科の教育目的) 市場環境学科は、市場及びそれを取り巻く環境について、流通・経済・法律・情報・文化等の各分野から多角的に考察・研究することを通じ、市場のシステムを把握し、市場の動きを予測できる冷静かつ柔軟な思考力と判断力等の能力を有する人材の育成を目指す。(経済学部規則 第2条の2)

経済で「世界」を読み解く。

～経済学的な視点から社会を分析し、未来を切り開く力を養います。～

経済について理解を深めることは、ビジネスに強くなるだけではなく、社会の全体像への理解を深めることにつながっています。和歌山大学経済学部では、経済学科、ビジネスマネジメント学科、市場環境学科という3つの学科を設け、さまざまな角度から現代社会の課題にアプローチします。社会のあらゆる分野で活用することができる知識とスキル、そして経済学的な考え方を習得することができます。また、近年のグローバル化、高度情報化にいち早く対応し、国際的な視点に立った教育、情報技術を習得する授業などが充実しています。

＜学部教育目的＞

システム工学部は、その理念「複数の領域の知識を身につけ、その知識を自ら活用することで、創造性を発揮し、様々な人とのコミュニケーションを通して、課題の探求と問題解決を行い、自然や人間社会に貢献できる専門的技術者・研究者を養成する」に即して、分野を横断する複数領域の知識を身につけ、その知識を自ら活用することにより、広い視野から時代の要請に応え、課題解決のできる研究者や技術者を養成する。(システム工学部規則 第1条の2)

<p>システム工学科 Department of Systems Engineering</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械電子制御 Mechatronics ・ 電子計測 Electronic Measurement ・ 応用物理学 Applied Physics ・ 化学 Chemistry ・ 知能情報学 Intelligent Informatics ・ ネットワーク情報学 Network Informatics ・ 環境科学 Environmental Science ・ 環境デザイン Environmental Design ・ メディアデザイン Media Design ・ 社会情報学 Socio-Informatics 	<p>(学科の教育目的) システム工学科は、広範な基本的教養及び専門の基盤となる幅広い知識、さらに工学に関する専門的知識を修得し、柔軟な専門性を持ち、産業構造の変化及び、オープンイノベーションに対応できる高度技術者を育成することを目的とする。 (システム工学部規則 第1条の2 第2項)</p>
---	---

複合的な研究分野から未来を切り開くエンジニアへ

システム工学部では開設20年を迎え、従来の5学科を10の教育・研究領域(メジャー)から成る1つのシステム工学科に統合しました。システム工学科では、学生の皆さんが思い描くキャリアパスに応じて、2つのメジャーを選び、専門を学びます。この改革は、これまで進めてきた「複数の技術領域を見通し、新しい産業の創成に寄与できる人材の育成」を深化させ、自ら学び考える力を持ち、学術・産業研究を含む広範な理工系分野で活躍する自律的な高度技術者の育成をめざしたものです。これに伴って、産業技術を理解し、次世代の理工系人材育成を担う教員を育成するスーパーサイエンスティーチャープログラムや、学部と大学院を連携させ、高度な専門知識・技術を学ぶ大学院特進プログラムを準備し、多様なキャリアパスへの挑戦ができるようにしました。

＜学部教育目的＞

学部は、今日の観光を支えるにふさわしい幅広い教養、日本文化に対する理解と知識、ITスキル、そして高度な外国語運用能力をバランス良く備えた人材の育成を目的とする。(観光学部規則 第1条の2)

<p>観光経営学科 Department of Tourism Management</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光マネジメントコース Tourism Management ・ 観光マーケティングコース Tourism Marketing 	<p>(学科の教育目的) 観光経営学科は、観光産業や関連集客交流産業のリーダーとして活躍する人材を育成する。(観光学部規則 第2条の2)</p>
<p>地域再生学科 Department of Regional Revitalisation</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光まちづくりコース Tourism & Regional Revitalisation ・ 観光文化コース Tourism & Culture ・ 観光コンテンツコース Tourism & Contents 	<p>(学科の教育目的) 地域再生学科は、観光資源の開発や地域を再生・創造するプランナーとして活躍する人材を育成する。(観光学部規則 第2条の2)</p>

観光のエキスパートを育成。

～和歌山という地の利を活かし、新しい観光学を創造します。～

近年、わが国は「観光」を戦略産業と位置づけ、観光立国に向けて官民一体で取り組んでいます。和歌山県においては、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録で、国際的に注目を集めるなか、「観光立国宣言」を掲げ、「観光」を核とした地域再生に積極的に取り組んでいます。和歌山大学観光学部はこれら恵まれた環境を活かし、全国、そして世界をフィールドに、観光産業・行政の現場と密接に連携した新しい観光学を創造します。また、観光を支えるにふさわしい豊かな教養と専門性を備えたエキスパートを育成します。

○大学院 Graduate Schools

研究科	課程・専攻
教育学研究科 Graduate School of Education	修士課程 Master's Programs ・学校教育専攻 Course Specializing in General School Education ・教科教育専攻 Course Specializing in Individual Subject Education
経済学研究科 Graduate School of Economics	修士課程 Master's Programs ・経済学専攻 Course Specializing in Economics ・経営学専攻 Course Specializing in Business Administration ・市場環境学専攻 Course Specializing in Market and Environment
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	博士前期課程 Master's Programs ・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering 博士後期課程 Doctoral Programs ・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering
観光学研究科 Graduate School of Tourism	博士前期課程 Master's Programs ・観光学専攻 Course Specializing in Tourism 博士後期課程 Doctoral Programs ・観光学専攻 Course Specializing in Tourism

○専攻科 Postgraduate Course

	課程・専攻
特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education	発達障害教育専攻 Developmental Disorders

教育学研究科 Graduate School of Education

教育学研究科 Graduate School of Education 修士課程 Master's Programs ・学校教育専攻 Course Specializing in General School Education ・教科教育専攻 Course Specializing in Individual Subject Education	<研究科の教育目的> 研究科は、学術文化の高度な研究能力及び教育者としての高い実践力・指導力を備えた高度専門職業人の養成を目的とする。(大学院教育学研究科規則 第1条の2)
---	---

高度な専門知識を持つ教育実践者を養成。

特別支援教育を含めた教育全般について研究する学校教育専攻と、各教科の教育力を高める教科教育専攻の2専攻を設け、高度な専門知識と実践的な教育スキルの育成に取り組んでいます。また、人間そのものへの理解を深める教養教育も重視し、不登校やいじめといった現代的な課題に適切に対処できる力を培います。本研究科には、教育者としての人格と技量を高めたいという志を持った現役の教員も学んでいます。

経済学研究科 Graduate School of Economics

経済学研究科 Graduate School of Economics 修士課程 Master's Programs ・経済学専攻 Course Specializing in Economics ・経営学専攻 Course Specializing in Business Administration ・市場環境学専攻 Course Specializing in Market and Environment	<研究科の教育目的> 研究科は、高い専門能力を持ち経済社会において指導的役割を担える人材、優れた分析能力に基づいて戦略的意思決定を担う高度な専門的職業人、及び厳密な学問方法論や幅広い見識を身につけた研究職従事者を育成するとともに、一層のキャリア・アップを目指す社会人または職業人及び将来諸外国との架け橋となるべく期待される留学生を積極的に受け入れ、それらに相応しい専門教育を提供することを目的とする。(大学院経済学研究科規則 第1条の2)
--	--

学識に裏付けられた高い専門能力で指導的役割を担う人材を養成。

経済学専攻・経営学専攻・市場環境学専攻の各専門的分野の研究を深めることと並んで、高度な専門的知識と能力を有する専門職業人を養成・再教育することを目指しています。

システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering

<p>システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering</p> <p>博士前期課程 Master's Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering <p>博士後期課程 Doctoral Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering 	<p><研究科の教育目的> システム工学は、さまざまな工学技術の集積と複合によって成るシステムを対象とする工学である。 したがってその重心は二つある。ひとつは個別要素技術を学び進歩させること、もうひとつはそれらに共通した概念の理解によって、システム全体の連携と調和をはかる方策を学び研究することにある。 しかも原理、理論の追求に終わることなく、応用と実践の方法を求め、それを実際に適用する実学の姿勢を貫く。(大学院システム工学研究科規則 第1条の2)</p> <p>研究科博士前期課程は、社会からの複数の分野を理解し活用出来る人材の求めに応じるため、従来 of 工学のような狭い専門分野を深く追求するだけでなく、広い視野から時代の要請に応え、それらを解決できる新しいタイプの研究者や技術者を養成する。(大学院システム工学研究科規則 第1条の2 第2項)</p> <p>研究科博士後期課程は、より複雑な要因からなる課題とその周辺状況の全体を把握し、目的・目標を的確に設定して、部分問題への展開及び個別解決の再統合ができるような能力を開発し、システム工学の頂点を究め、社会環境の改善と技術立国の推進に資することを目的とする。(大学院システム工学研究科規則 第1条の2 第3項)</p>
---	--

先端性の高い、また領域横断の研究を通して、より「人間力」の高いエンジニアを養成。

大学院は普通、学科の上に専攻と呼ぶ固定的な組織を積み上げるものですが、本研究科ではもっとしなやかに教育研究グループを構成できる仕組みになっています。

学部より先端性の高い大学院では、特定の目標に焦点をあわせた研究を推進することも、新たな発想を領域横断で追求することも、同時に求められます。本研究科では既定の枠組みにとらわれることなく、その両方を実現しています。このような教育研究環境のなかで、より「人間力」の高い人材を社会に送り出します。

観光学研究科 Graduate School of Tourism

<p>観光学研究科 Graduate School of Tourism</p> <p>博士前期課程 Master's Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光学専攻 Course Specializing in Tourism <p>博士後期課程 Doctoral Programs</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光学専攻 Course Specializing in Tourism 	<p><研究科の教育目的> 博士前期課程は、現代における観光が位置付けられている状況を踏まえ、この事態を学際的な観点から科学的に解明する高い専門知識を持ち、応用力、創造力に富み、国際的視野で行動できる人材を育成することを目的とする。(大学院観光学研究科規則第3条第1項)</p> <p>博士後期課程は、わが国における観光学の確立と観光教育研究の世界水準の高度化・国際化を速やかに達成することを通じ、観光に関わる多様な社会的実践に際し、リーダーとして活躍できる人材を育成することを目的とする。(大学院観光学研究科規則第3条第2項)</p>
--	--

観光に関する高度な専門性と学際性をもつ人材を育成。

観光学の全体像の習得を前提に、観光経営・地域再生・観光文化の3つの領域において、そのいずれかに精通しつつ高度な専門性を獲得でき、かつ全体に目配りした学際的・汎用的な能力を養います。

特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education

<p>特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害教育専攻 Developmental Disorders 	<p><専攻科の教育目的> 特別専攻科は、特別支援教育の充実に資するため、主として現職教員を対象として特別支援教育に関する専門の事項を教授し、特別支援教育に対する深い理解と優れた資質を備えた指導的人材を養成することを目的とする。(和歌山大学学則 第5章第91条)</p>
--	---

全国的に高く評価されている特別支援教育の専門課程。

特別支援教育の専門家育成は、国の重要課題の一つです。和歌山大学はこうした社会的要請を受け、特別支援教育特別専攻科を設立しました。本専攻科は、主に現職教員を対象に特別支援教育に関する専門的な知識と深い教養、そして教育現場ですぐに活用できる実践的能力の育成に取り組んでいます。特別支援教育特別専攻科では、特別支援教育に関する教育学、臨床学、医学、心理学、福祉学などさまざまな領域で教育・研究活動を展開しています。

■附属機関

Common Institutes for Education and Research

○全学 ▶ 12ページ

附属図書館 University Library
「教養の森」センター Center for Human Enrichment
システム情報学センター Center for Information Science
産学連携・研究支援センター Center for Joint Research and Development ・防災研究教育センター Center for Research and Education of Disaster Reduction
地域連携・生涯学習センター Center for Community Cooperation and Lifelong Learning
保健センター Health Support Center
紀州経済史文化史研究所 Institute of Kishu Economic and Cultural History
協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching ・宇宙教育研究所 Institute for Education on Space
国際教育研究センター Center for International Education and Research
サテライト Satellite ・南紀熊野サテライト Nanki Kumano Satellite ・岸和田サテライト Kishiwada Satellite

○教育学部 ▶ 19ページ

附属教育実践総合センター Center for Educational Research and Training
附属小学校 Attached Primary School
附属中学校 Attached Junior High School
附属特別支援学校 Attached School for Special needs Education
附属農場 Laboratory Farm

○経済学部 ▶ 20ページ

経済研究所 Institute of Economic Research
経済計測研究所 Institute of Economics and Econometrics

○観光学部 ▶ 20ページ

観光教育研究センター Center for Tourism Education and Research

就職支援組織については
33ページにて詳しく記載

全学附属機関

附属図書館 University Library

教育・研究に有用な資料の収集を行い、利用者に提供しています。また学習を支援するための環境（ラーニング・コモンズ、マルチルーム、メディアルーム、グループ学習室）や、必要な文献・資料探しのサポートを行うレファレンスコーナー、多様な学習の相談、情報を受けるクロスカル情報室を設置しています。さらに、一般市民の利用、館外カウンター、地域コンソーシアム図書館等、地域に根差した図書館の役割も担っています。

○図書冊数 Books (視聴覚資料除く)

区分 Classification	冊数 Holding
和漢書 Japanese and Chinese	536,023
洋書 Foreign	206,266
計 Total	742,289

○電子ブック数 E-Books

区分 Classification	冊数 Holding
和書 Japanese	40
洋書 Foreign	9,282
計 Total	9,322

○雑誌タイトル数 Journals

区分 Classification	タイトル数 Holding
和雑誌 Japanese	4,821 (1,377)
洋雑誌 Foreign	2,273 (132)
計 Total	7,094 (1,509)

() 内は現在の受入タイトル数で内数
The number in brackets is the number of current journal's titles

○電子ジャーナルタイトル数 E-Journals

区分 Classification	タイトル数 Holding
和雑誌 Japanese	94
洋雑誌 Foreign	2,633
計 Total	2,727



○視聴覚タイトル数 Multimedia

区分 Classification	本数 Holding
CD (Music)	1,239
DVD (Movie)	2,522
Video tape (Movie)	2,393
計 Total	6,154

数字はすべて平成 27 年 4 月 1 日現在

○年度別利用状況 The Use Situation by Year

区分 Classification	平成 22 年度 2010	平成 23 年度 2011	平成 24 年度 2012	平成 25 年度 2013	平成 26 年度 2014
入館者数 Visitors	237,601	189,979	228,705	266,151	279,354
貸出冊数 (うち学生) Loan Volumes (Students)	24,166 (20,713)	25,834 (22,700)	28,548 (24,316)	24,056 (20,186)	29,740 (25,383)
【うち一般市民等】 [General Citizen etc]	【475】	【1,114】	【1,133】	【1,231】	【1,441】

「教養の森」センター Center for Human Enrichment

全学で共通に実施する教養教育の充実および教養教育と専門教育の有機的連携を図り、本学の教育目標を達成するため、教養教育に係る企画、運営等を行い、本学の教育の質的充実に質することを目的として、平成24年10月に設置されました。



■主要業務

- ・教養科目の授業実施に係る企画・運営に関すること
- ・教養教育の改革・改善、調査研究に関すること
- ・その他センターの目的を達成するために必要な業務に関すること

システム情報学センター Center for Information Science

「情報専門教育、情報一般教育、計算機利用環境の提供、研究開発支援等に資する」ことを目的として、平成9年4月に発足した学内共同教育研究施設です。

現在は、全学の情報戦略や情報セキュリティ対策に関する事項も取り扱っています。



■主要業務

- ・情報専門教育並びにそれに必要な計算機利用環境の提供
- ・情報一般教育及び人材育成並びにそれに必要な計算機利用環境の提供
- ・計算機システムやネットワークシステムの利用支援及び研究支援及び保守管理
- ・計算機システムやネットワークに関する研究開発
- ・全学のデータベース設計、構築支援
- ・情報戦略の企画立案及び実施
- ・情報セキュリティの整備及び維持管理並びに情報セキュリティ関係の教育の実施に係る支援

地域連携・生涯学習センター Center for Community Cooperation and Lifelong Learning



地域連携・生涯学習センターは、平成10年4月に発足した学内共同教育研究施設です。「地域連携・社会貢献」を教育・研究に並ぶ大学の第3の柱と位置づけ、次の5つの特徴により、多彩な事業を展開しています。

- (1) 市街地に存在する「まちの中の大学」
- (2) 学内外の人的ネットワークを駆使して学習事業化
- (3) 地域課題に取り組む住民参加型セミナーの実施
- (4) 地域・市民の意欲と大学の人材・資源の融合化
- (5) 兼務教員・客員教員・事務スタッフが支える多彩な事業展開

産学連携・研究支援センター Center for Joint Research and Development

先端的・独創的研究の推進をめざし、重点領域を定めて、研究拠点の育成を図ります。研究面における産学官連携活動を通じて、研究成果を広く社会に還元する事を目的とします。



■主要業務

- (1) 本学における研究戦略の企画・推進
- (2) 外部の機関との共同研究及び受託研究の促進、本学の研究成果等に基づいた実用化研究及び起業化の推進及び支援その他産学官学連携活動
- (3) 新たな「知」の創出やイノベーションに繋がる研究開発の推進及び支援
- (4) 学生の独創的な研究開発の推進
- (5) 知的財産の創出、取得、管理及び活用
- (6) 技術移転の推進 等



●防災研究教育センター

Center for Research and Education of Disaster Reduction
 地域の防災研究教育拠点として平成 22 年 4 月に設置されました。東南海・南海地震などの大災害に備え、災害に強いまちづくり、防災によるまちづくり、地域の活性化を目指し、県内外の自治体・学校・関係機関などと連携をしながら、地域防災力の向上を図っています。平成 26 年 1 月に学外の有識者の方に提言をいただき、地域に貢献する研究を進め、学校教育・市民教育現場での講座開催等を行い、大学の使命である教育・研究及び社会貢献を推進しています。

保健センター Health Support Center

保健センターは、心身の健康管理を専門的・統一的に行うことにより疾病の発症を予知・予防し、学生や教職員が無事学業、あるいは職務を遂行するための支援を主な目的とする施設です。

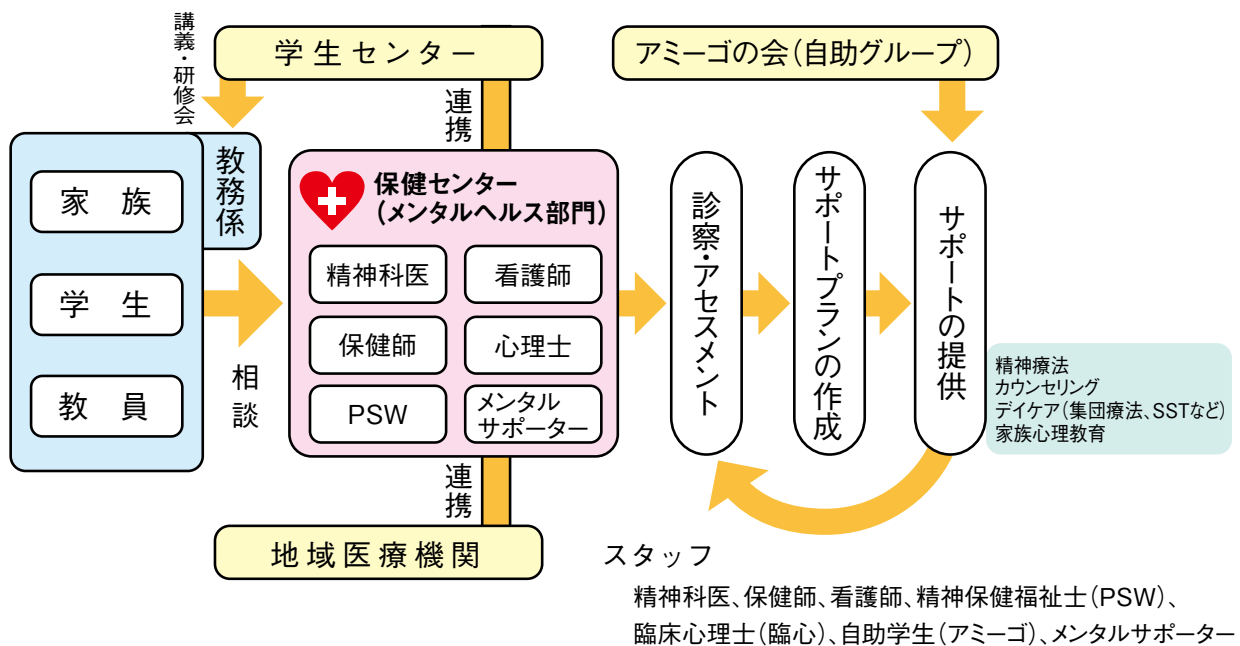
特に、近年全入学時代を迎えこころの病による障害をかかえる学生は増加しています。また、ひきこもり状態など学業への不適応をきたし、修学に困難をきたす学生の数も年々増加傾向にあります。これらが原因となり、休学・留年、そして、卒業後も未就労である学生は全国的に増加しつつあります。

保健センターでは、4 年間一貫した学生のメンタルサポート体制を充実させ、こころと身体のバリアフリーのキャンパスを目指して以下のような取り組みを実施しています。

1. こころの病をかかえた学生の入学から就労までを支援する大学でのキャンパス・デイケアの実施。
2. ひきこもりなど、学業への不適応の原因と考えられる人間関係を含めたキャンパス・スキル向上を図ることを目的とした集団療法の実施や自助グループ（アミーゴの会）の育成。
3. ひきこもりやこころの病を克服した卒業生をメンタルサポーターとして雇用し、後輩の相談やサポートにあたっている。



♥ 和歌山大学メンタルサポートシステム



紀州経済史文化史研究所 Institute of Kishu Economic and Cultural History

紀州経済史文化史研究所は、「紀州地域の経済、文化の史的研究及び自然に関する基礎的研究並びにそれらに関する資料の収集及び公開を行い「知」の提供を通じて地域社会の発展に寄与すること」を目的とした施設です。昭和26年に設立され、現在は図書館棟3階にあります。伝統もあり、全国的にも著名な施設です。

平成19年には、博物館相当施設となり、常設展や特別展なども開催しています。

主な事業は、紀州地域の史的研究や資料収集、フィールドミュージアムを基盤にすえた地域との共同研究、史料保存及び展示の開催、史料等の閲覧サービス、研究紀要の刊行、公開研究会の開催などで、地域史研究などの核となる活動をしています。



協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching

協働教育センターは、若者の自主的・創造的科学研究活動を促進するために、建物、設備、指導者、資金などの面で支援を行う日本で初めてのセンターです。

自主演習や公開体験学習会・おもしろ科学まつりなどのユニークな活動が評価され、平成15年度の文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」、平成19年度の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の指定を続けて受けました。

総合研究棟1階にあるセンターでは、本格的な金属加工・電気工作が可能なものづくり室・機械加工室に加えて、映像制作、ポスター制作、製本などができるところづくり室を用意して全学の学生の自主活動のために設備を公開しています。

これらの設備を活用したクリエプロジェクトも多数行われており、全国レベルの大会で優秀な成績を残すなど活躍しています。



●宇宙教育研究所

Institute for Education on Space

地理情報システム(GIS)や情報通信技術(ICT)に支えられ、世界中の人が等しく利用・構築できる日常的な技術として、新しい宇宙開発の時代が急速に幕開けようとしています。平時には農業や物流を支え非常時には防災・減災・緊急医療を支える、地球規模のレジリエンスで持続可能な世界を構築できる「まかせられる人材」の育成と「国際的な強固な人脈」の形成が強く求められています。豊かな自然に囲まれた紀伊半島を舞台として、宇宙教育研究所は各学部と協力し、教育手法の研究・実践および宇宙開発技術の実践・応用を推進、国内外の教育・研究機関に展開しています。



サテライト Satellite



●南紀熊野サテライト

Nanki Kumano Satellite

和歌山県と連携し、田辺市の和歌山県立情報交流センター「Big・U」内に平成17年4月に開設。和歌山大学および大学院授業を開講し、修士の学位取得をめざせるカリキュラムを編成。また、地域ニーズに対応した地域連携・産学活動も行っています。



●岸和田サテライト

Kishiwada Satellite

大阪府岸和田市と連携し、岸和田市立浪切ホール内に平成18年4月に開設。大学の知と地域の知のプラットフォームとして、地元のニーズに対応した高等教育、生涯学習機会の提供や産学官連携活動を通して、住民主体のまちづくりの発展を支援しています。

国際教育研究センター Center for International Education and Research



国際教育研究センターは、平成16年4月1日に設置されました。センターには、Section for International Education（日本語教育・海外研修）、Section for International Research（国際共同研究・国際シンポジウム）、Support Section（留学生支援・地域支援・渉外広報）の3つのセクションが配置されています。

国際交流にかかわる業務の窓口として、各セクションでは常に協力体制を保ちつつ仕事が進められています。

■学部別留学生数内訳数

The Number Items of Foreign Students According to Faculty

平成27年9月1日現在

As of September 1, 2015

区分 Classification	学部 Faculties							大学院 Graduate School							計 Total
	学生 Regular Students		研究生 Research Students		特別聴講生 Special Students		計 Total	学生 Regular Students		研究生 Research Students		特別聴講生 Special Students		計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female		男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female		
教育学部 Faculty of Education	5	10		2	3	20	40	3	10	1	1			15	55
経済学部 Faculty of Economics	6	8	4	2			20	20	39					59	79
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	4	3	1		2		10	11	5					16	26
観光学部 Faculty of Tourism		4	1	6			11	3	4		1			8	19
合計 Sum Total	15	25	6	10	5	20	81	37	58	1	2			98	179

■国別留学生数一覧

Foreign Student Enrollment by Nationalities

平成27年9月1日現在
As of September 1, 2015

出身国 Country	教育学部 Faculty of Education		経済学部 Faculty of Economics		システム工学部 Faculty of Systems Engineering		観光学部 Faculty of Tourism		計 Total
	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	
アジア州 ASIA									
中華人民共和国 People's Republic of China	28	13	16	57	4	13	7	4	142
マレーシア Malaysia					3		1		4
大韓民国 Republic of Korea	2							1	3
ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Viet Nam	4	1	2						7
スリランカ民主社会主義共和国 Democratic Socialist Republic of Sri Lanka	1								1
台湾 Republic of China				2			3	2	7
ラオス人民民主共和国 Lao People's Democratic Republic						3			3
ヨーロッパ州 EUROPE									
フランス共和国 French Republic	1				2				3
スイス連邦 Swiss Confederation					1				1
ブルガリア共和国 Republic of Bulgaria			1						1
ベラルーシ共和国 Republic of Belarus			1						1
オーストリア共和国 Republic of Austria	1								1
ロシア連邦 Russian Federation	1								1
北アメリカ州 NORTH AMERICA									
アメリカ合衆国 United States of America	1								1
グアテマラ共和国 Republic of Guatemala		1							1
南アメリカ州 SOUTH AMERICA									
アルゼンチン共和国 Argentine Republic								1	1
コロンビア Republic of Colombia	1								1
計 Total	40	15	20	59	10	16	11	8	179

■短期留学推進制度による派遣留学生数一覧

The Number List of Dispatch Foreign Students by The Short-term Studying Abroad Promotion System

平成26年度
Fiscal Year 2014

派遣先大学名(国名) Dispatch place university name (name of a country)	教育学部 Faculty of Education		経済学部 Faculty of Economics		システム工学部 Faculty of Systems Engineering		観光学部 Faculty of Tourism	
	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate	学部 Undergraduate	大学院 Graduate
浙江師範大学 (中華人民共和国) Zhejiang Normal University (CHN)	1		1				1	
慶北大学校(大韓民国) Kyungpook National University (KOR)			1				1	
パリ・デイドロ大学 (フランス共和国) University of Paris 7-Diderot (FRA)							1	
ブリッジウォーター州立大学 Bridgewater State University	1		1				1	
計 Total	2		3				4	

■交流協定大学

Agreement of International Academic Exchange

平成27年9月1日現在
As of September 1, 2015

国名 Country	大学名 University	締結年月日 Date of Agreement
大韓民国 Korea	慶北大学校人文大学 Kyungpook National University	2001.12.10 December 10.2001
中華人民共和国 People's Republic of China	東北財経大学 Dongbei University of Finance & Economics	2005. 3. 7 March 7.2005
	首都師範大学 Capital Normal University	2005.11. 9 November 9.2005
	浙江師範大学 Zhejiang Normal University	1998.12.16 December 16.1998
	山東師範大学 Shandong Normal University	1998.12. 2 December 2.1998
	山東大学 Shandong University	2000. 2.10 February 10.2000
	吉林大学 Jilin University	2003. 6.30 June 30.2003
	華東師範大学体育健康学部 East China Normal University	2007.12.11 December 11.2007
ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Viet Nam	ホーチミン市師範大学 Ho Chi Minh City University of Pedagogy	2007. 3.26 March 26.2007
	ハノイ国家教育大学 Hanoi National University of Education	2015. 3.18 March 18.2015
タイ王国 Kingdom of Thailand	カセサート大学 Kasetsart University	2013.12. 9 December 9.2013
インドネシア共和国 Republic of Indonesia	ガジャマダ大学 Universitas Gadjah Mada	2014. 1.16 January 16.2014
ラオス人民民主共和国 Lao People's Democratic Republic	ラオス国立大学 National University of Laos	2015. 3. 5 March 5.2015
フランス共和国 French Republic	トロワ工科大学 University of Technology of Troyes	1999.11.23 November 23.1999
	コンピエーニュ工科大学 University of Technology of Compiègne	
	ベルフォール・モンベリヤール工科大学 University of Technology of Belfort-Montbéliars	
	ユーロメッド・マネジメント Euromed Management	2006.12.19 December 19.2006
	パリ・デイドロ大学 University of Paris of Diderot	2008. 1.21 January 21.2008
	オーデンシア・ナント・マネジメントスクール AUDENCIA Nantes School of Management	2010. 8.23 August 23.2010
スペイン王国 Kingdom of Spain	サラゴッサ大学 University of Zaragoza	2005.12.23 December 23.2005
アメリカ合衆国 United States of America	西フロリダ大学 University of West Florida	1999.10. 6 October 6.1999
	ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 University of Wisconsin Milwaukee	1999.11. 3 November 3.1999
	ブリッジウォーター州立大学 Bridgewater State University	2005.10.21 October 21.2005
オーストラリア連邦 Australia	カーティン大学 Curtin University	1993. 3.18 March 18.1993
	カーティン・ビジネス・スクール Curtin Business School	
	カーティン言語・異文化教育スクール School of Language and Intercultural Education	
	デイキン大学 Deakin University	1999.10.21 October 21.1999
グアテマラ共和国 Republic of Guatemala	サンカルロス大学 University of San Carlos	1989. 3.30 March 30.1989



平成27年9月1日現在
As of September 1, 2015

計 26大学
Total 26 Universities

教育学部附属機関

附属教育実践総合センター Center for Educational Research and Training

教育実践総合センターは、教員と教育現場が抱える課題を解決へと導くため、「教師教育部門・授業研究部門・教育臨床部門」の3部門体制を主軸に各研究プロジェクトを立ち上げて、大学の教育研究資源と教育現場を結び、連携するための活動をおこなっています。また、教育実習に関する企画・運営はもとより、実習改革事業の立案や推進等も当センターが中心となって担っています。センター内には「模擬授業教室」を創設し、学生らの実践的力量やICT活動指導力の育成にも取り組んでいます。その他、教育関係資料や情報機材の提供、研究紀要の発行など多様な業務を実施しています。



附属小学校 Attached Primary School

附属小学校は、①先導的な教育の研究・実践（Leading）②教育実習の運営と指導（Teaching Practice）③地方教育への協力（Collaboration）という3つの使命に日々取り組んでいます。先導的な教育の研究・実践の場としては、「教科・領域の研究」「ICT活用の研究」「複式教育の研究」などに力点を置き、その成果は、「教育研究発表会」を中心に各種研究会で発表しています。平成27年度の教育研究発表会は10月31日（土）に開催します。



附属中学校 Attached Junior High School

生徒一人一人の個性と可能性を最大限に伸ばすために、ICT機器の有効活用や少人数グループでの協調学習の工夫改善に係る実践研究を行っています。本年度から研究主題を「学びをつなぐ ～21世紀型能力の育成をめざして」とし、各教科と総合的な学習の時間や道徳科の学習を関連づけながら、教育活動全体を通して生徒の資質・能力を高める授業づくりについて研究しています。



附属特別支援学校 Attached School for Special needs Education

小学部、中学部、高等部にわたって、児童生徒のニーズに応じた教育を行い、積極的に社会生活に参画できる人間の育成を目指しています。また、研究発表会や教育実習、地域連携等を通じ特別支援教育の推進を図っています。



附属農場 Laboratory Farm

自然環境と労働の尊さを学ぶ場として、附属農場での教育・研究活動を実施しています。農林科学・技術教育、生物学、障害児教育、家庭科・消費者教育などの実習・実験・講義をはじめ、課外活動にも活用されています。農業実習では、季節に応じた野菜・作物を栽培しており、その余剰生産物を販売しています。



経済学部附属機関

経済研究所 Institute of Economic Research

経済研究所は、経済研究及び調査を行うことを目的としています。教員・学生の経済研究及び調査の支援に加え、学外からの経済調査依頼にも対応しています。また、経済学部関係諸分野を中心に、教育・研究のための資料として、約 1,280 種類の大学紀要を含む約 2,200 種類の逐次刊行物ならびに約 6,000 冊の図書（辞書・事典を含む）を所蔵しており、その総数は 11 万冊以上を数えます。



経済計測研究所 Institute of Economics and Econometrics

経済計測研究所は、

- ・ 経済・経営・市場環境の各分野における計量的研究の推進とその支援
- ・ 社会の情報化に対応しうる人材育成のための教育環境の整備および支援

を目的としています。

教育および研究に必要な情報機器・ソフトウェア・データベースなどを利用者に提供することにより、高度な教育・研究環境の実現を目指しています。



観光学部附属機関

観光教育研究センター Center for Tourism Education and Research

『観光学』の編集・発行や LIP・GIP (Local & Global Internship Program) への対応、また大学院の実習施設としての役割を中心に、観光学部における教育研究活動全般を支援します。



就職支援組織については
33ページにて詳しく記載

3 教職員数・活動体制

教育組織、教員の数等に関すること

教職員数(常勤教職員数) Number of Staffs

平成 27 年 9 月 1 日現在
As of September 1, 2015

区分 Classification	学長 President		監事 Inspector		理事 Executive Director		教授 Professor		准教授 Associate Professors		講師 Lecturers		助教 Assistant Professors		助手 Assistants		附属学校教諭 Teachers in Attached Schools		事務職員・ 技術職員等 Administration Officers		計 Total		合計 Sum Total			
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female				
	役員会 Board of Directors	1				3	1																	4	1	5
監事 Inspector			2																				2		2	
監査室 Internal Audit Office																		1				1			1	
教育学生支援機構 Institution of Education and Student Support													1										1		1	
地域創造支援機構 Institution of Social Collaboration & Research Partnership													1	1									1	1	2	
事務局 Administration Office																		79	58			79	58		137	
教育学部 Faculty of Education							40	9	15	16	3									2		58	27		85	
附属教育実践総合センター Center for Educational Research and Training							1	1	1													2	1		3	
附属小学校 Attached Primary School																		18	12			18	12		30	
附属中学校 Attached Junior High School																		16	8			16	8		24	
附属特別支援学校 Attached School for Special needs Education																		12	17		1	12	18		30	
経済学部 Faculty of Economics							25	3	19	7	1			4						1		45	15		60	
システム工学部 Faculty of Systems Engineering							32	1	29	4	2	1	12	2					5			80	8		88	
観光学部 Faculty of Tourism							10	6	7	1	1			1	2							19	9		28	
附属図書館 University Library							1		1													1	1		2	
「教養の森」センター Center for Human Enrichment							1		1													1	1		2	
システム情報学センター Center for Information Science							1				1		1									3			3	
地域連携・生涯学習センター Center for Community Cooperation and Lifelong Learning								1			1											1	1		2	
産学連携・研究支援センター Center for Joint Research and Development							3	1	1				1	1								5	2		7	
防災研究教育センター Center for Research and Education of Disaster Reduction																										
保健センター Health Support Center							1		1										1	1		3	1		4	
紀州経済史文化史研究所 Institute of Kishu Economic and Cultural History									1														1			1
協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching							1				1											2			2	
宇宙教育研究所 Institute for Education on Space																										
国際教育研究センター Center for International Education and Research								1	1				1									1	2		3	
国際観光学研究センター(仮称)設置準備室 Center for Tourism Research							2		1				1	1		1						3	3		6	
サテライト Satellite																										
計 Total	1		2		3	1	118	23	75	31	10	1	16	11	1	3	46	37	86	63	358	170				
合計 Sum Total	1		2		4		141		106		11		27		4		83		149						528	

※再雇用教職員を含む。

※外国人教師は教育学部・講師に計上。

※各学部及び附属学校の事務系職員の所属は総務課又は教務課とする。

※事務局には企画戦略部、企画課、総務課、財務課、施設整備課、教育企画課、教務課、入試課、学生支援課、学術情報課を含む。

※短時間特任教職員は含まない。

※臨時的任用者(産休・育休代替)は含まない。

外国人教職員

平成 27 年 9 月 1 日現在
As of September 1, 2015

区分 Classification	学長 President		監事 Inspector		理事 Executive Director		教授 Professor		准教授 Associate Professors		講師 Lecturers		助教 Assistant Professors		助手 Assistants		附属学校教諭 Teachers in Attached Schools		事務職員・技術職員等 Administration Officers		計 Total		合計 Sum Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
外国の国籍を有する教職員						1	5		2		1									1	8	2	10

教職員の年代内訳

平成 27 年 9 月 1 日現在
As of September 1, 2015

区分 Classification	学長 President		監事 Inspector		理事 Executive Director		教授 Professor		准教授 Associate Professors		講師 Lecturers		助教 Assistant Professors		助手 Assistants		附属学校教諭 Teachers in Attached Schools		事務職員・技術職員等 Administration Officers		計 Total		合計 Sum Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
20歳代											1		1	1	1	2	5	7	9	10	17	20	37
30歳代									17	10	5	1	8	7			15	15	19	19	64	52	116
40歳代							26	7	44	17	3		6	3		1	19	12	37	26	135	66	201
50歳代	1		1		1	1	64	13	14	3	1		1				6	3	14	7	103	27	130
60歳代以上			1		2		28	3		1							1		7	1	39	5	44
計 Total	1		2		3	1	118	23	75	31	10	1	16	11	1	3	46	37	86	63	358	170	
合計 Sum Total	1		2		4		141		106		11		27		4		83		149				528



役員 Directors			
学長 President	瀧 寛 和 Hirokazu Taki	副学部長 Assistant Dean	富田 晃 彦 Akihiko Tomita
理事 (教育、学生、入試) 副学長・教育学生支援機構長 Executive Director for Education, Student Affairs, and Admission / Vice President / Director for Institution of Education & Student Support	池 際 博 行 Hiroyuki Ikegiwa	事務室長 Manager, Department Office	小 田 明 広 Akihiro Oda
理事 (大学改革、評価) 副学長 Executive Director for University Reform and Evaluation Affairs / Vice President	山 田 良 治 Yoshiharu Yamada	附属教育実践総合センター長 Director, Center for Education Research and Training	豊 田 充 崇 Michitaka Toyoda
理事 (産学連携、国際交流) 副学長・地域創造支援機構長 Executive Director for Joint Research & Development and International Exchange / Vice President / Director for Institution of Social Collaboration & Research Partnership	呉 海 元 Wu Haiyuan	附属小学校長 Principal, Attached Primary School	船 越 勝 Masaru Funagoshi
理事 (総務、財務、施設) 副学長 Executive Director for General Affairs, Financial Affairs, and Facilities / Vice President	島 村 富 雄 Tomio Shimamura	附属中学校長 Principal, Attached Junior High School	矢 野 勝 Suguru Yano
監事 (非常勤) Inspector	中 村 弘 Hiromu Nakamura	附属特別支援学校長 Principal, Attached School of Special needs Education	林 修 Osamu Hayashi
監事 (非常勤) Inspector	田 中 祥 博 Yoshihiro Tanaka	経済学部 Faculty of Economics	
副学長 (教育改革、評価) Vice President for Educational Reform and Evaluation Affairs	遠 藤 史 Fubito Endo	学部長 Dean	足 立 基 浩 Motohiro Adachi
副学長 (理系教育推進) Vice President for Promotion of Science Education	石 塚 亙 Wataru Ishizuka	副学部長 Assistant Dean	荒 井 信 幸 Nobuyuki Arai
副学長 (研究推進) Vice President for Research	伊 東 千 尋 Chihiro Ito	副学部長 Assistant Dean	辻 本 勝 久 Katsuhisa Tsujimoto
副学長 (地域連携、コンプライアンス) Vice President for Community Cooperation and Compliance	森 口 佳 樹 Yoshiki Moriguchi	副学部長 Assistant Dean	芦 田 昌 也 Masaya Ashida
学長補佐 (同窓会、後援会、基金) Assistant to the President for Alumni Association, Supporters Association and Fund	上 村 雅 洋 Masahiro Uemura	事務室長 Manager, Department Office	岡 野 辰 巳 Tatsumi Okano
学長補佐 (アドミッションポリシー) Assistant to the President for Admission Policy	佐 藤 史 人 Fumito Sato	システム工学部 Faculty of Systems Engineering	
学長補佐 (教職大学院設置) Assistant to the President for Graduate School of Teacher Education	添 田 久 美 子 Kumiko Soeda	学部長 Dean	伊 東 千 尋 Chihiro Ito
学長補佐 (男女共同参画) Assistant to the President for Gender Equality	竹 鼻 圭 子 Keiko Takehana	副学部長 Assistant Dean	橋 本 正 人 Masato Hashimoto
学長補佐 (地域食農協働) Assistant to the President for Regional Food and Agricultural Collaboration	大 西 敏 夫 Toshio Onishi	副学部長 Assistant Dean	野 村 孝 徳 Takanori Nomura
監査室 Internal Audit Office		副学部長 Assistant Dean	吉 田 登 Noboru Yoshida
監査室長 Head, Internal Audit Office	山 畑 一 男 Kazuo Yamahata	事務室長 Manager, Department Office	青 木 稔 Minoru Aoki
事務局 Administration Office		観光学部 Faculty of Tourism	
企画戦略部長 Director, Strategic Planning Department	石 崎 忠 夫 Tadao Ishizaki	学部長 Dean	藤 田 武 弘 Takehiro Fujita
参事役 (国際交流) Counselor for International Exchange	竹 内 智 子 Tomoko Takeuchi	副学部長 Assistant Dean	神 田 孝 治 Koji Kanda
参事役 (研究協力) Counselor for Research Cooperation	千 葉 清 行 Kiyoyuki Chiba	副学部長 Assistant Dean	尾 久 土 正 己 Masami Okuyudo
企画課長 Head, Planning Division	南 方 伸 之 Nobuyuki Minakata	副学部長 Assistant Dean	加 藤 久 美 Kumi Kato
総務課長 Head, General Affairs Division	池 下 和 美 Kazumi ikeshita	事務室長 Manager, Department Office	森 中 崇 文 Takafumi Morinaka
財務課長 Head, Finance Division	幸 田 好 史 Koji Kouda	大学院 Graduate School	
施設整備課長 Head, Facilities Division	清 水 滝 次 Takiji Shimizu	教育学研究科長 Dean, Graduate School of Education	永 井 邦 彦 Kunihiko Nagai
教育企画課長 Head, Academic Planning Division	山 田 博 文 Hirofumi Yamada	経済学研究科長 Dean, Graduate School of Economics	足 立 基 浩 Motohiro Adachi
教務課長 Head, General Affairs Division	力 久 浩 治 Koji Rikihisa	システム工学研究科長 Dean, Graduate School of Systems Engineering	伊 東 千 尋 Chihiro Ito
入試課長 Head, Admission Division	門 脇 弘 和 Hirokazu Kadowaki	観光学研究科長 Dean, Graduate School of Tourism	藤 田 武 弘 Takehiro Fujita
学生支援課長 Head, Student Support Services Division	脇 田 淳 一 Junichi Wakita	附属機関 Common Institutes for Education and Research	
学術情報課長 Head, Academic Information Division	山 中 節 子 Setsuko Yamanaka	附属図書館長 Head, University Library	渡 部 幹 雄 Mikio Watanabe
学系 Academic Groups		「教養の森」センター長 Director, Center for Human Enrichment	天 野 雅 郎 Masao Amano
人文社会科学系長 Director, College of Humanities and Social Sciences	遠 藤 史 Fubito Endo	システム情報学センター長 Director, Center for Information Science	入 野 俊 夫 Toshio Irino
工学自然科学系長 Director, College of Engineering and Natural Sciences	石 塚 亙 Wataru Ishizuka	地域連携・生涯学習センター長 Director, Center for Community Cooperation and Lifelong Learning	遠 藤 史 Fubito Endo
教育学部 Faculty of Education		産学連携・研究支援センター長 Director, Center for Joint Research and Development	坂 本 英 文 Hidefumi Sakamoto
学部長 Dean	永 井 邦 彦 Kunihiko Nagai	防災研究教育センター長 Director, Center for Research and Education of Disaster Reduction	此 松 昌 彦 Masahiko Konomatsu
副学部長 Assistant Dean	寺 川 剛 央 Takao Terakawa	保健センター長 Director, Health Support Center	別 所 寛 人 Hirotō Bessho
副学部長 Assistant Dean	菊 川 恵 三 Keizo Kikukawa	紀州経済史文化史研究所長 Director, Institute of Kishu Economic and Cultural History	東 悦 子 Etsuko Higashi
		協働教育センター長 Director, Center for Collaborative Learning and Teaching	石 塚 亙 Wataru Ishizuka
		宇宙教育研究所長 Director, Institute for Education on Space	秋 山 演 亮 Hiroaki Akiyama
		国際教育研究センター長 Director, Center for International Education and Research	呉 海 元 Wu Haiyuan
		南紀熊野サテライト長 Director, Nanki Kumano Satellite	中 島 正 博 Masahiro Nakajima
		岸和田サテライト長 Director, Kishiwada Satellite	藤 田 和 史 Kazufumi Fujita
		国際観光学センター(仮称)設置準備室長 Coordinating Director, Committee developing Center for Tourism Research	山 田 良 治 Yoshiharu Yamada

役員会等 Board of Directors

役員会 Board of Directors

平成 27 年 9 月 1 日現在
As of September 1, 2015

学長 President	瀧 寛 和 Hirokazu Taki	理事（産学連携、国際交流） 副学長・地域創造支援機構長 Executive Director for Joint Research & Development and International Exchange / Vice President / Director for Institution of Social Collaboration & Research Partnership	呉 海 元 Wu Haiyuan
理事（教育、学生、入試） 副学長・教育学生支援機構長 Executive Director for Education, Student Affairs, and Admission / Vice President / Director for Institution of Education & Student Support	池 際 博 行 Hiroyuki Ikegiwa	理事（総務、財務、施設） 副学長 Executive Director for General Affairs, Financial Affairs, and Facilities / Vice President	島 村 富 雄 Tomio Shimamura
理事（大学改革、評価） 副学長 Executive Director for University Reform and Evaluation Affairs / Vice President	山 田 良 治 Yoshiharu Yamada		

経営協議会委員 Administrative Council

平成 27 年 9 月 1 日現在
As of September 1, 2015

学長 President	瀧 寛 和 Hirokazu Taki	元大阪外国語大学長 大阪観光大学副学長 / 国際交流学部長	赤 木 攻 Osamu Akagi
理事（教育、学生、入試） 副学長・教育学生支援機構長 Executive Director for Education, Student Affairs, and Admission / Vice President / Director for Institution of Education & Student Support	池 際 博 行 Hiroyuki Ikegiwa	元三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株) 代表取締役社長	大 島 道 隆 Michitaka Ooshima
理事（大学改革、評価） 副学長 Executive Director for University Reform and Evaluation Affairs / Vice President	山 田 良 治 Yoshiharu Yamada	株式会社インターアクト・ジャパン 代表取締役	帯 野 久 美 子 Kumiko Obino
理事（産学連携、国際交流） 副学長・地域創造支援機構長 Executive Director for Joint Research Development and International Exchange / Vice President / Director for Institution of Social Collaboration & Research Partnership	呉 海 元 Wu Haiyuan	株式会社社南北代表取締役	檜 畑 直 尚 Naohisa Kashiwata
理事（総務、財務、施設） 副学長 Executive Director for General Affairs, Financial Affairs, and Facilities / Vice President	島 村 富 雄 Tomio Shimamura	弁護士	松 原 敏 美 Toshimi Matsubara
		株式会社テレビ和歌山代表取締役社長	柏 原 康 文 Yasufumi Kashiwara

教育研究評議会 Education and Research Council

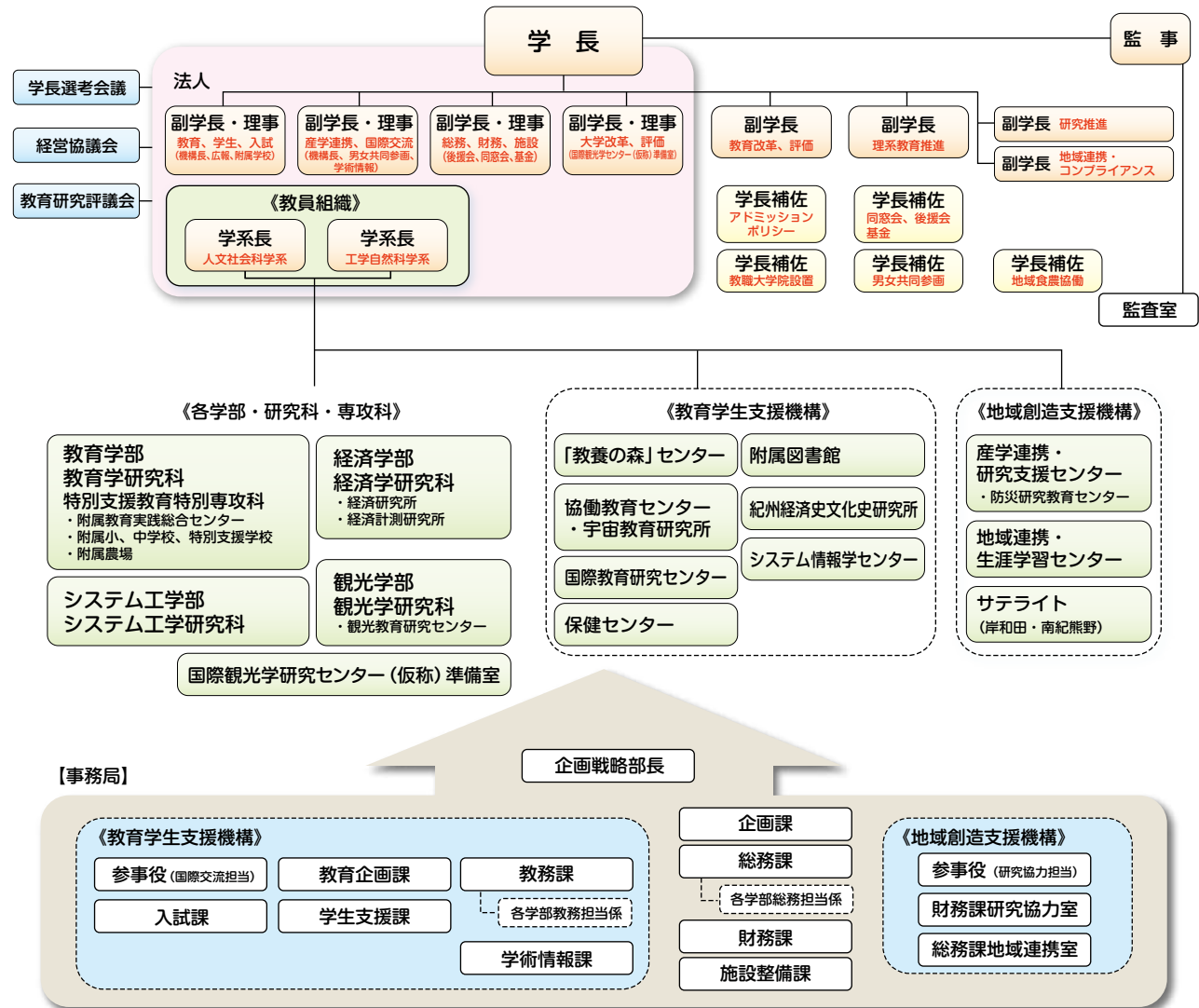
平成 27 年 9 月 1 日現在
As of September 1, 2015

学長 President	瀧 寛 和 Hirokazu Taki	経済学部長 Dean Faculty of Economics	足 立 基 浩 Motohiro Adachi
理事（教育、学生、入試） 副学長・教育学生支援機構長 Executive Director for Education, Student Affairs, and Admission / Vice President / Director for Institution of Education & Student Support	池 際 博 行 Hiroyuki Ikegiwa	システム工学部長 Dean Faculty of Systems Engineering	伊 東 千 尋 Chihito Ito
理事（大学改革、評価） 副学長 Executive Director for University Reform and Evaluation Affairs / Vice President	山 田 良 治 Yoshiharu Yamada	観光学部長 Dean Faculty of Tourism	藤 田 武 弘 Takehiro Fujita
理事（産学連携、国際交流） 副学長・地域創造支援機構長 Executive Director for Joint Research Development and International Exchange / Vice President / Director for Institution of Social Collaboration & Research Partnership	呉 海 元 Wu Haiyuan	教授 Professor	江 田 裕 介 Yusuke Eda
理事（総務、財務、施設） 副学長 Executive Director for General Affairs, Financial Affairs, and Facilities / Vice President	島 村 富 雄 Tomio Shimamura	教授 Professor	本 山 貢 Mitsugi Motoyama
人文社会科学系長 Director, College of Humanities and Social Sciences	遠 藤 史 Fubito Endo	教授 Professor	藤 永 博 Hiroshi Fujinaga
工学自然科学系長 Director, College of Engineering and Natural Sciences	石 塚 互 Wataru Ishizuka	教授 Professor	吉 村 典 久 Norihisa Yoshimura
教育学部長 Dean Faculty of Education	永 井 邦 彦 Kunihiko Nagai	教授 Professor	宗 森 純 Jun Munemori
		教授 Professor	和 田 俊 和 Toshikazu Wada
		教授 Professor	竹 鼻 圭 子 Keiko Takehana
		協働教育センター長 Director, Center for Collaborative Learning and Teaching	石 塚 互 Wataru Ishizuka

各組織間の連携を図る体制、委員会等

和歌山大学組織機構図

(平成27年9月1日)



会議・委員会・運営支援組織

人事委員会	研究倫理審査会	危機管理委員会
財務・施設委員会	教務委員会	地域創造支援機構推進会議
企画・評価委員会	入学試験委員会	教育学生支援機構推進会議
広報・情報公開委員会	学生支援委員会	教員組織運営委員会
安全衛生委員会	環境管理委員会	

4 学生の受入・進路状況

入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

■和歌山大学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針) Admission Policy

- (1) 学問への探究心にあふれ、課題解決のため意欲的に取り組むことのできる人
- (2) 明確な目的意識をもつ人
- (3) 新しいことに積極的に挑戦する意欲をもつ人

■平成27年度入学志願者数及び入学者数

区分 Classification	入学定員 Admission Quotas	志願者数 Applicants			受験者数 Examinees			入学者数 Entrants				
		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total		
学部 Faculties	教育学部 Faculty of Education	165	431	358	789	318	274	592	98	71	169	
	経済学部 Faculty of Economics	330	932	544	1,476	699	385	1,084	209	133	342	
	システム工学部 Faculty of Systems Engineering	305	990	185	1,175	685	123	808	260	48	308	
	観光学部 Faculty of Tourism	110	203	426	629	148	321	469	29	87	116	
	計 Total	910	2,556	1,513	4,069	1,850	1,103	2,953	596	339	935	
3年次 編入学 選抜 Students Admitted in the Junior Year	経済学部 Faculty of Economics	10	30	19	49	28	18	46	8	4	12	
	システム工学部 Faculty of Systems Engineering	20	47	10	57	43	9	52	11	4	15	
	計 Total	30	77	29	106	71	27	98	19	8	27	
大学院 Graduate Schools	教育学研究科 Graduate School of Education	修士課程 Master's Programs	45	22	28	50	21	26	47	16	18	34
	経済学研究科 Graduate School of Economics	修士課程 Master's Programs	38	36	42	78	31	37	68	16	19	35
	システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	博士前期課程 Master's Programs	129	141	18	159	136	17	153	111	15	126
		博士後期課程 Doctoral Programs	8	13	0	13	12	0	12	11	0	11
	観光学研究科 Graduate School of Tourism	博士前期課程 Master's Programs	9	12	21	33	11	18	29	4	6	10
		博士後期課程 Doctoral Programs	6	6	1	7	6	1	7	5	1	6
計 Total		235	230	110	340	217	99	316	163	59	222	
専攻科 Postgraduate Course	特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education	10	5	2	7	5	2	7	4	2	6	

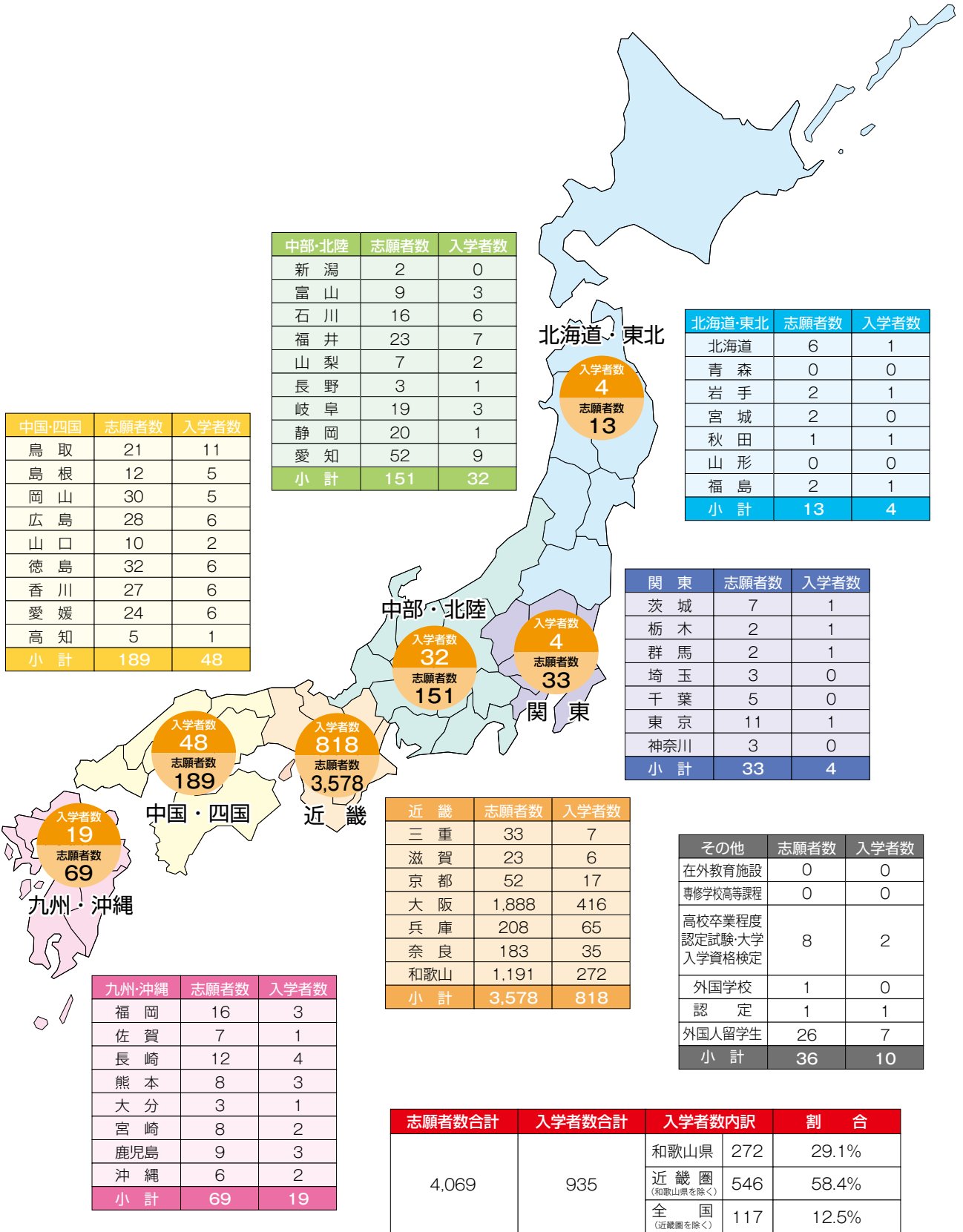
■地域・都道府県別入学者数

平成27年度
Fiscal Year 2015

地域/都道府県 Region/ Prefecture	教育学部 Faculty of Education	経済学部 Faculty of Economics	システム工学部 Faculty of Systems Engineering	観光学部 Faculty of Tourism	計 Total
北海道・東北 Hokkaido Tohoku	1	0	2	1	4
関東 Kanto	1	0	1	2	4
中部・北陸 Chubu Hokuriku	2	20	2	8	32
近畿 Kinki	160	283	287	88	818
(三重 Mie)	(3)	(2)	(0)	(2)	(7)
(滋賀 Shiga)	(0)	(3)	(2)	(1)	(6)
(京都 Kyoto)	(1)	(9)	(5)	(2)	(17)
(大阪 Osaka)	(60)	(115)	(195)	(46)	(416)
(兵庫 Hyogo)	(5)	(35)	(17)	(8)	(65)
(奈良 Nara)	(3)	(10)	(17)	(5)	(35)
(和歌山 Wakayama)	(88)	(109)	(51)	(24)	(272)
中国 Chugoku	2	15	8	4	29
四国 Shikoku	1	15	0	3	19
九州・沖縄 Kyushu Okinawa	1	5	3	10	19
その他(検定・外国) Others	1	4	5	0	10
合計 Total	169	342	308	116	935

都道府県別 学部入学者数

平成27年度
Fiscal Year 2015



※推薦入試の志願者数・入学者数を含む。

■ 学生数(現員) Number of Students

○ 学部 Faculty

平成27年9月1日現在
As of September 1, 2015

区分 Classification	1年次 1st year			2年次 2nd year			3年次 3rd year			4年次 4th year			合計 Sum Total					
	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	計 Total		
教育学部 Faculty of Education	学校教育教員養成課程 Teacher Training	145	84	63 (1)	145	81	68	145	82	64	145	119 (2)	66 (1)	580	366 (2)	261 (2)	627 (4)	
	総合教育課程 Synthetic Studies	20	14	8	40	20 (1)	22 (2)	40	27 (2)	19 (2)	40	26 (4)	28 (4)	140	87 (3)	77 (8)	164 (11)	
	計 Total	165	98	71 (1)	185	101 (1)	90 (2)	185	109 (2)	83 (2)	185	145 (2)	94 (5)	720	453 (5)	338 (10)	791 (15)	
経済学部 Faculty of Economics	昼間主コース Day Course																	
	経済学科 Department of Economics	110			110	68	45	114	72	41	114	99	43 (1)	448	239	129 (1)	368 (1)	
	ビジネスマネジメント学科 Department of Business Management	110	209 (1)	133 (2)	110	73 (3)	29	114	77 (1)	41 (3)	114	104 (1)	36 (2)	448	254 (5)	106 (5)	360 (10)	
	市場環境学科 Department of Market and Environment	110			110	68	53	112	72	50	112	92	51	444	232	154	386	
	昼間主コース 小計 Day Course Total	330	209 (1)	133 (2)	330	209 (3)	127	340	221 (1)	132 (3)	340	295 (1)	130 (3)	1,340	934 (6)	522 (8)	1,456 (14)	
	夜間主コース Night Course																	
	市場環境学科 Department of Market and Environment												1		1		1	
	夜間主コース 小計 Night Course Total												1		1		1	
計 Total	330	209 (1)	133 (2)	330	209 (3)	127	340	221 (1)	132 (3)	340	296 (1)	130 (3)	1,340	935 (6)	522 (8)	1,457 (14)		
システム 工学部 Faculty of Systems Engineering	情報通信システム学科 Department of Computer and Communication Sciences				57	50	6	57	53	6	57	69	8	171	172	20	192	
	光メカトロニクス学科 Department of Opto-Mechatronics				57	54 (1)	3	57	62	4	57	85 (1)	2	171	201 (2)	9	210 (2)	
	精密物質学科 Department of Material Science and Chemistry				57	37	23	57	45	18	57	64	13	171	146	54	200	
	環境システム学科 Department of Environmental Systems				57	47	12	57	49	18 (1)	57	61	18	171	157	48 (1)	205 (1)	
	デザイン情報学科 Department of Design and Information Sciences				57	40	19 (1)	57	40	23	57	62	23	171	142	65 (1)	207 (1)	
	システム工学科 Department of Systems Engineerin	305	260 (2)	48 (1)											305	260 (2)	48 (1)	308 (3)
	計 Total	305	260 (2)	48 (1)	285	228 (1)	63 (1)	305	249	69 (1)	305	341 (1)	64	1,200	1,078 (4)	244 (3)	1,322 (7)	
観光学部 Faculty of Tourism	観光経営学科 Department of Tourism Management	60			60	23	39	60	22	37 (1)	60	29	46	240	74	122 (1)	196 (1)	
	地域再生学科 Department of Regional Revitalisation	50	29	87	50	8	47	50	19	46 (3)	50	18	40	200	45	133 (3)	178 (3)	
	計 Total	110	29	87	110	31	86	110	41	83 (4)	110	47	86	440	148	342 (4)	490 (4)	
合計 Sum Total	910	596 (3)	339 (4)	910	569 (5)	366 (3)	940	620 (3)	367 (10)	940	829 (4)	374 (8)	3,700	2,614 (15)	1,446 (25)	4,060 (40)		

()内は、外国人留学生数を内数で示す。

() show the number of foreign students.

経済学部・システム工学部の3年次及び4年次には編入学を含む。

研究科 School	専攻 Course	課程 Course	1年次 1st year			2年次 2nd year			3年次 3rd year			合計 Sum Total			
			定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	計 Total
教育学研究科 Graduate School of Education	学校教育専攻 Course Specializing in General School Education	修士 Master's	12	4	6	12	7	13 (1)				24	11	19 (1)	30 (1)
		専攻 Master's	33	11 (1)	12 (1)	33	11 (2)	16 (8)				66	22 (3)	28 (9)	50 (12)
	計 Total	45	15 (1)	18 (1)	45	18 (2)	29 (9)				90	33 (3)	47 (10)	80 (13)	
経済学研究科 Graduate School of Economics	経済学専攻 Course Specializing in Economics	修士 Master's	15	4 (2)	9 (6)	15	7 (4)	12 (12)				30	11 (6)	21 (18)	32 (24)
		専攻 Master's	13	4 (4)	6 (5)	13	7 (5)	8 (8)				26	11 (9)	14 (13)	25 (22)
		専攻 Master's	10	8 (3)	4 (3)	10	13 (2)	6 (5)				20	21 (5)	10 (8)	31 (13)
	計 Total	38	16 (9)	19 (14)	38	27 (11)	26 (25)				76	43 (20)	45 (39)	88 (59)	
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	システム工学専攻 Course Specializing in Systems Engineering	博士前期 Master's Programs	129	111 (1)	15 (1)	129	123 (7)	19 (4)				258	234 (8)	34 (5)	268 (13)
		博士後期 Doctoral Programs	8	11	0	8	9 (3)	1	8	15	0	24	35 (3)	1	36 (3)
	計 Total	137	122 (1)	15 (1)	137	132 (10)	20 (4)	8	15	0	282	269 (11)	35 (5)	304 (16)	
観光学研究科 Graduate School of Tourism	観光学専攻 Course Specializing in Tourism	修士 Master's	9	4 (1)	6 (1)	9	3 (2)	6 (2)				18	7 (3)	12 (3)	19 (6)
		博士前期 Master's Programs	6	5	1	6	6	3 (1)				12	11	4 (1)	15 (1)
	計 Total	15	9 (1)	7 (1)	15	9 (2)	9 (3)				30	18 (3)	16 (4)	34 (7)	
合計 Sum Total			235	162 (12)	59 (17)	235	186 (25)	84 (41)	8	15	0	478	363 (37)	143 (58)	506 (95)

()内は、外国人留学生数を内数で示す。
() show the number of foreign students.

専攻科 Postgraduate Course	専攻 Course	合計 Sum Total			
		定員 Admission Quotas	男 Male	女 Female	計 Total
特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education	発達障害教育専攻 Developmental Disorders	10	4	2	6

○専任教員1人あたりの学生数

平成27年9月1日現在
As of September 1, 2015

	学部学生数	専任教員数	専任教員1人あたり 学生数
教育学部 Faculty of Education	791	83	9.53
経済学部 Faculty of Economics	1,457	59	24.69
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	1,322	83	15.93
観光学部 Faculty of Tourism	490	28	17.50
合計 Sum Total	4,060	253	16.05

※教育学部については附属小・中・特別支援学校を除いた教員数。

○教育学部附属学校の定員・児童生徒数等

Number of Students, Attached Schools of Faculty of Education 平成27年9月1日現在
As of September 1, 2015

学校 School	学年別入学定員・児童生徒数 Number of Students												合計 Sum Total	
	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment	定員 Admission Quotas	現員 Current Enrollment
附属小学校 Primary School	1 学年 1st Year		2 学年 2nd Year		3 学年 3rd Year		4 学年 4th Year		5 学年 5th Year		6 学年 6th Year		600	526
	90	89	90	88	90	88	90	85	120	89	120	87		
	複式学級 Combined Class	1・2 学年 1st and 2nd Year			3・4 学年 3rd and 4th Year			5・6 学年 5th and 6th Year			48	46		
附属中学校 Junior High School	1 学年 1st Year		2 学年 2nd Year		3 学年 3rd Year								420	418
	140	140	140	138	140	140								
附属特別支援学校 Attached School for Special needs Education	小学部 Primary Section	低学年 1st Level		中学年 2nd Level		高学年 3rd Level						18	15	
		6	4	6	6	6	5							
	中学部 Intermediate Section	1 学年 1st Year		2 学年 2nd Year		3 学年 3rd Year						18	15	
		6	5	6	5	6	5							
	高等部 Advanced Section	1 学年 1st Year		2 学年 2nd Year		3 学年 3rd Year						24	31	
		8	11	8	10	8	10							
合計 Sum Total												1,128	1,051	

■ 卒業生・修了者数 Number of Graduates

○ 平成26年度 Fiscal Year 2014

区分 Classification		専攻・課程・学科 Course・Department	男 Male	女 Female	計 Total	累計 Aggregate	
学部 Faculties	教育学部 Faculty of Education	学校教育教員養成課程 Teacher Training	83 (1)	73 (1)	156 (2)	14,122	
		国際文化課程 International Cultural Studies	1		1		
		総合教育課程 Synthetic Studies	22 (2)	20 (1)	42 (3)		
		小計 Total	106 (3)	93 (2)	199 (5)		
	経済学部 Faculty of Economics	経済学科 Department of Economics	60 (1)	35 (3)	95 (4)	18,606	
		ビジネスマネジメント学科 Department of Business Management	58	29 (3)	87 (3)		
		市場環境学科 Department of Market and Environment	78	55	133		
		小計 Total	196 (1)	119 (6)	315 (7)		
	システム工学部 Faculty of Systems Engineering	情報通信システム学科 Department of Computer and Communication Sciences	59 (1)	5	64 (1)	4,664	
		光メカトロニクス学科 Department of Opto-Mechatronics	61 (2)	2	63 (2)		
		精密物質学科 Department of Material Science and Chemistry	48	10	58		
		環境システム学科 Department of Environmental Systems	49 (1)	11	60 (1)		
		デザイン情報学科 Department of Design and Information Science	42	19	61		
		小計 Total	259 (4)	47	306 (4)		
	観光学部 Faculty of Tourism	観光経営学科 Department of Tourism Management	15	48	63	516	
		地域再生学科 Department of Regional Revitalisation	9	44	53		
		小計 Total	24	92	116		
	計 Total			585 (8)	351 (8)	936 (16)	37,908
	大学院 Graduate Schools	教育学研究科 Graduate School of Education	学校教育専攻 Course Specializing in General School Education	11 (1)	10	21 (1)	808
教科教育専攻 Course Specializing in Individual Subject Education			17 (2)	6 (2)	23 (4)		
小計 Total			28 (3)	16 (2)	44 (5)		
経済学研究科 Graduate School of Economics		経済学専攻 Course Specializing in Economics	4 (4)	6 (5)	10 (9)	811	
		経営学専攻 Course Specializing in Business Administration	6 (5)	7 (6)	13 (11)		
		市場環境学専攻 Course Specializing in Market and Environment	7 (2)	1	8 (2)		
		小計 Total	17 (11)	14 (11)	31 (22)		
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering		システム工学専攻(博士前期課程) Course Specializing in Systems Engineering(Master's Programs)	115 (1)	13	128 (1)	1,766	
		システム工学専攻(博士後期課程) Course Specializing in Systems Engineering(Doctoral Programs)	7		7	76	
		小計 Total	122 (1)	13	135 (1)	1,842	
観光学研究科 Graduate School of Tourism		観光学専攻 Course Specializing in Tourism	4 (1)	7 (5)	11 (6)	22	
	小計 Total	4 (1)	7 (5)	11 (6)			
計 Total			171 (16)	50 (18)	221 (34)	3,483	
専攻科 Postgraduate Course	特別支援教育特別専攻科 Course of Special Support Education	発達障害教育専攻 Developmental Disorders		6	6	167	
	計 Total			6	6	177	
合計 Sum Total			756 (24)	407 (26)	1,163 (50)	41,568	

1. ()内は、外国人留学生を内数で示す。 () show the number of foreign students.
 2. 前期卒業生・修了者を含む。 Including the number of 1st term graduates.
 3. 累計は、当初からの卒業生・修了者数を示す。 The aggregate shows the number of graduates from the beginning.
 4. 博士後期課程については、単位取得退学後の学位取得修了者を含む。

■平成26年度 進路状況 Course Graduation Statistics

○学部卒業生 Graduates

学部名 Faculties	卒業生数 Number of Graduates	進学者数 Entrants to Graduate Schools (Master's Programs)	就職者数 Employment					小計 Subtotal	その他 Others	合計 Total
			民間企業等 Private Industry	教員 Teachers		公務員 Government and Municipal Offices	その他 Others			
				教諭 Full-time teachers	講師 Part-time teachers					
教育学部 Faculty of Education	199	19	30	58	74	9		171	9	199
経済学部 Faculty of Economics	315	5	242			25	2	269	41	315
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	306	140	137			16	2	155	11	306
観光学部 Faculty of Tourism	116	4	103			7	1	111	1	116
計 Total	936	168	512	58	74	57	5	706	62	936

1. 経済学部には、夜間主コースの学生を含む。
The number of students at night course is included at faculty of economics.
2. 「進学者」は上位の課程に進んだ者、「就職者」は学校基本調査の就職者をいう。(以下、同じ)

○大学院修士課程修了者及び博士前期課程修了者 A Person who Finished a Master Degree

研究科名 Graduate Schools	修了者数 Number of Graduates from the Graduate Schools	進学者数 Entrants to Graduate Schools (Doctoral Programs)	就職者数 Employment					小計 Subtotal	その他 Others	合計 Total
			民間企業等 Private Industry	教員 Teachers		公務員 Government and Municipal Offices	その他 Others			
				教諭 Full-time teachers	講師 Part-time teachers					
教育学研究科 Graduate School of Education	44		8	15	11	1		35	9	44
経済学研究科 Graduate School of Economics	31		18					18	13	31
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	128	5	116			5		121	2	128
観光学研究科 Graduate School of Tourism	11	1	2			3		5	5	11
計 Total	214	6	144	15	11	9	0	179	29	214

○大学院博士後期課程修了者及び単位取得退学者 A Person who Completed a Ph.D or Early Leaver who has Earned Credits

システム工学研究科 博士後期課程 Graduate School of Systems Engineering Doctoral Programs	修了者数 Number of Graduates from the Graduate Schools	進学者数 Entrants to Graduate Schools (Master's Programs)	就職者数 Employment					小計 Subtotal	その他 Others	合計 Total
			民間企業等 Private Industry	教員 Teachers		公務員 Government and Municipal Offices	その他 Others			
				教諭 Full-time teachers	講師 Part-time teachers					
修了者 Graduates	6		5			1		6		6
単位取得退学者 Early Leaver who Has Earned Credits	3		2					2	1	3
計 Total	9	0	7	0	0	1	0	8	1	9

修了者には単位取得退学後の学位取得修了者を含めない。

○進路状況 Course Graduation Statistics

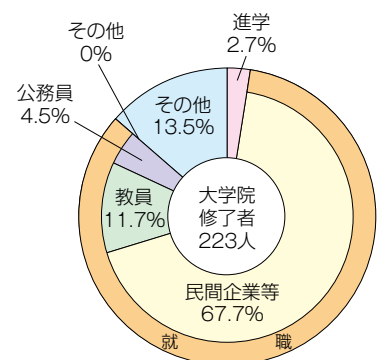
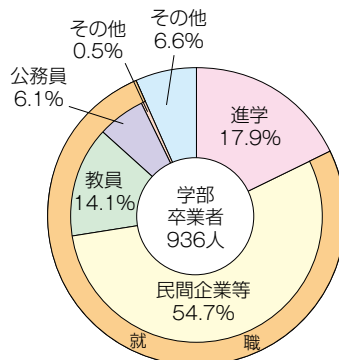
学部

進学 Entrants to Graduate Schools (Master's programs)	就職 Employment				その他 Others
	民間企業等 Private Industry	教員 Teachers	公務員 Government and Municipal Offices	その他 Others	
168	512	132	57	5	62

大学院

進学 Entrants to Graduate Schools (Doctoral programs)	就職 Employment				その他 Others
	民間企業等 Private Industry	教員 Teachers	公務員 Government and Municipal Offices	その他 Others	
6	151	26	10	0	30

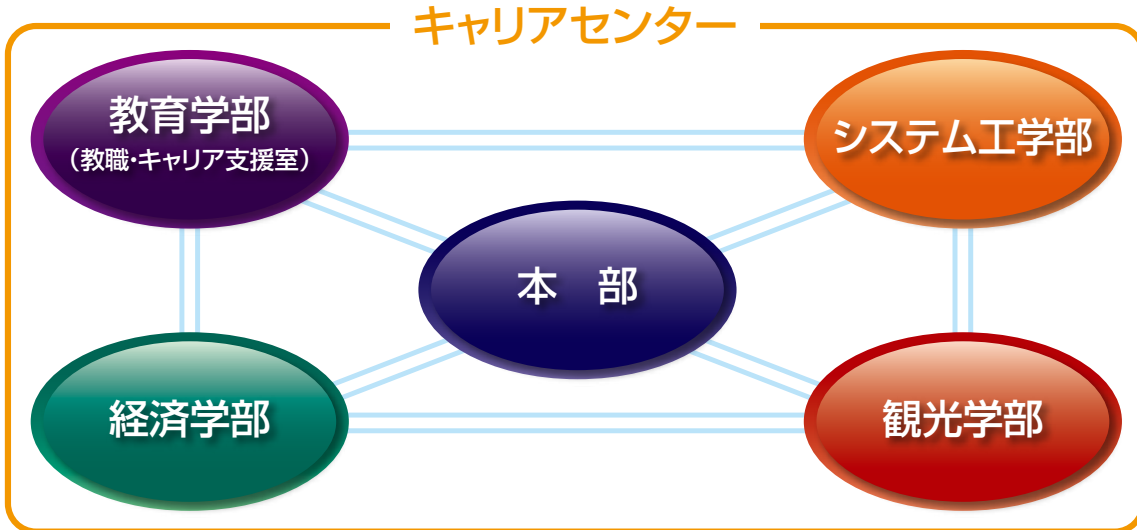
大学院修了者には、単位取得退学者を含み、単位取得退学後の学位取得修了者を含めない。



■キャリア教育・就職支援体制 Career Support

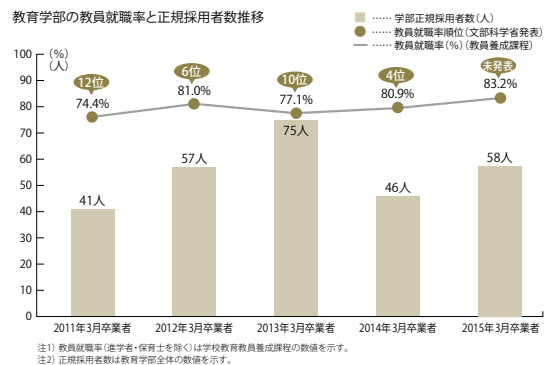
学生満足度の向上を目標に掲げる和歌山大学では、学生が希望の進路を実現できるように充実した就職サポート体制を整えております。

キャリアセンターは、全学の学生を対象にしたキャリア支援事業や、求人情報検索システムによる情報提供、学内での合同企業説明会の開催、インターンシップなどの計画・実施、外国人留学生向けの就職での相談や情報提供をする本部のほか、各学部でも学生一人ひとりのニーズにあわせた相談等を行っております。



○教育学部の就職支援状況

和歌山大学教育学部では、学生一人ひとりの志望に合わせた採用試験対策と、教職全般にわたるきめ細かなアドバイスを行うキャリアセンター教育学部（教職・キャリア支援室）を設置しています。支援室には、担当の7名の大学教員に加えて豊富な教職経験を持った4名の客員教授が常駐し、3年次の10月に教育学生全員と個別面談を実施し、採用試験まで継続して面接や小論文指導などを行っています。また教職経験豊富な本学部卒業生の協力による「模擬面接」や「教員採用試験対策講座」もあり、教員をめざす学生をトータルにサポートします。2014年度の教員就職率（進学者と保育士を除く）は全国第4位になっています。



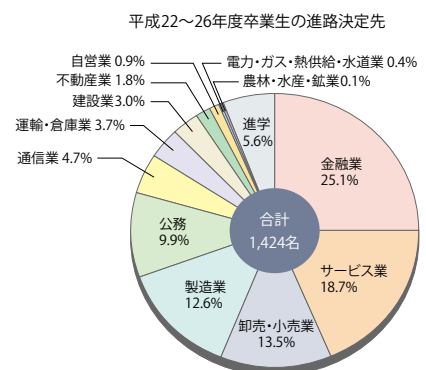
主たる進路 [平成22~26年度実績]

[就職先] 和歌山県内公立学校、大阪府内公立学校、和歌山大学教育学部附属小学校・中学校・特別支援学校、奈良県内公立学校、和歌山市内幼稚園、兵庫県内公立学校、愛知県内公立学校、その他私立学校、いずみの福祉会、おおさか若者就労支援機構、きのくに信用金庫、紀陽銀行、サイバーリンクス、産経新聞開発、早和果樹園、タイトエレクトロニクス、タカラスタンダード、タカショー、日本生命保険、日本入試センター、ヒダカヤ、三菱UFJニコス、レジェンド・アプリケーションズ、大阪狭山市役所、海南市役所、津市役所、豊岡市役所、和歌山市消防局

[進学先] 和歌山大学大学院教育学研究科、大阪大学大学院文学研究科、東京大学大学院農学生命科学研究科

○経済学部の就職支援状況

「キャリアセンター経済学部」では、学生の相談に専門のキャリアカウンセラーが応じています。進路・就職に対する様々な悩みや不安について親身になって対応し、具体的なアドバイスを行っています。また、専門科目としてキャリア教育科目を開講し（「キャリア・デザイン」「インターンシップ事前指導」など）、自分は何をしたいのか、それをどうやって実現していくのかなどを考える機会を提供しています。和歌山大学経済学部同窓会「柑芦会（こうろかい）」とも積極的に交流・連携し、支援を行っていることも大きな強みです。このような支援体制のもとで、学生一人ひとりが自分の可能性を最大限に活かし満足度の高い進路が実現できるよう、指導教員・キャリア教育担当教員とキャリアカウンセラーが中心となりサポートしています。



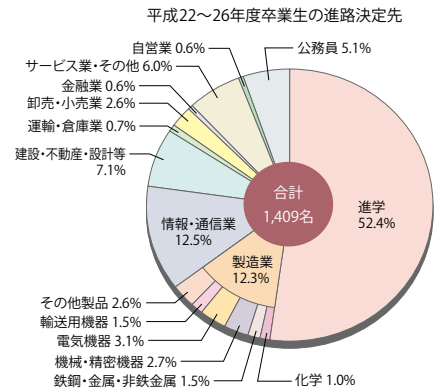
主たる進路 [平成22~26年度実績]

[就職先] みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、りそな銀行、商工組合中央金庫（商工中金）、日本政策金融公庫、紀陽銀行、関西アーバン銀行、野村證券、日本生命保険、損害保険ジャパン、三井住友海上火災保険、東京海上日動火災保険、三井住友カード、積水ハウス、大和ハウス工業、LIXIL、カネテツデリカフーズ、J-オイルミルズ、フジッコ、ブルボン、山崎製パン、凸版印刷、日本たばこ産業、資生堂、武田薬品工業、グラクソ・スミスクライン、島精機製作所、パナソニック、三菱電機、スズキ、住友金属工業、MBS企画、日本アイ・ピー・エム、椿本興業、ブラザー販売、関西電力、全日本空輸（ANA）、日本航空（JAL）、近畿日本鉄道、東海旅客鉄道（JR東海）、南海電気鉄道、西日本旅客鉄道（JR西日本）、日本通運、丸紅、阪急阪神ホテルズ、ロイヤルホテル、ファミリーマート、大広、パソナグループ、吉本興業、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、大阪国税局（国税専門官）、和歌山県庁、大阪府庁、京都府庁、奈良県庁、兵庫県庁、愛媛県庁、鳥取県庁、東京都庁、長野県庁、和歌山市役所、岩出市役所、田辺市役所、大阪市役所、堺市役所、岸和田市役所、神戸市役所、西宮市役所、那智勝浦町役場、大阪府警察本部、他

[進学先] 和歌山大学大学院経済学研究科、和歌山大学大学院教育学研究科、京都大学大学院経済学研究科、大阪大学大学院経済学研究科、神戸大学大学院経済学研究科、神戸大学大学院経営学研究科、甲南大学会計大学院ビジネス研究科、鳴門教育大学大学院学校教育研究科、他

○システム工学部の就職支援状況

「キャリアセンターシステム工学部」を設置し、就職担当教員とともに、学生一人ひとりの適性にあった進路支援を行っています。キャリアセンターシステム工学部では、学生と同じ理系学部出身の職員が進路相談に応じるほか、求人票・会社案内、先輩の体験記、就職・資格に関する書籍や雑誌などを閲覧できます。



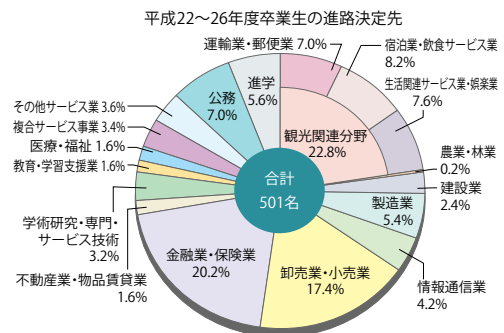
主たる進路 [平成22~26年度実績]

[就職先] 旭化成ホームズ、浅川組、アストラゼネカ、エヌ・ティ・ティ・データ関西、NTTファシリティーズ関西、大阪ガス、オービス総研、大林組、オービック、小野薬品工業、オムロン、川崎重工業、キヤノン、紀陽情報システム、KDDI、小糸製作所、サイバーリンクス、堺化学工業、ジェイテクト、島精機製作所、清水建設、スズキ、住友林業、セイコーエプソン、積水ハウス、ソフトバンクグループ、ダイキン工業、大和ハウス工業、タカラスタンダード、タダノ、椿本チエイン、凸版印刷、ナリス化粧品、ニコン、西日本電信電話、西日本旅客鉄道（JR西日本）、日鉄住金テックスエンジニア、日本モレックス、日本総合研究所、日本電産、任天堂、パイオニア、長谷工コーポレーション、パナソニック、パナホーム、日立システムズ、日立造船、日立ソリューションズ、富士ゼロックス大阪、ホシデン、本田技研工業、前田建設工業、三菱自動車工業、三菱電機エンジニアリング、株式会社湊組、ヤフー、ユニチカ、淀川製鋼所、LIXIL、YKKAP、国土交通省近畿地方整備局、林野庁、近畿管区警察局、和歌山県庁、大阪府庁、京都府庁、広島県庁、和歌山市役所、紀の川市役所、岩出市役所、海南市役所、大阪市役所、堺市役所、神戸市役所、京都市役所、有田川町役場、他

[進学先] 和歌山大学大学院システム工学研究科、和歌山大学大学院教育学研究科、東京大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、千葉大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、奈良女子大学大学院、大阪市立大学大学院

○観光学部の就職支援状況

「キャリアセンター観光学部」を設置し、少人数教育を特徴とする各ゼミナール担当教員と連携したきめ細やかなサポートで、学生をよりよい進路へ導きます。進路や就職についての相談に個別に対応するほか、授業の一環として、学生の就職に対する意識を高めることを目的としたキャリア教育科目を各年次に開設しています（「観光キャリア・デザインⅠ、Ⅱ」など）。学生一人ひとりが納得できる進路を実現できるように、幅広い支援活動を展開しています。また、インターンシップについても、観光学部の特長を活かした独自のプログラムを開発し、社会参画に対する学生の問題意識を高める取り組みが成果を挙げています。



主たる進路 [平成22~26年度実績]

[就職先] 全日本空輸、JR東日本、JR西日本、南海電鉄、近畿日本鉄道、WILLER TRAVEL、ANA 大阪空港、NEXCO 西日本、日本旅行、JTB 関西、阪急交通社、クラブツーリズム、HIS、ハートンホテルサービス、星野リゾート、阪急阪神ホテルズ、藤田観光、ロイヤルホテル、ホテルオークラ神戸、ホテルオークラ京都、リゾートトラスト、ホテルニューアワジ、芝政観光開発、アドベンチャーワールド、JR西日本ショッピングセンターカンパニー、朝日エアポートサービス、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、紀陽銀行、関西アーバン銀行、近畿大阪銀行、京都銀行、第三銀行、中国銀行、十八銀行、清水銀行、宮崎銀行、あおぞら銀行、きのくに信用金庫、大阪シティ信用金庫、住友生命、日本生命、明治安田生命、野村證券、みずほ証券、岡三証券、ファーストリテイリング、ニッセン、鹿島建設、岡山放送、パナソニックロジスティクス、島精機製作所、福助、理想科学工業、メニコン、小野薬品工業、帝人フロンティア、上新電機、日本無線、井関農機、大鉄工業、関包スチール、鴻池運輸、近鉄エクスプレス、阪急阪神エクスプレス、南海エクスプレス、山九、オーエ、岩谷産業、モリト、オートバックスセブン、JR西日本伊勢丹、イズミヤ、大阪地下街、スターバックスコーヒージャパン、サンブラザ、インテリジェンス、サイバーリンクス、Meiji Seika ファルマ、日本イーライリリー、デサント、イオンリテール、日本郵便、JA 紀北川上、JA いすみの、JA 兵庫六甲、大阪警察病院、国土交通省近畿運輸局、防衛省海上自衛隊、防衛省航空自衛隊、大阪府庁、北海道庁、和歌山県庁、浜松市、西宮市、松原市、堺市、東大阪市、岸和田市、摂津市、和歌山市、岩出市、田辺市、新宮市、有田川町、紀美野町、大阪市立大学、関西医科大学、東京消防庁、大阪府警察、和歌山県警察、他

[進学先] 和歌山大学大学院観光学研究科、和歌山大学大学院教育学研究科、和歌山大学大学院経済学研究科、大阪教育大学大学院教育学研究科、奈良教育大学大学院教育学研究科、奈良女子大学大学院人間文化研究科

5 授業科目・計画

科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

教育学部カリキュラム Curriculum / Faculty of Education

学校教育教員養成課程

●教科共通科目

小学校

国語A・B/社会/算数A・B/理科/生活/音楽/図画工作/体育/家庭

中学校

[中学校国語]	国語学概説A・B/国語表現法A・B/国文学概説A・B/国文学史A・B/漢文学概説/書道
[中学校社会]	日本史概説/世界史A・B/地理学概説/地誌学/政治学/社会学/哲学概説/倫理学概説/宗教学概説
[中学校数学]	線形代数Ⅰ・Ⅱ/初等整数論/多次元の数学/微分積分Ⅰ・Ⅱ/幾何学入門/様々な関数/確率・統計/統計の見方・考え方/コンピュータ
[中学校理科]	物理学概説A・B/物理学実験A・B/化学概説A・B/化学実験A・B/生物学概説A・B/生物学実験A・B/地学概説A・B/地学実験
[中学校音楽]	ソルフェージュ基礎論/声楽概論/合唱基礎演奏法/器楽概論/鍵盤楽器伴奏法/合奏法/室内楽研究/指揮法/音楽史概論/音楽材の理論
[中学校美術]	絵画演習/絵画素材演習/彫刻演習/彫刻素材演習/デザイン演習/デザイン素材演習/平面素材研究/工芸演習/工芸素材演習/立体素材研究 造形教育学特講/美術鑑賞演習/芸術教育基礎論/美術史概論
[中学校保健体育]	個人種目A/対人種目A/集団種目A/水泳Ⅰ/体育学入門/スポーツ哲学入門/スポーツマネジメント/運動学入門/スポーツ解剖学/運動生理学/健康管理学/学校保健
[中学校技術]	材料利用学/材料利用実習/材料加工利用実習/機械工学基礎/機械工学実験実習/電気・電子一般/電気・電子実験実習/農業実習/情報技術/情報技術実習
[中学校家庭]	生活経営学/家族関係学/被服学/被服構成学実習/食物学/調理学実習Ⅰ/住居学/住居設計製図/保育学概論/保育学演習
[中学校英語]	英語学概論/英語史概説/英文法/英米文学概説/英文学史A・B/米文学史A・B/CALL演習/英会話A・B/英作文A・B/英米文化

●専攻専門科目

■教育科学コース(例示)

[教育学専攻]	学校臨床のフィールドワーク/生活指導実践論/学校外教育論/人権教育実践論/教育臨床実地研究/教育政策論/教育法学/社会教育概説Ⅰ・Ⅱ 人間形成論/教育学演習A~F/教育思想・教育哲学/小学校授業づくり実践論
[心理学専攻]	人間科学の動向/心理学研究法/人間理解の方法(実験法・観察法)/行動科学分析法/心理学統計法/人間理解の方法(検査法・面接法)/思考心理学研究 認知心理学研究/教育臨床心理学研究/行動計量学研究
[特別支援教育学専攻]	特別支援教育上級演習A~E/発達障害児の教育/特別支援教育コーディネーター総合課題研究/障害児のための芸術教育基礎論 児童発達支援特別演習Ⅰ~Ⅵ/応用実習(特別支援学校)
[教育実践学専攻]	教育実践学基礎演習/教育調査論/学校教育研究論/教師のためのICT活用/マルチメディア表現/デジタル教材研究/教育実践学演習A・B・C

■教科教育コース(例示)

[国語専攻]	国語力向上の学習指導/日本語の音韻・文字/日本語の語彙・文法/日本近代文学/日本古典文学A~D/中国の古典/国文学基礎講義Ⅰ・Ⅱ
[社会専攻]	日本家族史/戦争と平和の歴史学/近現代の世界史/歴史資料・文化遺産演習A・B/世界史研究入門A・B/社会地理学/都市形成論/自然地理学 環境社会学/現代社会論/比較思想/宗教思想/国際政治論/社会科教育実践研究
[数学専攻]	自然に現れる対称性/数理世界の代数構造/距離と位相/空間の幾何学構造A・B/複素数の関数/微分方程式/離散数学/応用代数学 自然界の基礎方程式Ⅰ
[理科専攻]	力学/量子論/環境物質の変化(物理化学Ⅰ)/無機環境物質(無機化学)/有機環境物質(有機化学Ⅰ)/無機物理化学演習A・B/化学外書講読演習 保全生物学/動物生態学/臨海実習/環境変遷史/地球環境と気象/天文学演習/理科実験実習(物理A・B、化学、生物、地学) 理科教育ゼミナール(物理・化学)/植物生態学ゼミナール/動物生理学ゼミナール/動物生態学ゼミナール
[音楽専攻]	バロック及び古典派の鍵盤音楽演奏法/ロマン派及び近代の鍵盤音楽演奏法A・B/初級・中級和声学/初級・中級対位法/声楽基礎歌唱法 西洋歌曲演奏法A・B/管楽器演奏法Ⅰ・Ⅱ/音楽教育学ゼミナールA・B/音楽教育学研究A・B
[美術専攻]	素描A・B/絵画技法研究/絵画制作/彫刻技法研究/彫刻制作/デザイン技法研究/デザイン制作/工芸技法研究A・B/工芸制作/比較美術史 美術史特講/デザイン・工芸理論/芸術教育学演習A・B
[保健体育専攻]	コンディショニング論/バイオメカニクス/コーチングのためのスポーツ心理学/体育史/トレーニング論/野外実習キャンプ/野外実習スキー 野外実習遠泳/スポーツ福祉論/集団種目B~E/個人種目C~E/対人種目B~C
[技術専攻]	計測と制御/回路とシステム/図学/応用材料利用実習/低投入持続農業技術/農業実験Ⅰ・Ⅱ
[家庭専攻]	生活工学/衣生活健康論/教師のための被服学/生活工芸/住まいの計画/消費生活論/グリーンコンシューマー実習/生活福祉論 家政教育演習Ⅰ・Ⅱ(被服学/住居学/家族関係学/保育学/食物学/家庭科教育/家庭科教育・調理学)
[英語専攻]	英米言語文化基礎演習A・B/英米言語文化演習A1~B2/英語科教育演習A1~B2/英語教育研究/教師のための英語A・B 英語プレゼンテーション/英語学演習A1~B2

■児童教育コース(例示)

小学校カリキュラム構成論/幼稚園教育課程総論/幼児の理解と支援/児童教育基礎演習Ⅰ・Ⅱ/児童教育実践演習Ⅰ・Ⅱ/防災教育論/学びと遊び支援の心理学/初等英語教育論 初等キャリア教育論/小学校授業づくり実践論/保育内容(健康)/保育内容(人間関係)/保育内容(環境)/保育内容(音楽・身体総合表現)/保育内容(造形表現)/保育内容(言葉) 幼児教育の方法と技術

●教職共通科目

教育実習入門Ⅰ・Ⅱ／教育実習事前・事後指導・教育実習事前・事後指導[前]／教育実習(幼稚園)・(幼稚園)[前]・(幼稚園)[後]／教育実習A(小学校)・A(小学校)[前]・B(小学校)・B(小学校)[前]・B(小学校)[後]／教育実習A(中学校)・A(中学校)[前]・B(中学校)・B(中学校)[前]・B(中学校)[後]／教育実習H(へき地・小学校)／応用実習(小学校)／応用実習(中学校)／教職実践演習(幼・小・中・高)

現代教職論A・B／教育学概説A・B／発達心理学／教育心理学／教育行政学A・B／教師のための社会教育特講／教育方法概説／視覚教育／教育評価研究／教育の方法・技術
初等国語科教育法A・B／初等社会科教育法／初等算数科教育法A・B／初等理科教育法／初等生活科教育法／初等音楽科教育法／初等図画工作科教育法／初等体育科教育法
初等家庭科教育法／道徳教育論A・B／生活指導論A／教育実践研究論／生徒の理解と指導A・B／教育相談の心理学A・B／中等国語科教育法A・B・C／中等社会科教育法
社会・地歴科教育法／社会・公民科教育法／中等数学科教育法A・B・C／中等理科教育法A・B・C／中等音楽科教育法A・B・C／中等美術科教育法A・B・C
中等保健体育科教育法A・B・C／中等技術科教育法A・B・C／中等家庭科教育法A・B・C／中等英語科教育法A・B・C

●特別支援教育科目

特別支援教育総論／障害児教育の進歩／特別支援教育心理学Ⅰ・Ⅱ／特別支援教育医学Ⅰ・Ⅱ／特別支援教育臨床学Ⅰ・Ⅱ／障害児指導法Ⅰ・ⅡA・ⅡB／特別支援教育実践研究
視覚障害児の教育／聴覚障害児の教育／特別支援教育実習

総合教育課程

●総合教育課程／課程基礎科目

総合教育基礎ゼミナール／イメージ文化入門／共生社会論／総合教育論(文化と環境)／身体文化論入門／環境変遷史
言語表現基礎演習Ⅰ(独語・仏語・中国語・ハンダ語)／言語文化入門／芸術文化論／現代社会論／食生活と環境／異文化間コミュニケーション／芸術人類学／地域文化事業論

●文化研究プログラム／専門基礎科目

文化研究基礎理論／東アジアの言語文化／音楽表現基礎論／身体文化基礎論／文化研究プレゼミナール／イメージ文化基礎論／言語表現演習(英語A・B)／ヨーロッパの諸言語
言語表現基礎演習Ⅱ(独語A・B・仏語A・B)／カルチュラルスタディーズ入門／外国語としての日本語

●文化研究プログラム／専門科目

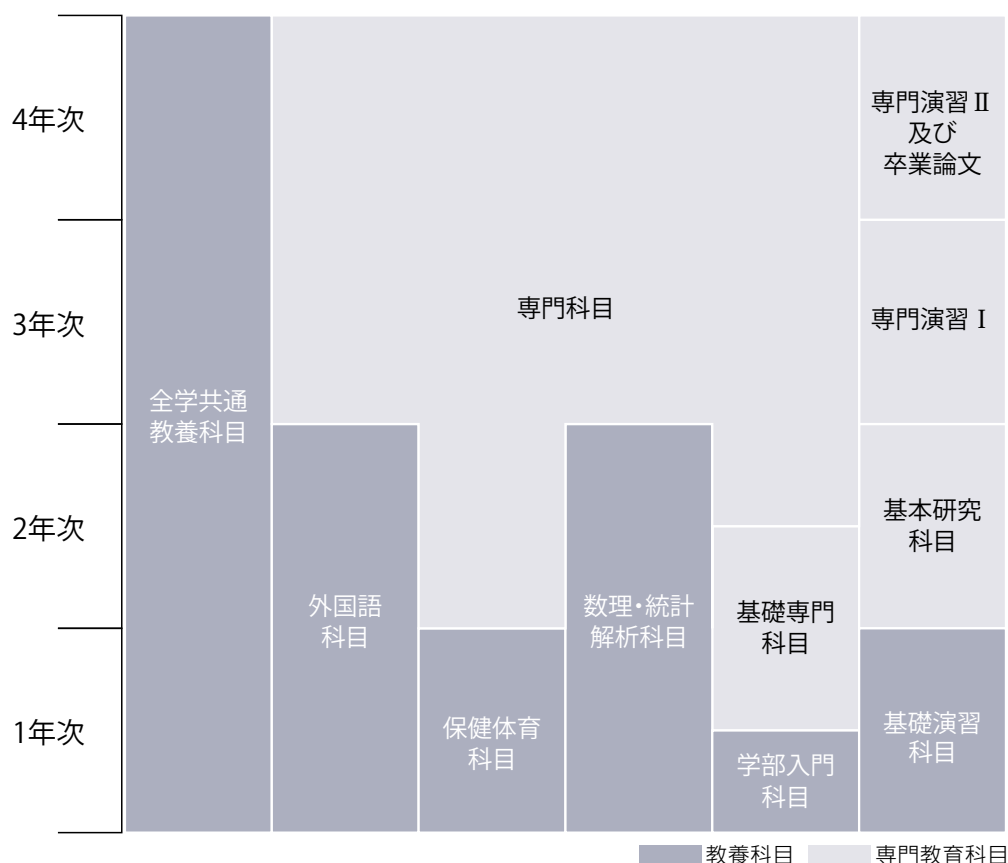
文化研究総合演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB／物語文化論A・B／女と男の文化論A・B／比較思想／フランス語表現法／実用ドイツ語／現代文化論／実用フランス語／大衆文化論
生と死の文化論A・B／映像文化論A・B／日本語の文体・文章／現代思想／言語表現実践演習(フランス語A・B・ドイツ語A・B)／ドイツ語表現法／演劇文化論
ヨーロッパ史研究A・B／ヨーロッパの文化と社会

●環境教育プログラム／専門基礎科目

総合環境基礎論／コミュニケーション演習Ⅰ・Ⅱ／環境教育入門演習／環境教育考察／環境教育総合演習／地域コミュニケータ論

●環境教育プログラム／専門科目

[社会系]	地域環境論／文化財調査・保存実習／環境と観光／環境と文学／人間と環境／地域環境論実習Ⅰ・Ⅱ／地理学野外実習／国際社会と環境問題 社会教育計画論／歴史環境論演習A・B／途上国の政治と環境問題／地域環境論演習A・B／国際関係論演習A・B／英米環境論演習A・B
[自然系]	保全生物学／地球環境科学実習A／和歌山の自然／地球環境の進化／地殻変動と地震／防災教育論／里山の保護と保全／堆積物による過去の環境の推定 環境生理学／バイオリテラシーⅠ・Ⅱ／環境教育演習(植物生態学／動物生理学／動物生態学／地質／古環境)
[生活・産業系]	衣服環境学実験／食品機能学／地域農学／衣服環境論／生活調査法／生活調査演習／住生活論／栽培環境学／食品栄養学実習／生活環境学演習 環境情報技術／環境教育演習(生活・産業／消費生活／材料利用／産業モデル／衣生活／生物生産／住生活／家族関係／食生活)



● 教養科目

教養科目には、経済に限らない幅広い分野の教養を高める全学共通科目、外国語科目、保健体育科目と、本学部の専門教育科目を学ぶ前提として必要な基礎科目の、以下の4つが含まれます。

- ◎全学共通教養科目 ◎外国語科目 ◎保健体育科目 ◎基礎科目

本学部の専門教育科目を学ぶ前提として必要な科目で、以下の3つが含まれます。

○基礎演習科目

入学したばかりの1年生を対象とし大学の先生と身近に接する少人数編成のクラスです。「大学」での勉強に慣れてもらうことを目的として、図書館の利用の仕方や読み書き技術のトレーニングを行う基礎演習と、電子メールの送受信・電子ドキュメントの作成手法・インターネットを介した様々な情報へのアクセス手法などを学ぶ情報基礎演習とが含まれます。いずれの演習も4年間の勉強の総まとめとして4年生で仕上げる卒業論文を作成するための入り口になります。

○学部入門科目

「社会経済学入門」、「ミクロ・マクロ経済学入門」、「経営学」、「簿記原理」、「法律学概論」、「市場環境学概論」は学部入門科目と位置づけ、1年次前期に履修します。学部入門科目を学習することで、経済学部4年間で学ぶ内容の全体像を理解し、どの学科に所属するかを選択します。

○数理・統計解析科目

「経済数学(線形代数)」、「統計学Ⅰ」、「統計学Ⅱ」があります。これらの科目は経済学部の専門的な科目を学ぶにあたって必要な基礎学力を養うツール・方法論を学ぶ科目です。

● 専門教育科目

本学部では、学科ごとに専門的な勉強を体系的に進めていくため、さらに細かく以下のような3つの科目群に分類し、科目群ごとに履修モデルを示して、授業科目の関連を明確にしています。他方で、多様な知識・能力を身につけるため、所属する学科の専門教育科目だけでなく、他学科の専門教育科目も、自由かつ主体的に組み合わせて受講することができます。

経済学科	ビジネスマネジメント学科	市場環境学科
経済社会理論科目群	マネジメント科目群	流通システム科目群
政策科学科目群	会計科目群	経済環境科目群
応用社会分析科目群	情報科目群	法律科目群

◎基礎専門科目

各学科への所属が決まった直後の1年次後期から2年次前期にかけて、学科での本格的な専門教育科目を学んでいくための基礎・中核となる科目です。

○基礎専門科目

経済学科
ミクロ経済学/市場経済論/経済数学Ⅰ/経済史総論/マクロ経済学/経済政策総論/経済原論/経済統計学Ⅰ
ビジネスマネジメント学科
簿記処理論/経営史/経営学総論Ⅰ/情報処理論/工業簿記/経営学総論Ⅱ
市場環境学科
民法〔総則〕/人権保障システム法総論/マネーの経済学/マーケティング論/ワールドエコノミー/交通システム論/グローバルエコノミクス/商法〔会社法Ⅰ〕

◎基本研究科目

2年次生を対象とし、3・4年次の研究にスムーズに移行できるように準備するための科目です。授業は、少人数で行なわれ、専門分野への入り口へ導くことを目的とします。学問の特性や学生のニーズに応じるため、問題演習、フィールドワーク、基本文献研究、外国書講読など、多様な形式での双方向型の授業メニューが用意されています。

◎学科開設専門科目

○経済学科

経済社会理論科目群
経済学史Ⅰ/経済思想史/現代経済論/国際経済学/国際貿易論/産業組織論/社会科学原論
政策科学科目群
経済地誌/社会政策(雇用と労働)/社会政策(社会保障)/社会保障論/食料経済/政策統計解析/都市産業論/都市政策/農業政策/労働経済論
応用社会分析科目群
International Financial Markets / Japanese Finance and Economy / エコノメトリクスⅠ/近代日本経済史/金融政策/金融論Ⅰ/金融論Ⅱ/経済統計学Ⅱ 国際金融史/財政政策各論/財政政策総論/西洋経済史

○ビジネスマネジメント学科

マネジメント科目群
Project Management / グローバル・マネジメント/ヒューマンサービスマネジメント/ホスピタリティマネジメント/リーダーシップ論/意思決定論/企業倫理論 技術経営/経営行動/経営人類学/経営組織論/人的資源管理論Ⅱ/日本的・リーン生産システム論
会計科目群
会計学原理Ⅰ/会計学原理Ⅱ/管理会計論Ⅰ/管理会計論Ⅱ/原価計算論/財務会計論Ⅰ/財務会計論Ⅱ/財務諸表論/財務分析/商業簿記Ⅰ/商業簿記Ⅱ/連結会計論
情報科目群
データ分析とシミュレーション/プログラミング基礎/応用プログラミング/基礎データ解析/経営データベース/経営データ解析/経営情報システム

○市場環境学科

流通システム科目群
ブランド論/マーケティング・リサーチ/マーケティング戦略論/銀行論/国際金融論/国際物流論/自然エネルギー戦略/消費者心理学/流通システム論
経済環境科目群
EU 経済論/開発経済学/経済情報処理/経済情報論/現代中国経済論/社会ネットワーク分析/日中関係史/比較経済体制論
法律科目群
雇用関係法/行政作用法/行政法総論/社会保険関係法/所得税法/商法〔会社法Ⅱ〕/商法〔会社法Ⅲ〕/商法〔会社法Ⅳ〕/消費税法/情報と法/人権保障システム法各論 租税法概論/租税法実務/地域居住福祉論/独占禁止法/法人税法/民法〔債権各論〕/民法〔債権総論〕/労働回結法

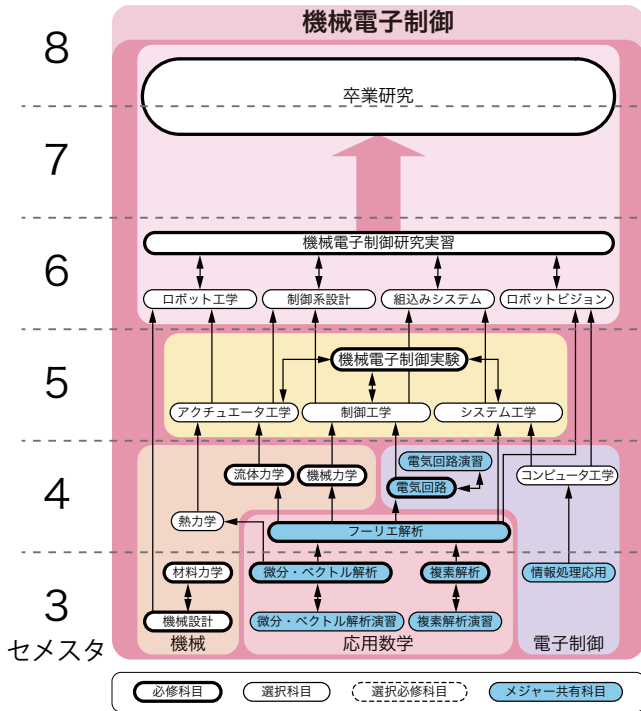
◎学科共通専門科目

アグリビジネス論/国家基盤づくりに係る土地・家屋の調査/資本市場の役割と証券投資/労働行政実務/インターンシップ事前指導/夏季インターンシップと事後指導
春季インターンシップと事後指導/キャリア・デザイン/クリティカルリーディング(英語)/英語ワークショップ/現代経営実践論-企業・職種研究-
現代社会実践論-キャリアと公務-/国際コミュニケーション論(中国語)Ⅰ/国際コミュニケーション論(中国語)Ⅱ/時事英語

◎専門演習と卒業論文

3年次、4年次と2年間連続で履修し、それぞれが興味のある分野について、より深い勉強をしていきます。指導教員のもと、10名以内の少人数で専門分野に関する学習、研究、討論などを行い、また、卒業論文の作成も専門演習がベースになります。ゼミを単位にした行事も多く、ゼミは大学生活の中心的存在のひとつです。

○機械電子制御メジャー

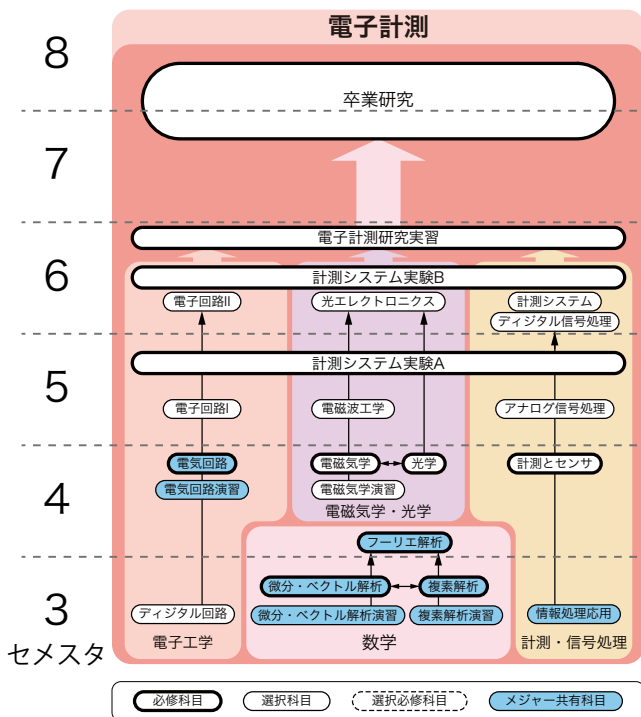


○専門教育科目

開講 セメスタ	科 目
3セメスタ	機械設計★、材料力学★、[複素解析★、複素解析演習 微分・ベクトル解析★、微分・ベクトル解析演習、情報処理応用]
4セメスタ	熱力学、流体力学★、機械力学★、コンピュータ工学 [フーリエ解析★、電気回路★、電気回路演習]
5セメスタ	制御工学、システム工学、アクチュエータ工学 機械電子制御実験★
6セメスタ	ロボット工学、ロボットビジョン、組込みシステム、制御系設計 機械電子制御研究実習★

★：必修科目、☆：選択必修科目、[]：メジャー共有科目

○電子計測メジャー

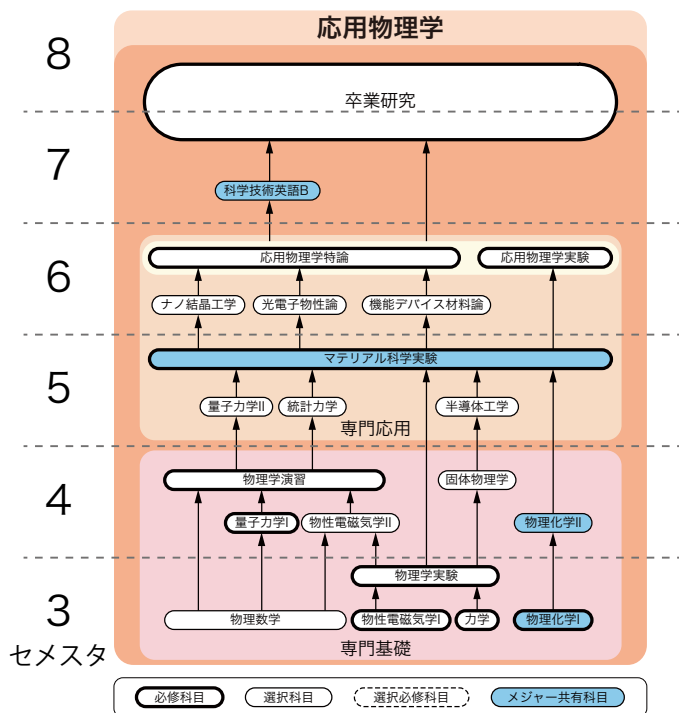


○専門教育科目

開講 セメスタ	科 目
3セメスタ	デジタル回路、[複素解析★、複素解析演習 微分・ベクトル解析★、微分・ベクトル解析演習、情報処理応用]
4セメスタ	電磁気学★、電磁気学演習、光学★、計測とセンサ★ [フーリエ解析★、電気回路★、電気回路演習]
5セメスタ	電子回路I、電磁波工学、アナログ信号処理 計測システム実験A★
6セメスタ	電子回路II、光エレクトロニクス、デジタル信号処理 計測システム、計測システム実験B★、電子計測研究実習★

★：必修科目、☆：選択必修科目、[]：メジャー共有科目

○応用物理学メジャー

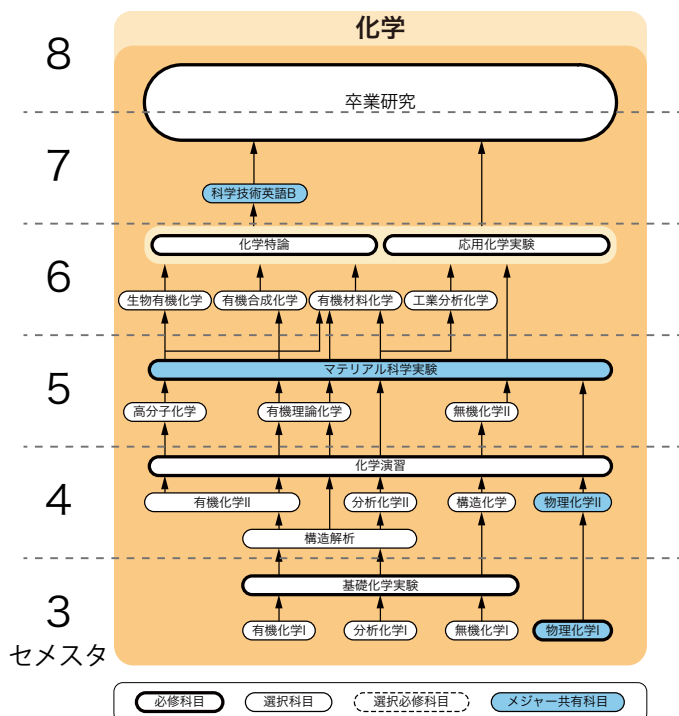


○専門教育科目

開講 セメスタ	科 目
3セメスタ	力学★、物性電磁気学I★、物理学数学、物理学実験★ [物理化学I★]
4セメスタ	物性電磁気学II、量子力学I★、固体物理学、物理学演習★ [物理化学II]
5セメスタ	量子力学II、統計力学、半導体工学 [マテリアル科学実験★]
6セメスタ	機能デバイス材料論、光電子物性論、ナノ結晶工学 応用物理学特論★、応用物理学実験★
7セメスタ	[科学技術英語B]

★：必修科目、☆：選択必修科目、[]：メジャー共有科目

○化学メジャー

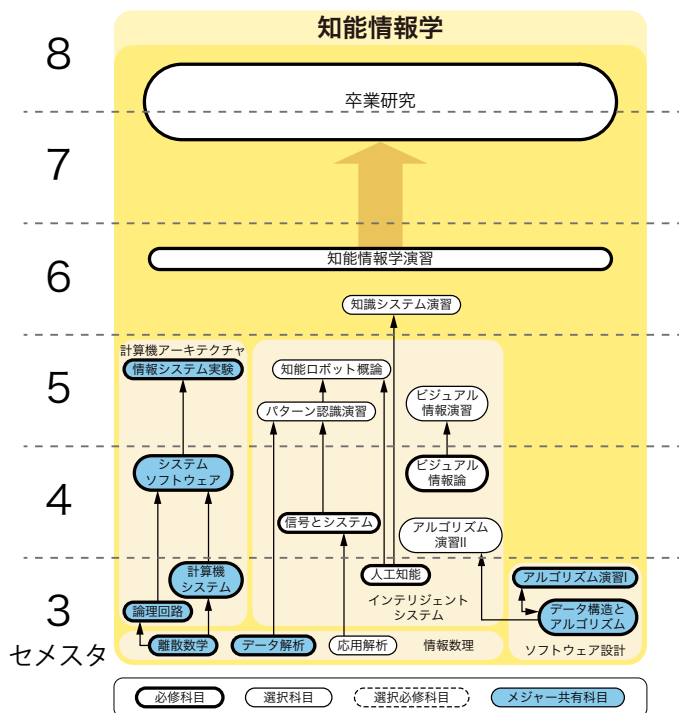


○専門教育科目

開講 セメスタ	科 目
3セメスタ	有機化学I、無機化学I、分析化学I、基礎化学実験★ [物理化学I★]
4セメスタ	有機化学II、分析化学II、構造解析、構造化学、化学演習★ [物理化学II]
5セメスタ	有機理論化学、無機化学II、高分子化学 [マテリアル科学実験★]
6セメスタ	生物有機化学、有機合成化学、有機材料化学、工業分析化学 化学特論★、応用化学実験★
7セメスタ	[科学技術英語B]

★：必修科目、☆：選択必修科目、[]：メジャー共有科目

○知能情報学メジャー

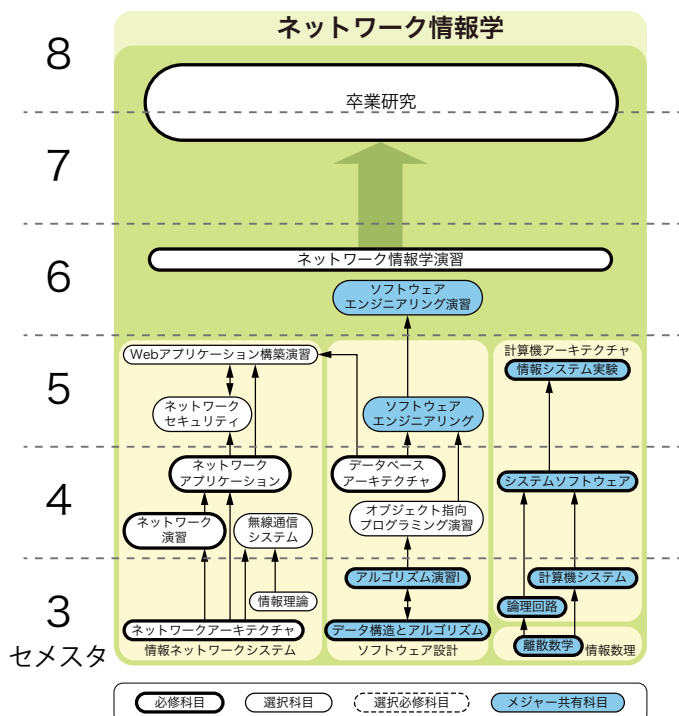


○専門教育科目

開講 セメスタ	科 目
3セメスタ	応用解析、人工知能★、[データ構造とアルゴリズム★ 計算機システム★、アルゴリズム演習I★、離散数学★ 論理回路★、データ解析★]
4セメスタ	信号とシステム★、ビジュアル情報論★ アルゴリズム演習II、[システムソフトウェア★]
5セメスタ	知能ロボット概論、パターン認識演習、ビジュアル情報演習 [情報システム実験★]
6セメスタ	知能システム演習、知能情報学演習★

★：必修科目、☆：選択必修科目、[]：メジャー共有科目

○ネットワーク情報学メジャー

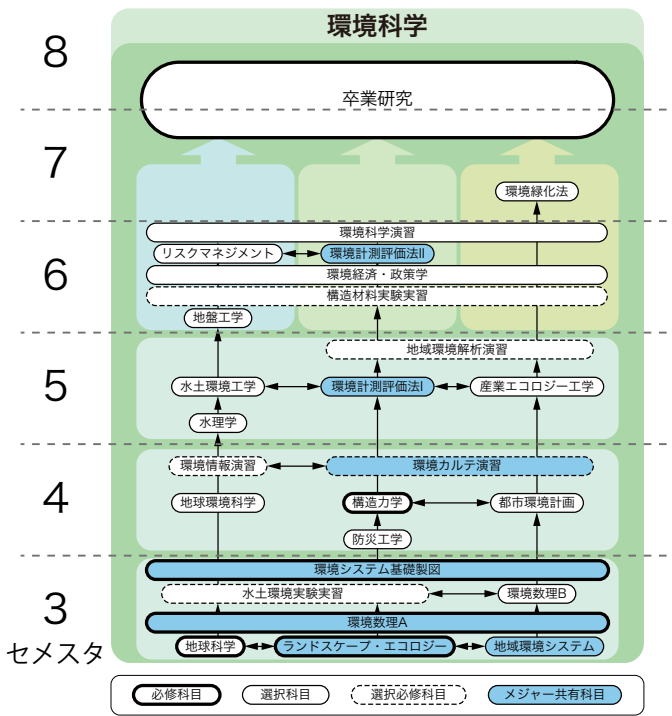


○専門教育科目

開講 セメスタ	科 目
3セメスタ	ネットワークアーキテクチャ★、情報理論 [データ構造とアルゴリズム★、計算機システム★ アルゴリズム演習I★、離散数学★、論理回路★]
4セメスタ	ネットワークアプリケーション★、ネットワーク演習★ データベースアーキテクチャ★、オブジェクト指向プログラミング演習 無線通信システム、[システムソフトウェア★]
5セメスタ	ネットワークセキュリティ、Webアプリケーション構築演習 [情報システム実験★、ソフトウェアエンジニアリング]
6セメスタ	ネットワーク情報学演習★ [ソフトウェアエンジニアリング演習]

★：必修科目、☆：選択必修科目、[]：メジャー共有科目

○環境科学メジャー

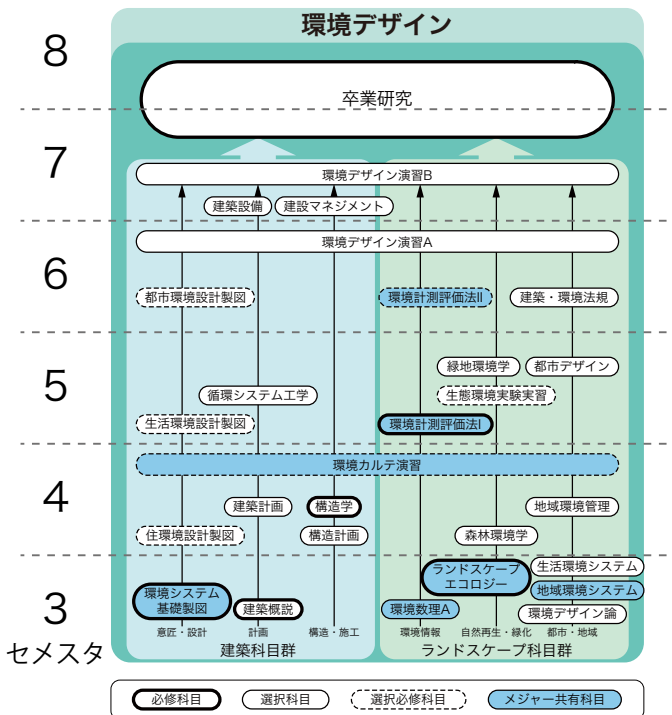


○専門教育科目

開講 セメスタ	科 目
3セメスタ	環境数理B、地球科学★、水土環境実験実習☆ [環境数理A★、環境システム基礎製図★ ランドスケープ・エコロジー★、地域環境システム]
4セメスタ	環境情報演習☆、地球環境化学、都市環境計画 構造力学★、防災工学、[環境カルテ演習☆]
5セメスタ	地域環境解析演習☆、水土環境工学、水理学 産業エコロジー工学、[環境計測評価法I]
6セメスタ	構造材料実験実習☆、地盤工学、環境経済・政策学 リスクマネジメント、環境科学演習、[環境計測評価法II]
7セメスタ	環境緑化法

★：必修科目、☆：選択必修科目、[]：メジャー共有科目

○環境デザインメジャー

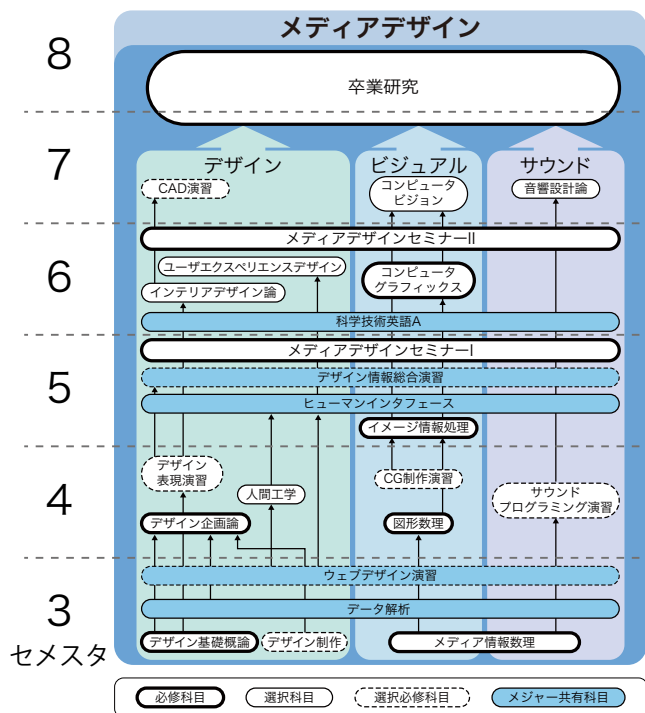


○専門教育科目

開講 セメスタ	科 目
3セメスタ	環境デザイン論、建築概説★、生活環境システム [環境数理A、環境システム基礎製図★ ランドスケープ・エコロジー★、地域環境システム]
4セメスタ	森林環境学、構造学★、住環境設計製図☆、構造計画 建築計画、地域環境管理、[環境カルテ演習☆]
5セメスタ	緑地環境学、都市デザイン、生態環境実験実習☆ 生活環境設計製図☆、循環システム工学、[環境計測評価法I★]
6セメスタ	建築・環境法規、都市環境設計製図☆ 環境デザイン演習A、[環境計測評価法II☆]
7セメスタ	建設マネジメント、建築設備、建築デザイン演習B

★：必修科目、☆：選択必修科目、[]：メジャー共有科目

○メディアデザインメジャー

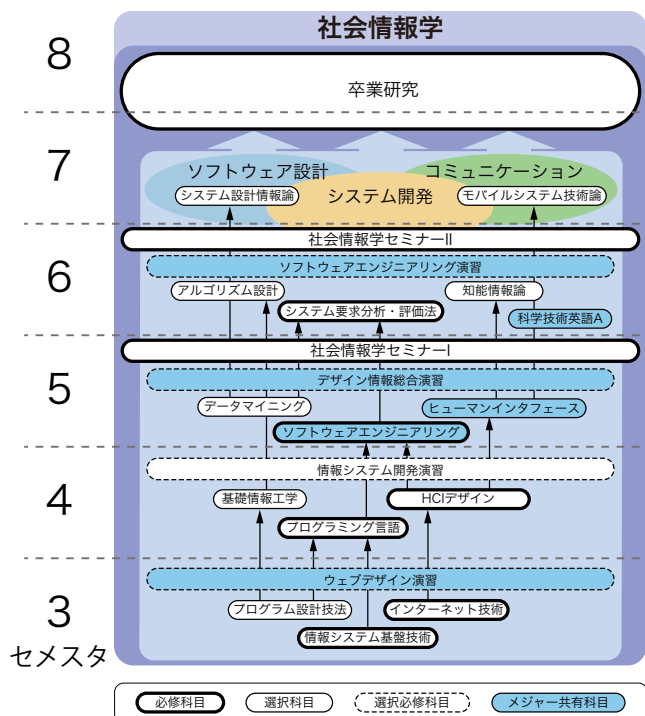


○専門教育科目

開講 セメスタ	科 目
3セメスタ	メディア情報数理★、デザイン制作☆、デザイン基礎概論★ [ウェブデザイン演習☆、データ解析★]
4セメスタ	デザイン企画論★、図形数理★、サウンドプログラミング演習☆ CG制作演習☆、デザイン表現演習☆、人間工学
5セメスタ	イメージ情報処理★、メディアデザインセミナーI★ [デザイン情報総合演習☆、ヒューマンインタフェース]
6セメスタ	メディアデザインセミナーII★、インテリアデザイン論 コンピュータグラフィックス★ ユーザエクスペリエンスデザイン、[科学技術英語A]
7セメスタ	コンピュータビジョン、音響設計論、CAD演習☆

★：必修科目、☆：選択必修科目、[]：メジャー共有科目

○社会情報学メジャー

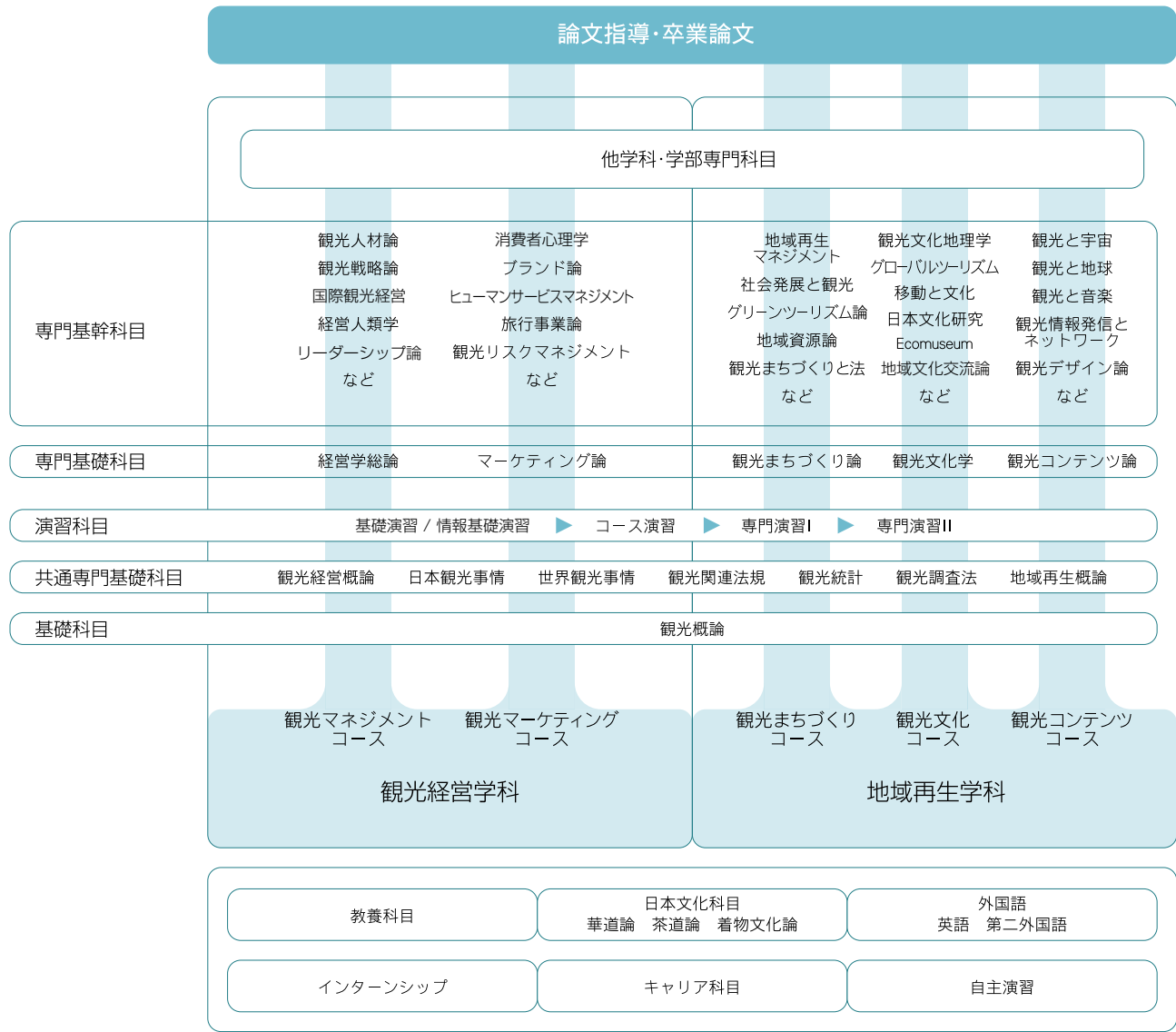


○専門教育科目

開講 セメスタ	科 目
3セメスタ	情報システム基盤技術★、インターネット技術★ プログラム設計技法、[ウェブデザイン演習☆]
4セメスタ	プログラミング言語★、HCIデザイン★ 情報システム開発演習☆、基礎情報工学
5セメスタ	社会情報学セミナーI★、データマイニング [デザイン情報総合演習☆、ヒューマンインタフェース ソフトウェアエンジニアリング★]
6セメスタ	システム要求分析・評価法★、社会情報学セミナーII★ 知能情報論、アルゴリズム設計 [科学技術英語A、ソフトウェアエンジニアリング演習☆]
7セメスタ	システム設計情報論、モバイルシステム技術論

★：必修科目、☆：選択必修科目、[]：メジャー共有科目

■観光学部カリキュラム Curriculum / Faculty of Tourism



●コース専門科目

●観光経営学科	
観光マネジメントコース	観光人材論／観光地マネジメント論／観光戦略論／リーダーシップ論／意思決定論／経営人類学／国際観光経営 観光行動論／企業税務／アカウンティング／航空産業論／宿泊産業概論／外国語文献講読 他
観光マーケティングコース	消費者心理学／ブランド論／ホスピタリティマネジメント／ヒューマンサービスマネジメント／観光と医療／旅行事業論 民法／観光リスクマネジメント／観光経済学／マーケティング・リサーチ／外国語文献講読 他
●地域再生学科	
観光まちづくりコース	地域再生マネジメント／アーバンツーリズム論／社会発展と観光／景観形成論／グリーンツーリズム論／中山間地域再生論 スローフード論／森林レクリエーション論／地域資源論／行政法／観光まちづくりと法／景観まちなみ保全論／外国語文献講読 他
観光文化コース	レジャー空間文化論／観光文化地理学／グローバルツーリズム／日本文化研究／移動と文化／Intercultural Communication Ecomuseum／Environmental Ethics／Pilgrimage／地域文化交流論／外国語文献講読 他
観光コンテンツコース	観光と宇宙／ミュージアムマネジメント／ビジュアルコミュニケーション／観光と地球／科学コミュニケーション論 観光のための数的推理／観光デザイン論／観光グラフィックデザイン／地域観光情報論／観光情報発信とネットワーク 観光と音楽／音楽プロデュースによる地域再生／外国語文献講読 他

人材育成モデル

観光エグゼクティブ

新たな観光ビジネスを斬新な構想のもとに企画し、その実現をプロデュースできる人材。具体的には、観光の諸問題、宿泊、移動（輸送）、物産、観光地管理、広報、マーケティング等をマネジメントできる多様な能力を有し、観光事業等の諸分野のリーダーとなるコア的人材を育成します。

観光・地域プランナー

行政（公務員）、観光産業、各種団体やNPOにおいて観光資源の開発および現資源の再構築等をはかり、観光行政、観光事業の発展を担う人材。地域再生を企画・実行できる人材として地域に密着し、地域の現況を理解し、地域資源の開発に資する能力を兼備した人材を育成します。

●ひろがる進路の可能性

旅行関連産業	旅行会社スタッフ/ツアー・コンダクター/ホテルスタッフ/運輸関連会社スタッフ/キャビンアテンダント/グランドスタッフ/通訳者 観光関連施設スタッフ/フード・サービススタッフ/観光関連プランナー/観光企業経営者・役員
国際機関・企業	国際機関スタッフ/NGO・NPOスタッフ/企業の国際交流スタッフ/ホテルスタッフ/観光コンサルタント/観光ジャーナリスト
ベンチャー企業の創設	観光実務や地域マネジメントを具体的な事例に基づいて学ぶケーススタディや、観光の新たな取り組みについて実践的に学ぶフィールドワークなど、本学科での学びを通じて起業家に求められる実践力を培います。
行政や地域づくり団体など	国家公務員/地方公務員/観光協会スタッフ/NPOスタッフ/観光振興のコンサルタント・プログラム開発者/研究者

特色あるカリキュラム

●日本文化を学ぶカリキュラム●

日本文化への理解を深め、「日本」を伝える力を養成。

毎年、多くの外国人観光客が日本を訪れています。観光学部では、こうした観光客に日本文化を伝えていくため、高度な外国語運用能力とともに日本文化に関する幅広い教養を身につけるカリキュラムを設定。日本の伝統文化の代表格である茶道、華道、着物文化などについてそれぞれの分野の専門家が授業を行います。外国人への文化紹介を想定し、英語を交えた授業も展開。高度なコミュニケーション能力を培います。



●総合英語プログラム (IEP) ●

英語を総合的、多角的に学習。

語学としての英語、英語で開講される科目、英文専門書の講読など、英語を、そして広く英語で学習します。時事英語、ツーリズム・イングリッシュ、リーディング、ライティング、プレゼンテーションで、英語をブラッシュアップし、英語で、観光、環境、地域再生、経済、経営などの専門分野を学びます。グローバルに活躍するツールとしての英語力を目指します。

●幅広い教養教育●

リベラルアーツを重視した、教養教育を展開。

観光学部では、観光という「人と人のふれあい」が必須となる産業分野で活躍する人材を育成するために、リベラルアーツを重視した教養教育を展開します。文理総合の国立大学ならではの幅広い教養科目を用意しています。

●高度なIT教育●

観光分野に求められる高度なITスキルを培う。

観光分野において、顧客が求める情報の量・質・スピードはより高度なものになっています。そこで観光学部では情報処理能力の習得を最重要課題のひとつと位置づけ、システム工学部を中心とするこれまでの教育・研究実績に基づくIT教育を実施しています。

●インターンシップ・実習●

全学生が国内外でのインターンシップを体験。

観光系企業や自治体などのインターンシップは、重要なキャリア形成の場であり、観光を担うリーダーを育む上で欠かせないものです。本学部では、国内、海外および、短期、中期のいずれかのインターンシップを全学生が体験することを推奨し、多様なプログラムを設けています。

6 卒業・修了評価基準

学修の成果にかかる評価及び卒業または修了の認定に当たっての基準に関すること

■各学部の単位認定・成績評価基準

	単位認定	成績評価
教育学部 Faculty of Education	試験及び平素の学習成績の考査による。ただし、担当教員が特に認めた場合には、試験又は平素の学習成績の考査のいずれかによることができる。（教育学部規則 第8条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。ただし、「S」「A」「B」「C」の評価区分が困難な科目で別に定めるものについては、「合」の評価を示し単位認定をすることができる。 (1) S (90点以上) 合格 (2) A (80点以上 90点未満) 合格 (3) B (70点以上 80点未満) 合格 (4) C (60点以上 70点未満) 合格 (5) F (60点未満) 不合格（教育学部規則 第11条）
経済学部 Faculty of Economics	授業科目の単位は、試験又は授業中の評価等によって認定する。（経済学部規則 第10条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。ただし、評価をすることが困難な科目については、評価を「合」と表示し、単位を認定することができる。 (1) 80点以上 A 合格 (2) 70点以上 B 合格 (3) 60点以上 C 合格 (4) 60点未満 不合格（経済学部規則 第11条）
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	一の授業科目を履修した学生に対し、当該授業科目の担当教員が試験の上、単位を与えるものとする。（システム工学部規則 第9条）	授業科目の成績は、100点満点とし、次のとおり区分する。 (1) 90点以上 S 合格 (2) 80点以上 A 合格 (3) 70点以上 B 合格 (4) 60点以上 C 合格 (5) 60点未満 F 不合格 卒業研究及び学外実習の授業科目については、合格・不合格をもつて評価する。（システム工学部規則 第10条）
観光学部 Faculty of Tourism	授業科目の単位は、試験又は授業中の評価等によって認定する。（観光学部規則 第9条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。ただし、評価をすることが困難な科目については、評価を「合」と表示し、単位を認定することができる。 (1) 90点以上 A+ 合格 (2) 80点以上 A 合格 (3) 70点以上 B 合格 (4) 60点以上 C 合格 (5) 60点未満 F 不合格（観光学部規則 第10条）

■大学院各研究科の単位認定・成績評価基準

	単位認定	成績評価
教育学研究科 Graduate School of Education	各授業科目の単位の認定は、試験又は研究報告等により、授業科目担当教員が行う。（大学院教育学研究科規則 第10条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。 (1) 優 (80点以上) 合格 (2) 良 (70点以上) 合格 (3) 可 (60点以上) 合格 (4) 不可 (60点未満) 不合格（大学院教育学研究科規則 第13条）
経済学研究科 Graduate School of Economics	履修した各授業科目の合否は、試験又は研究報告等によって認定する。（大学院経済学研究科規則 第8条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。ただし、評価をすることが困難な科目については、評価を「合」と表示し、単位を認定することができる。 (1) 80点以上 A 合格 (2) 70点以上 B 合格 (3) 60点以上 C 合格 (4) 60点未満 不合格 合格した授業科目については、所定の単位を与える。（大学院経済学研究科規則 第9条）
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	授業科目の単位の認定は、試験又は研究報告等により、各授業科目担当教員が行う。（大学院システム工学研究科規則 第8条）	履修した授業科目の成績は、優・良・可・不可の評語で表し、優・良・可を合格、不可は不合格とする。（大学院システム工学研究科規則 第9条）
観光学研究科 Graduate School of Tourism	履修した各授業科目の合否は、試験又は研究報告等によって認定する。（大学院観光学研究科規則 第13条）	授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり区分する。ただし、評価をすることが困難な科目については、評価を「合」と表示し、単位を認定することができる。 (1) 90点以上 A+ 合格 (2) 80点以上 A 合格 (3) 70点以上 B 合格 (4) 60点以上 C 合格 (5) 60点未満 不合格（大学院観光学研究科規則 第14条）

■各学部の卒業要件・判定基準

	卒業要件・卒業判定
教育学部 Faculty of Education	各課程及びコースにおける履修方法並びに卒業に要する最低履修単位数は、別表第1のとおりとする。(教育学部規則 第6条) <別表1> http://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00018678/551.pdf <最低履修単位数>132単位
経済学部 Faculty of Economics	学生は、卒業するためには、学則第33条の規定に基づき4年以上在学し、学部教務細則に定める履修方法により、124単位以上を修得しなければならない。 第3年次に編入学した学生は、卒業するためには、学則第33条の規定に基づき2年以上在学し、学部教務細則に定める履修方法により、84単位以上を修得しなければならない。(経済学部規則 第7条) 卒業の判定は、教授会の議を経て、学長が認定する。(経済学部規則 第12条)
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	学生は、別に定める履修方法により、次に定める以上の単位を修得しなければならない。 システム工学科 132単位 編入学等を許可された者の履修方法等については、別に定める。(システム工学部規則 第7条) 学生が本学部に所定の年限以上在学し、学科所定の授業科目を履修し、所定の単位以上を修得した場合は、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。(システム工学部規則 第12条)
観光学部 Faculty of Tourism	学生は、卒業するためには、学則第33条の規定に基づき4年以上在学し、別に定める履修方法により、124単位以上を修得しなければならない。(観光学部規則 第7条) 卒業の判定は、教授会の議を経て学長が認定する。(観光学部規則 第11条)

■大学院各研究科の修了要件・認定基準

	修了要件・修了認定
教育学研究科 Graduate School of Education	学生は、指導教員の指導のもとに、別表に定める各専攻別の履修方法により30単位以上を修得しなければならない。(大学院教育学研究科規則 第6条) 最終試験は、所定の単位を修得し、かつ、修士論文を提出した者につき、当該修士論文を中心として筆記又は口述により行う。(大学院教育学研究科規則 第15条) 課程修了の認定は、研究科会議が行う。(大学院教育学研究科規則 第16条)
経済学研究科 Graduate School of Economics	学生は、研究科修士課程(以下「課程」という。)を修了するためには、学則第56条に規定された標準修業年限以上在学し、研究科教務細則に定める履修方法により、30単位以上を修得しなければならない。(大学院経済学研究科規則 第6条) 学位規程第8条及び第9条に基づいて行われる修士論文の審査及び最終試験に関する事項は、研究科教務細則に定める。(大学院経済学研究科規則 第11条) 課程修了の認定は、研究科会議の議を経て研究科長が認定する。(大学院経済学研究科規則 第12条)
システム工学研究科 Graduate School of Systems Engineering	学生は、指導教員の指示によって授業科目を履修し、必要な研究指導を受けるものとする。 博士前期課程においては、授業科目を30単位以上履修しなければならない。 博士後期課程においては、授業科目を10単位履修しなければならない。(大学院システム工学研究科規則 第5条) 課程修了の認定は、研究科会議の議を経て研究科長が行う。(大学院システム工学研究科規則 第11条)
観光学研究科 Graduate School of Tourism	学生は、授業科目を履修し、必要な研究指導を受けるものとする。 博士前期課程においては、研究科会議が別に定める履修方法により授業科目を30単位以上修得しなければならない。 博士後期課程においては、研究科会議が別に定める履修方法により授業科目を14単位修得しなければならない。(大学院観光学研究科規則第7条) 課程修了の認定は、研究科会議の議を経て研究科長が行う。(大学院観光学研究科規則 第17条)

7 キャンパス・教育研究施設

校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

■ キャンパスマップ Campus Map

○ 栄谷団地 Sakaedani Campus

- 1 本部共通棟
(事務局・保健センター)
University Administration Building
(Administration Office, Health Support Center)
- 2 経済学部南棟
Faculty of Economics South Building
- 3 経済学部講義棟
Faculty of Economics Classroom Building
- 4 経済学部本館
Faculty of Economics Main Building
- 5 観光学部棟
Faculty of Tourism Building
- 6 附属図書館・「教養の森」センター
学生センター・紀州経済史文化史研究所
(Café Pitter-Patter)
University Library, Center for Human Enrichment, Student Center
Institute of Kisyu Economic and Cultural History
- 7 システム情報学センター
Center for Information Science
- 8 ふれあい会館(GENKI食堂・フルール)
Fureai Hall
- 9 システム工学部A棟
Faculty of Systems Engineering A Building
- 10 総合研究棟・協働教育センター(クリエ)・
宇宙教育研究所
Integrated Research Building,
Center for Collaborative Learning and Teaching,
Institute for Education on Space
- 11 システム工学部B棟
Faculty of Systems Engineering B Building
- 12 産学連携・研究支援センター
防災研究教育センター
Center for Joint Research and Development Building,
Center for Research and Education of Disaster Reduction
- 13 教育学部音・美・技棟
Faculty of Education Music, Art, Performance Building
- 14 附属教育実践総合センター
Center for Education Research and Training Building
- 15 教育学部本館
Faculty of Education Main Building
- 16 教育学部講義棟
Faculty of Education Classroom Building
- 17 基礎教育棟・国際教育研究センター
(講義室・キャリアセンター)
General Education Building,
Center for International Education and Research
- 18 大学会館
(第一食堂・第二食堂(レストラン)・焼きたてパン工房・売店・ATM)
University Hall
- 19 栄谷会館
Sakaedani Hall
- 20 小運動場
Small Playing Ground
- 21 球技コート
Courts
- 22 弓道場
Archery Range
- 23 サークル棟
Extra-Curricular Activities Building
- 24 テニスコート
Tennis Courts
- 25 体育館(武道場)
Gymnasium(Martial Arts Hall)
- 26 野球場(多目的グラウンド)
Multi-Purpose Ground
- 27 サークル棟
Extra-Curricular Activities Building
- 28 実験農場
Laboratory Farm
- 29 電波観測通信施設
Facility of Radio Observation and Communication
- 30 陸上競技場
Athletic Field
- 31 サークル・合宿研修棟
Extra-Curricular Activities Building
- 32 プール
Swimming Pool
- 33 学生寮(男子)
Dormitories(Male)
- 34 学生寮(女子)
Dormitories(Female)

● AED(自動体外除細動器)設置場所

● ソフトバンク Wi-Fiスポット

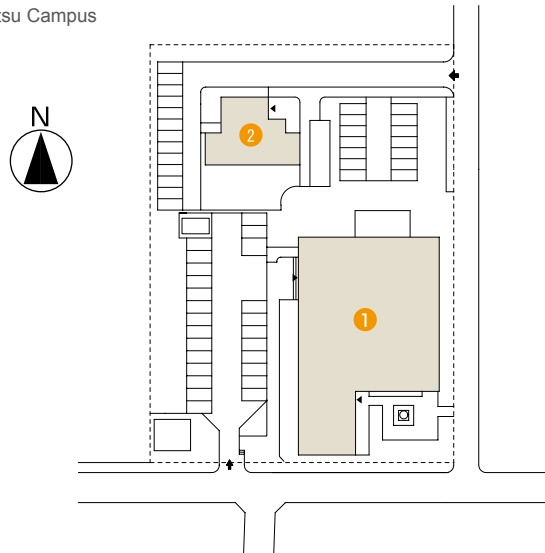
- 附属図書館棟1F:PCコーナー・カフェ
- 附属図書館棟1F:学生センター前ロビー
- 大学会館:第一食堂

至 和歌山大学前駅 通学路
(徒歩・自転車のみ)

至 和歌山大学前駅
通学路

○西高松団地(松下会館、国際交流会館)

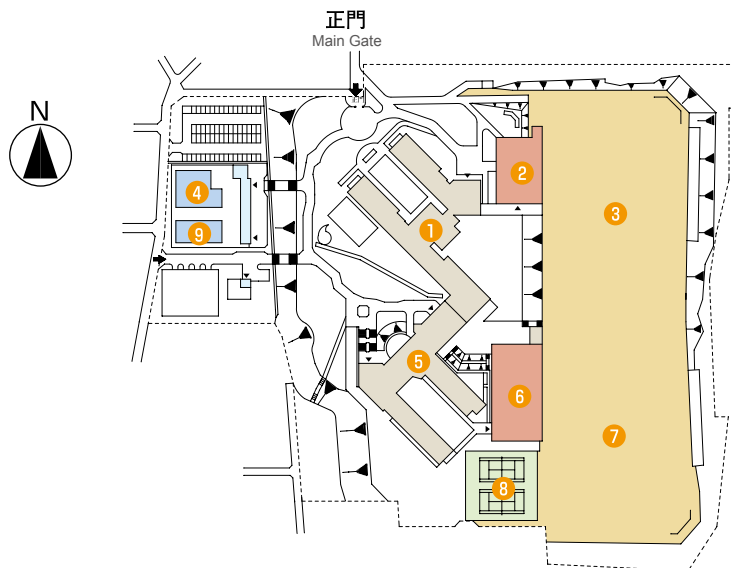
Nishitakamatsu Campus



1. 松下会館(地域連携・生涯学習センター)
Matsushita Memorial Hall
(Center for Community Cooperation and Lifelong Learning)
2. 国際交流会館
International House

○吹上団地(附属小学校・中学校)

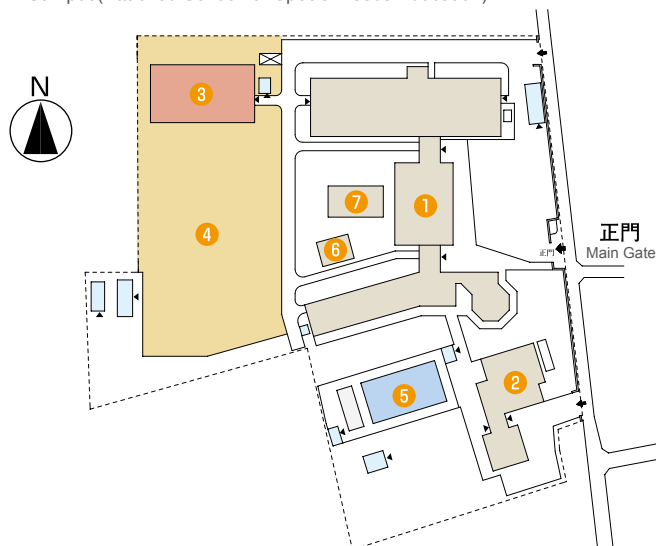
Fukiage Campus(Attached Primary School and Junior High School)



1. 附属小学校
Attached Primary School
2. 体育館(小学校)
Gymnasium(Primary School)
3. 運動場(小学校)
Playground(Primary School)
4. プール(小学校)
Swimming Pool(Primary School)
5. 附属中学校
Attached Junior High School
6. 体育館(中学校)
Gymnasium(Junior High School)
7. 運動場(中学校)
Playground(Junior High School)
8. テニスコート(中学校)
Tennis Courts(Junior High School)
9. プール(中学校)
Swimming Pool(Junior High School)

○西小二里団地(附属特別支援学校)

Nishikoniri Campus(Attached School for Special needs Education)



1. 附属特別支援学校
Attached School for Special needs Education
2. 日常生活学習棟
Living Skills Training House
3. 体育館
Gymnasium
4. 運動場
Playground
5. プール
Swimming Pool
6. 作業実習室
Job Practice Room
7. 金工・木工室
Metal and Wood Workshop

■学生支援施設

○学生寮

学生に勉学と生活の場を提供し、そこにおける共同生活を通じて、学生の自主性と社会性を養い社会人としての人間形成に寄与することを目的としています。学寮の管理運営については学生寮規則に従って行われますが、学生の関与する寮務は、寮委員会があたり、寮生の総意に基づいて、寮生親睦会・文化活動・スポーツ・保健衛生などを行っています。

○室数・収容人員

区分 Classification	室数 No. of Rooms	収容人員 Capacity
男子寮 Dormitory(Male)	120	120
女子寮 Dormitory(Female)	50	50

※費用については 56 ページに記載



○国際交流会館(留学生寮)

この会館は、本学と外国の大学等との教育、学術及び文化の交流の推進に寄与するため、外国人留学生及び外国人研究者の住居、その他国際交流に関する事業の用に供することを目的として設置されたものです。

- ・ 入居期間：原則として 1 年間
- ・ 設 備：ベッド、テーブル、机、ロッカー、靴箱、ミニキッチン、ユニットバストイレ、空調機、インターネット
- ・ 所 在 地：和歌山市西高松（和歌山市の中心付近）

※費用については 56 ページに記載



○室数・収容人員

室数 No. of Rooms	収容人員 Capacity
24	24

■体育施設

○屋内体育施設

体育館〔武道場〕 (柔道場、剣道場、卓球場、アリーナ) Gymnasium(Martial Arts Hall)	1
トレーニングルーム Training Room	1



○屋外体育施設

弓道場 Archery Range	1
テニスコート Tennis Courts	10 面
球技コート Courts	4 面
陸上競技場 Athletic Field	1
小運動場 Small Playing Ground	1
野球場 (多目的グラウンド) Multi-Purpose Ground	1
プール Swimming Pool	1

■課外活動施設

施設名	戸数等
課外活動施設Ⅰ Extra-Curricular Activities Building (Ⅰ)	31 (おもに部室 30 団体が利用)
課外活動施設Ⅱ Extra-Curricular Activities Building (Ⅱ)	9 (自治会室・部室等と合宿研修施設)
課外活動施設Ⅲ Extra-Curricular Activities Building (Ⅲ)	5 (文化系クラブ練習室)
課外活動施設Ⅳ Extra-Curricular Activities Building (Ⅳ)	3 (部室 3 団体が利用)
課外活動施設Ⅴ Extra-Curricular Activities Building (Ⅴ)	1 (部室 1 団体が利用)
大学会館2F University Hall 2F	8 (文化系クラブ練習室)
協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching	3 (各プロジェクトが利用)

■学生団体

学生主組織協議会

- 学生自治会
- 新聞会
- 体育会
- 文化部連合会
- 大学祭実行委員会
- 生協学生委員会

体育系クラブ

- | | | |
|--------------|------------|---------------|
| ●陸上競技部 | ●女子サッカー部 | ●女子合気道部 |
| ●水泳部 | ●ラグビー部 | ●少林寺拳法部 |
| ●硬式野球部 | ●卓球部 | ●陸上ホッケー部 |
| ●準硬式野球部 | ●バドミントン部 | ●自動車部 |
| ●硬式庭球部 | ●男子ハンドボール部 | ●コート部 |
| ●ソフトテニス部 | ●女子ハンドボール部 | ●サイクリング部 |
| ●男子バスケットボール部 | ●柔道部 | ●アメリカンフットボール部 |
| ●女子バスケットボール部 | ●剣道部 | ●競技スキー部 |
| ●男子バレーボール部 | ●弓道部 | ●フライングディスク部 |
| ●女子バレーボール部 | ●空手道部 | |
| ●男子サッカー部 | ●男子合気道部 | |

文化系クラブ

- | | | | |
|-----------|--------------------|-----------------|--------------|
| ●ESS | ●軽音楽部 | ●プラットホーム(不登校支援) | ●ESA |
| ●会計学研究会 | ●流行音楽倶楽部 | ●将棋部 | ●茶道部 |
| ●混声合唱団 | ●絵画部 | ●BOX(CG制作) | ●アカペラ・アンサンブル |
| ●交響楽団 | ●文芸部 | ●写真部 | |
| ●吹奏楽団 | ●STEP(知的障害児余暇活動支援) | ●演劇部 | |
| ●マンドリンクラブ | ●mycom | ●邦楽部 | |

サークル

- | | | | |
|---------------------|-----------------------|---------------------|----------------------------|
| ●アドベンチャー(バレーボール) | ●ソフトボール同好会 | ●exdream(同人誌・ゲーム) | ●ジャズ研究会 Uncle Jam |
| ●ライムライト(硬式テニス) | ●坐禅サークル 清凜会 | ●国際交流委員会 IEC | ●映像研究会 四畳半 |
| ●ファインプレー(軟式野球) | ●ブザービーター(バスケットボール) | ●バドミントンサークル うめっしゅ | ●LONG SLOW DISTANCE(ジョギング) |
| ●硬式テニス同好会 オレンジ | ●ねこねこねこ | ●ダブルマリガン(カードゲーム) | ●書道サークル梅筆 |
| ●テニスサークル らげっと | ●FC Nova(フットサル) | ●agrico.(農山村支援) | ●美術館部 |
| ●NEW JACK(ダンス) | ●マジシャンずサークル | ●祭礼同好会 4183 | ●レスリングサークル |
| ●ブルードロップス(スキューバ) | ●和(バレーボール) | ●W.U.B(ビリヤード) | |
| ●ラテンアメリカ研究会(ガテマラ支援) | ●JOY4(サッカー) | ●アカペラサークル和音-kazune- | |
| ●老鍾愛好会 ぱりあぶるこんでんさ | ●よさこいサークル「和歌乱」 | ●Sound Energy(軽音楽) | |
| ●すいすい(知的障害者余暇活動支援) | ●Free Style(バスケットボール) | ●パタースコッチ 夜空を見上げる会 | |

■休息のとれる施設など

施設名		席数等
大学会館 University Hall	第一食堂	400席
	第二食堂 (レストラン)	50席
	焼きたてパン工房	20席
	生協購買店	—
	ラウンジ	40席
ふれあい会館 Fureai Hall	GENK I 食堂	150席
	フルール	60席
教育学部本館棟 Faculty of Education Main Building	学生ロビー	ソファー・テーブルセット
経済学部講義棟 Faculty of Economics Classroom Building	ラウンジ	ソファー・テーブルセット
システム工学部A棟 Faculty of Systems Engineering A Building	リフレッシュラウンジ (3～8階)	240席
システム工学部B棟 Faculty of Systems Engineering B Building	リフレッシュラウンジ (1～6階)	160席
観光学部本館棟 Faculty of Tourism Main Building	多目的スペース	テーブルセット
附属図書館 University Library	カフェ ピッタパッタ	60席

■土地・建物 Land and Buildings

平成27年9月1日現在
As of September 1, 2015

区分 Classification		土地 Land	建物 Building
栄谷団地	Sakaedani Campus	414,588㎡	86,510㎡
本部共通棟(保健センター)	University Administration Building(Health Support Center)		2,675
設備棟	Facilities Building		800
特高受変電施設	High-Voltage Institution Specially		291
教育学部本館棟	Faculty of Education Main Building		10,814
講義棟	Classroom Building		1,351
音・美・技棟	Music, Art, Performance Building		2,080
附属教育実践総合センター棟	Center for Educational and Training Building		539
経済学部本館棟	Faculty of Economics Main Building		4,087
講義棟	Classroom Building		3,090
南棟	South Building		1,125
システム工学部A棟	Faculty of Systems Engineering A Building		13,754
B棟	B Building		8,975
総合研究棟	Integrated Research Building		4,423
観光学部本館棟	Faculty of Tourism Main Building		668
観光学部研究棟	Faculty of Tourism Research Building		1,000
観光ドーム・スタジオ棟	Faculty of Tourism Dome&Studio Building		125
基礎教育棟	General Education Building		4,699
図書館棟	University Library Building		9,975
システム情報学センター棟	Center for Information Science Building		2,235
産学連携・研究支援センター棟	Center for Joint Research and Development Building		1,150
大学会館	University Hall		2,632
ふれあい会館	Fureai Hall		574
体育館(武道場)	Gymnasium(Martial Arts Hall)		2,814
弓道場	Archery Range		188
課外活動施設I	Extra-Curricular Activities Building (I)		801
課外活動施設II	Extra-Curricular Activities Building (II)		493
課外活動施設III	Extra-Curricular Activities Building (III)		312
課外活動施設IV	Extra-Curricular Activities Building (IV)		99
課外活動施設V	Extra-Curricular Activities Building (V)		16
学生寄宿舎(男子)	Dormitories(Male)		2,208
学生寄宿舎(女子)	Dormitories(Female)		996
栄谷会館	Sakaedani Hall		436
その他	Miscellaneous Buildings		1,085
西高松団地	Nishitakamatsu Campus	5,002㎡	2,366㎡
松下会館(地域連携・生涯学習センター)	Matsushita Memorial Hall(Center for Community Cooperation and Lifelong Learning)		1,686
国際交流会館	International House		680
吹上団地	Fukiage Campus	64,696㎡	16,059㎡
附属小学校・附属中学校	Attached Primary School・Attached Junior High School		16,059
西小二里団地	Nishikoniri Campus	12,141㎡	3,793㎡
附属特別支援学校	Attached School for Special needs Education		3,793
その他	Other Buildings	(371)㎡	277㎡
艇庫	Boat House	(371)	277
職員宿舎	Staff's Residence	11,818㎡	6,198㎡
海南宿舎	Kainan Residences	7,386	3,562
西高松宿舎	Nishitakamatsu Residences	4,432	2,636
合計 Sum Total		508,245(371)㎡	115,203㎡

()内は、外数で借地を示す。

() show the area of leased land.



観光学部本館棟



観光学部研究棟

8 授業料・入学料

授業料、入学料、その他の大学が徴収する費用に関すること

■検定料・入学料・授業料

平成27年9月1日現在
As of September 1, 2015

	授業料	入学料	検定料
学部 Faculty	年額 535,800 円	282,000 円	17,000 円
大学院 Graduate Schools	年額 535,800 円	282,000 円	30,000 円

■学生寮、下宿等の費用

平成27年9月1日現在
As of September 1, 2015

○学生寮

寮費（部屋代）月額 4,300 円 ※光熱水料別途必要

○国際交流会館（留学生寮）

宿舍費：月額 9,500 円

〔賃料 5,900 円＋共益費 3,600 円（水道料含む）〕

○下宿・アパート

市街地及び大学周辺のアパート等の標準的な間取りは洋室・キッチンでバス・トイレ・給湯シャワーは標準設備。大学周辺の平均的な家賃は 35,000 円程度。 ※契約時に保証金等が必要

9 学生の修学及び生活支援

大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

■授業料免除

経済的な理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀な学生に対し授業料を免除することにより修学を容易にする制度です。また各期毎の納期前 6 カ月以内に、学資負担者が死亡した、または地震、風水害等の災害を受けた学生については、学業は問わず、経済的な理由のみでこの制度を適用することが出来ます。

■平成25年度 授業料免除及び奨学金貸与実績

授業料免除者(前期・後期の延べ人数)	1,206 人
奨学金貸与者(平成27年1月時点での第一種・第二種の延べ人数)	1,827 人

■奨学金

奨学金は、以下の日本学生支援機構の奨学金、地方公共団体等の奨学金、和歌山大学家計急変奨学金に区分されます。

○日本学生支援機構の奨学金

経済的理由により修学が困難で優れた学生に対し、日本学生支援機構が学資として奨学金を貸与する制度です。奨学金には、第一種（無利子）と第二種（有利子）があり、学生の申請に基づき、本学が家計や学力等の申込基準を満たしている者の中から選考の上、同機構へ推薦し採用者が決定されます。なお、基準を満たしていても予算の関係で採用されない場合があります。

その他、家計急変（学資負担者の失職・破産・事故・病気・死亡もしくは火災・風水害等の災害等）により、緊急に奨学金の貸与を希望する場合にも、申請の上、奨学金の貸与が受けられる制度があります。

○地方公共団体等の奨学金

地方公共団体や各種企業団体等が扱っている育英奨学金制度があります。本学に直接募集のないものもありますので、各団体、出身の都道府県等に直接問い合わせるようにしてください。

○和歌山大学家計急変奨学金

学資負担者等の家計急変（失職・破産・事故・病気・死亡・もしくは火災・風水害等の災害等）により、修学の継続が経済的に困難となった学生で他の経済的支援を受けられない学生の学費・生活費を援助することを目的とした制度です。

奨学金は、無利子・貸与制で、一時金 10 万円、20 万円、30 万円から学生が選択し、本人の申請に基づき、本学で選考の上、決定します。

■教育サポートシステム(LiveCampus)

大学生活において必要な情報を管理している web システムのことです。インターネットが利用できる学内・学外のコンピューターを使って、時間割の確認、履修登録・修正、成績の閲覧、休講や教室変更の確認、学生呼出しの確認、スケジュールの管理などができます。

■キャリア教育・就職支援体制

学生満足度の向上を目標に掲げる和歌山大学では、学生が希望の進路を実現できるように充実した就職サポート体制を整えております。

キャリアセンターは、全学の学生を対象にしたキャリア支援事業や、求人情報「求人 NAVI」サイト管理、学内での「合同企業説明会」の開催、インターンシップなどの計画・実施、海外からの留学生向けの就職での相談や情報提供をする本部のほか、各学部でも学生一人ひとりのニーズにあわせた相談等を行っております。

■障がい学生支援

障がいがあるなどの理由により、修学上様々な悩みや相談ごとをかかえる学生への支援を行うため、障がい学生支援室を設置しています。

■各種支援窓口

支援分類	窓 口	対応時間 (土・日・祝日・年末年始を除く)
学生生活支援	学生なんでも相談室 (学生センター)	平日の 9:00 ~ 17:15
修学相談	各学部教務係	平日の 9:00 ~ 17:00
就職支援	キャリアセンター	平日の 10:00 ~ 17:00
留学生支援	国際教育研究センター (IER)	平日の 8:30 ~ 17:15
学生の心身の健康管理支援	保健センター	平日の 9:00 ~ 17:00
ハラスメント相談窓口	各学部・事務局の担当教職員 (※詳しくは和歌山大学 HP を参照下さい)	平日の 9:00 ~ 16:30
障がい学生支援	障がい学生支援室	平日の 9:00 ~ 17:00

10 各種資料

■国等の採択プログラム及び財政支援一覧 －大学の特色ある取組など－

- 1 国立大学の機能強化予算
「国際観光学研究センターの設置」(平成27年度採択)
- 2 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)
「わかやまの未来を切り拓く若者を育む“紀の国大学”の構築」(平成27年度採択)
- 3 産業界のニーズに対応した教育改善、充実体制整備事業
「産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」(平成24年度採択)
- 4 大学生の就業力育成支援事業
「学生の人生の支援と自立・自律プロジェクト」(平成22年度採択)
- 5 文部科学省戦略的大学連携支援事業
「観光を主軸とした知の拠点形成のための大学連携和歌山」(平成20年度採択)
- 6 現代的教育ニーズ取組支援プログラム
「紀ノ川流域をフィールドとする自主演習－地域のシニアアドバイザーと学生のコラボレーションによる地域の活性化－」(平成19年度採択)
- 7 大学・大学院における教員養成推進プログラム
「県教委と大学によるジョイント・カレッジ」(平成17年度採択)

■地域貢献

○公開講座 Open Lectures

平成26年度実施状況 Open Lectures (Fiscal Year 2014)

講座名 Titles	開設期間 Period	募集人員 Student Number	対象者 Audience	備考 Other
2014年度土曜講座(全12回)	通年	100	一般市民	地域連携・生涯学習センターによる実施
地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー(全2回)	1月31日、2月21日	100	一般市民	地域連携・生涯学習センターによる実施
研修員特別企画公開講座(全3回)	11月22日、1月24日、 3月22日	100	一般市民	地域連携・生涯学習センターによる実施
ジオカフェ	1月13日	30	一般市民	南紀熊野サテライトによる実施
南紀熊野サテライト同窓会企画公開講座	2月14日	50	一般市民	南紀熊野サテライトによる実施
南紀熊野観光塾	10月17日～2月10日	30	一般市民	南紀熊野サテライトによる実施
南紀熊野サテライトキャンパスオープンセミナー	8月31日、2月28日	50	一般市民	南紀熊野サテライトによる実施
わだい浪切サロン(全10回)	通年	50	一般市民	岸和田サテライトによる実施
まちかど土曜染交(全23回)	通年	25	小中学生	和歌山市和歌山大学地域連携推進協議会主催 和歌山市、和歌山大学共催
宇宙カフェ(全12回)	通年	20	中学生～一般	和歌山市和歌山大学地域連携推進協議会主催 和歌山市、和歌山大学共催
歴史かふえ(全3回)	通年	20	中学生～一般	和歌山市和歌山大学地域連携推進協議会主催 和歌山市、和歌山大学共催
ワダイノカフェー 情報デザインー	通年	20	中学生～一般	和歌山市和歌山大学地域連携推進協議会主催 和歌山市、和歌山大学共催
缶サット甲子園和歌山大会	7月13日	制限無し	高校生	宇宙教育研究所による実施
ロケットガール&ボーイ養成講座	1月12日～3月29日	20	高校生	宇宙教育研究所による実施
加太宇宙イベント	3月27日～3月29日	制限無し	小学生～一般	宇宙教育研究所による実施
公開シンポジウム 「第2回和歌山を、宇宙からの防災・教育の拠点に」	3月22日	250	一般市民	宇宙教育研究所による実施
連続講義「ポスト3.11の思考と前進」(全10回)	通年	50	大学生、一般	和歌山大学防災研究教育センター・被災地支援団体FORWARD主催 NHK和歌山放送局協力
公開国際シンポジウム「第2回アグリビジネスの展開と教育」	2月9日	制限無し	一般市民	アグリビジネス推進室による実施
観光カリスマ講座(全6回)	10月9日～2月26日	150	大学生、一般	和歌山大学観光学部 和歌山県主催 公益財団法人和歌山県観光連盟、和島興産株式会社後援
地域活性化システム論	11月29日	45	大学生、一般	和歌山大学観光学部による実施

1. 平成26年度貸借対照表 Balance Sheet (Fiscal Year 2014)

(単位:千円)

資産 Assets	固定 Fixed	有形 Tangible	28,451,945	負債・ 純資産 Liabilities・ Equity	負債 Liabilities	固定 Fixed	5,162,176
		無形 Intangible	111,071			流動 Current	1,655,046
		その他 Others	33,088			計 Total	6,817,223
		計 Total	28,596,104		資本 Equity	資本金 Capital Stock	27,255,879
	流動 Current	現金・預金 Cash and Deposit	1,129,897			資本剰余金 Capital Surplus	△ 4,191,167
		その他 Others	54,750			利益剰余金 Earned Surplus	△ 101,183
		計 Total	1,184,647			計 Total	22,963,528
	計 Total				29,780,751	計 Total	

2. 平成26年度損益計算書 Profit and Loss Statement (Fiscal Year 2014)

(単位:千円)

経常費用 Ordinary Expenses	7,453,479	経常収益 Ordinary Revenues	7,363,757
臨時損失 Extraordinary Expenses	48,322	臨時利益 Extraordinary Revenues	4,879
当期総損失 Current Gross Loss	△ 131,148	目的積立金取崩額 Reversal of Target Reserve	2,016
計 Total	7,370,653	計 Total	7,370,653

3. 平成26年度 キャッシュ・フロー計算書 Cash Flow Statement (Fiscal Year 2014)

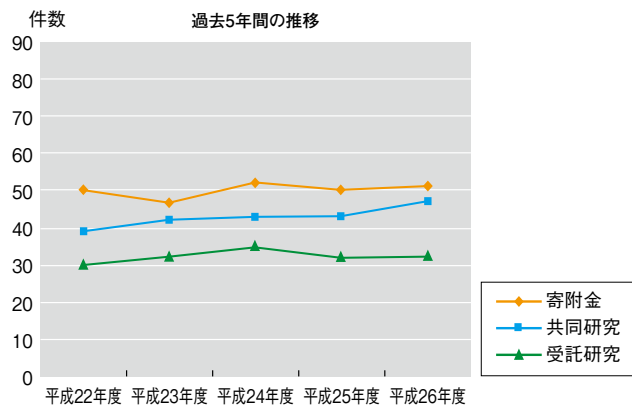
(単位:千円)

業務活動 Operating Activities	支出 Disbursement	△ 6,769,495
	収入 Receipt	7,179,995
	計 Total	410,500
投資活動 Investing Activities	支出 Disbursement	△ 1,058,806
	収入 Receipt	283,469
	計 Total	△ 775,338
財務活動 Financing Activities	支出 Disbursement	△ 91,591
	収入 Receipt	0
	計 Total	△ 91,591
資金減少額 Net Decrease		△ 456,429
資金期首残高 Cash and Cash Equivalent at the Beginning		1,506,316
資金期末残高 Cash and Cash Equivalent at the End		1,049,887

注) 上記1~3表の金額の端数処理は、各項目ごとに千円未満の四捨五入を行っているため、合計額と合致しないことがあります。

4. 平成26年度 外部資金受入状況 Private Research Grants (Fiscal Year 2014)

区分 Classification	件数 Number	金額(千円) Amount(Thousand Yen)
寄附金 Scholarship	52	73,417
共同研究 Community Cooperative Research	47	24,876
受託研究 Research Funds	31	158,391
計 Total	130	256,684



■学歌・校章

University Anthem and Emblem

■学歌

University Song

岩崎真澄 作詞
片山 颯太郎 作曲

- 山脈^{なみ}の つらなる果てに
黒潮^{くろしお}は 岸边を洗う
若人^{わこうど}は 夢はるけし
希望 大学 われら
- 綿雲^{わたがし}の 空はさやけく
自ら^{みづか}を 治めてあゆむ
若人は 誓かたし
自由 大学 われら
- 目路^{めじ}はるか 真理^{まこと}への道
ひたぶるに 求めてすすむ
若人は 誇たかし
理想 大学 われら

■第二学歌

University Song II

「ぼくらのWADAI CAMPUS」

宝子 作詞/作曲

キャンパスへの長い階段を 駆け上がると
いつもの仲間がいる 僕らのUNIVERSE
あふれる緑と さわやかな風に吹かれ
今日も一日 ここから始まる

僕らのWADAI CAMPUS さあ自由に描こう
君のCOLOR 僕のCOLOR 新しいページへ

青春なんて言葉は 照れくさいけど
君と笑い 学びあう 僕らのUNIVERSE
今の時代の風を抱きしめて
明日はいつも ここから始まる

僕らのORANGE FLAG さあはためかそう
君のWIND 僕のWIND
未来へと羽ばたけ

いつの時代も変わらない 夢はいつもここから始まる

僕らのWADAI CAMPUS 声高く歌おう
君のPHRASE 僕のPHRASE
明日へと

僕らのWADAI CAMPUS 声高く歌おう
君のPHRASE 僕のPHRASE
明日へと響け

■校章

University Emblem



和歌山大学校章

黒地は、紀州の象徴である黒潮を、白地はその波頭を表しています。

■シンボルマーク

Symbol Mark



和歌山大学シンボルマーク

「自然」「活気がある」「地域密着」「グローバル」の4つのキーワードをもとに、これまで使用されてきた校章と併せたコミュニケーションマークとして新たにシンボルマークを制定しました。

沿革 History

明治8年5月 (1875)	教育学部の前身となる和歌山県師範学校が設立される	平成9年4月 (1997)	特殊教育特別専攻科・発達障害教育専攻を設置
大正11年10月 (1922)	経済学部の前身となる和歌山高等商業学校が設立される	[平成19年4月特別支援教育特別専攻科に名称変更]	
昭和24年5月 (1949)	国立学校設置法(昭和24年法律第150号)により、和歌山師範学校、和歌山青年師範学校、和歌山経済専門学校を包括して、学芸学部、経済学部の2学部を設置	平成10年4月 (1998)	システム情報学センターを設置
昭和26年4月 (1951)	附属小学校及び附属中学校を設置	平成11年4月 (1999)	生涯学習教育研究センターを設置
昭和29年4月 (1954)	経済学部に商業教員養成課程を設置(平成12年3月廃止)	教育学部に学校教育教員養成課程、国際文化課程、自然環境教育課程、生涯学習課程を設置(国際文化課程、自然環境教育課程、生涯学習課程は平成20年度から募集停止)	大学院経済学研究科に市場環境学専攻を設置
昭和31年 (1956)	学芸学部中学(2年)課程を廃止	平成12年4月 (2000)	地域共同研究センターを設置
昭和32年4月 (1957)	経済学専攻科経理経営専攻を設置(昭和41年3月廃止)	平成13年4月 (2001)	大学院システム工学研究科修士課程システム工学専攻を設置
昭和35年 (1960)	学芸学部小学(2年)課程を廃止	平成14年4月 (2002)	学生自主創造科学センターを設置
昭和38年 (1963)	学芸学部文理課程を廃止	平成16年4月 (2004)	大学院システム工学研究科博士課程システム工学専攻を設置
昭和39年4月 (1964)	経済学部に経済学科及び経営学科(平成11年3月廃止)を設置	国立大学法人化	
昭和40年4月 (1965)	学芸学部小学校教員養成課程(平成19年度3月廃止)及び中学校教員養成課程を設置(平成17年3月廃止)	国際教育研究センターを設置	
昭和41年4月 (1966)	経済学部に産業工学科を設置(平成12年3月廃止)	紀南サテライト部を設置(平成19年10月サテライト部に包括)	
	学芸学部を教育学部に名称変更	岸和田サテライトを設置(平成19年10月サテライト部に包括)	
	教育学部に特別教科(理科)教員養成課程を設置(平成元年3月廃止)	経済学部に観光学科を設置(平成20年度から募集停止)	
	大学院経済学研究科修士課程理論経済学経済史専攻を設置(昭和45年3月廃止)	サテライト部(紀南サテライト、岸和田サテライト)を設置	
昭和42年4月 (1967)	教育学部に養護学校教員養成課程を設置(平成17年9月廃止)	観光学部(観光経営学科、地域再生学科)を設置	
昭和43年4月 (1968)	大学院経済学研究科修士課程に経済学専攻及び経営学専攻を設置	教育学部を改組し、学校教育教員養成課程(教育科学コース、教科教育コース、児童教育コース)と総合教育課程(文化研究プログラム、環境教育プログラム)の二課程とする	
昭和45年4月 (1970)	経済学専攻科・産業工学専攻を設置(平成11年3月廃止)	サテライト部に和歌山大学サテライトを開設	
昭和51年4月 (1976)	附属養護学校を設置[平成19年4月附属特別支援学校に名称変更]	防災研究教育センターを設置	
昭和60年9月 (1985)	教育学部 栄谷キャンパスに移転	宇宙教育研究所を設置	
昭和62年9月 (1987)	経済学部 栄谷キャンパスに移転	産学連携・社会連携活動を総括する運営支援組織として	
平成元年4月 (1989)	教育学部に文化社会課程(平成15年3月廃止)及び生産科学課程を設置(平成15年3月廃止)	地域創造支援機構を設置	
平成3年4月 (1991)	附属教育実践研究指導センターを設置	地域共同研究センターを産学連携・研究支援センターに名称変更	
	[平成13年4月附属教育実践総合センターに名称変更]	生涯学習教育研究センターを地域連携・生涯学習センターに名称変更	
平成4年10月 (1992)	経済学部に昼間主コース・夜間主コース(平成19年度から募集停止)を設置	紀南サテライトを南紀熊野サテライトに名称変更	
	経済学部にビジネスマネジメント学科(経営学科を改組)及び社会システム設計学科(平成14年9月廃止)を設置	和歌山大学サテライトを和歌山大学まちかどサテライトに名称変更	
平成5年4月 (1993)	大学院教育学研究科修士課程学校教育専攻及び教科教育専攻を設置	教育・入試・学生支援を担当する運営支援組織として	
平成6年4月 (1994)	教育学部に臨時教員養成課程(1年課程)・発達障害教育教員養成課程を設置(平成9年3月廃止)	教育学生支援機構を設置	
平成7年10月 (1995)	システム工学部(情報通信システム学科、光メカトロニクス学科、精密物質学科、環境システム学科、デザイン情報学科の5学科)を設置(平成27年度から募集停止)	大学院観光学研究科修士課程観光学専攻を設置	
平成8年4月 (1996)	教育学部に総合科学課程を設置(平成15年3月廃止)	「教養の森」センターを設置	
	経済学部に市場環境学科を設置	大学院観光学研究科博士課程観光学専攻を設置	
		保健管理センターを保健センターに名称変更	
		学生自主創造科学センターを協働教育センターに名称変更	
		システム工学部にシステム工学科を設置	

歴代学長 Presidents

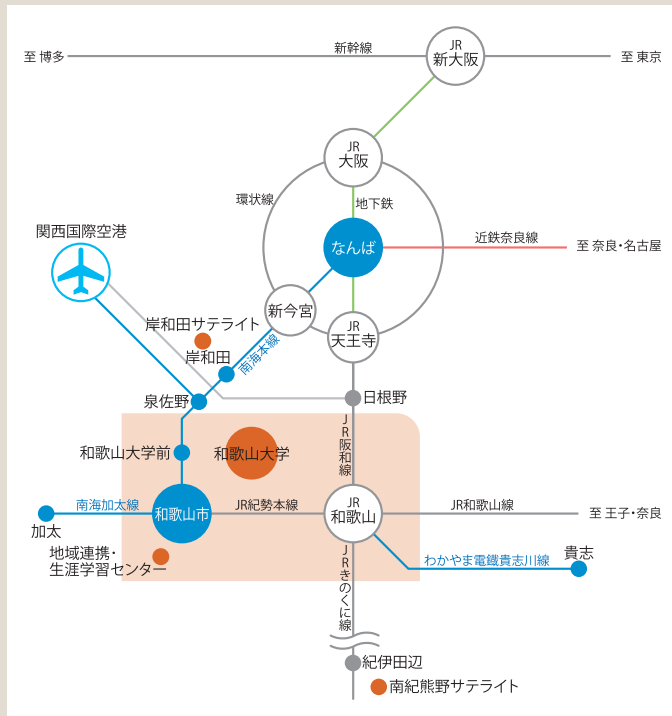
氏名 Name	就任期間 Period of Take Office	氏名 Name	就任期間 Period of Take Office	氏名 Name	就任期間 Period of Take Office
糸魚川 祐三郎 Yuzaburo Itoigawa	1949. 5.31~1955. 3.30	角山 榮 Sakae Tsunoyama	1975. 4.22~1975. 7.31	守屋 駿 二 Shunji Moriya	1996. 8. 1~2002. 7.31
岩崎 真澄 Masumi Iwasaki	1955. 3.31~1961. 3.30	神野 璋一郎 Shoichiro Kono	1975. 8. 1~1978. 7.31	小田 章 Akira Oda	2002. 8. 1~2009. 7.31
後藤 清 Kiyoshi Goto	1961. 3.31~1964. 3.30	筒井 信定 Nobusada Tsutsui	1978. 8. 1~1981. 7.31	山本 健 慈 Kenji Yamamoto	2009. 8. 1~2015. 3.31
齋藤 利三郎 Risaburo Saito	1964. 3.31~1969. 4.21	池田 芳次 Yoshitsugu Ikeda	1981. 8. 1~1987. 7.31	瀧 寛 和 Hirokazu Taki	2015. 4. 1~
廣橋 次郎 Jiro Hirohashi	1969. 4.22~1972. 4.21	小野 朝 男 Asao Ono	1987. 8. 1~1993. 7.31		
香山 時彦 Tokihiko Kayama	1972. 4.22~1975. 4.21	浅野 敏 Sho Asano	1993. 8. 1~1996. 7.31		

■部局等所在地 Addresses and Telephone Numbers

名称 Name	郵便番号 Zip Code	所在地 Address	電話番号 Telephone
事務局 Administration Office	640-8510	和歌山市栄谷 930 930, Sakaedani, Wakayama City	073-457-7007
大学会館 University Hall	//	//	——
学生寮 (男子) Dormitories(Male)	//	//	——
学生寮 (女子) Dormitories(Female)	//	//	——
国際交流会館 International House	641-0051	和歌山市西高松 1 丁目 7-20 1-7-20, Nishitakamatsu, Wakayama City	——
教育学部 Faculty of Education	640-8510	和歌山市栄谷 930 930, Sakaedani, Wakayama City	073-457-7206
附属教育実践総合センター Center for Educational Research and Training	//	//	073-457-7537
附属農場 Laboratory Farm	//	//	073-457-7397
附属小学校 Attached Primary School	640-8137	和歌山市吹上 1 丁目 4-1 1-4-1, Fukiage, Wakayama City	073-422-6105
附属中学校 Attached Junior High School	//	//	073-422-3093
附属特別支援学校 Attached School for Special needs Education	641-0031	和歌山市西小二里 2 丁目 5-18 2-5-18, Nishikoniri, Wakayama City	073-444-1080
経済学部 Faculty of Economics	640-8510	和歌山市栄谷 930 930, Sakaedani, Wakayama City	073-457-7607
経済研究所 Institute of Economic Research	//	//	073-457-7633
経済計測研究所 Institute of Economics and Econometrics	//	//	073-457-7641
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	//	//	073-457-8005
観光学部 Faculty of Tourism	//	//	073-457-8547
観光教育研究センター Center for Tourism Education and Research	//	//	073-457-8553
附属図書館 University Library	//	//	073-457-7905
「教養の森」センター Center for Human Enrichment	//	//	073-457-7130
システム情報学センター Center for Information Science	//	//	073-457-7177
地域連携・生涯学習センター (松下会館) Center for Community Cooperation and Lifelong Learning (Matsushita Memorial Hall)	641-0051	和歌山市西高松 1 丁目 7-20 1-7-20, Nishitakamatsu, Wakayama City	073-427-4623
産学連携・研究支援センター Center for Joint Research and Development	640-8510	和歌山市栄谷 930 930, Sakaedani, Wakayama City	073-457-7575
防災研究教育センター Center for Research and Education of Disaster Reduction	//	//	073-457-7558
保健センター Health Support Center	//	//	073-457-7965
紀州経済史文化史研究所 Institute of Kishu Economic and Cultural History	//	//	073-457-7891
協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching	//	//	073-457-8504
宇宙教育研究所 Institute for Education on Space	//	//	073-457-8503
国際教育研究センター Center for International Education & Research	//	//	073-457-7524
国際観光学研究センター (仮称) 設置準備室 Center for Tourism Research	//	//	073-457-7025
サテライト Satellite			
南紀熊野サテライト Nanki Kumano Satellite	646-0011	田辺市新庄町 3353-9 3353-9 Shinjyoucho, Tanabe City	0739-23-3977
岸和田サテライト Kishiwada Satellite	596-0014	岸和田市港緑町 1-1 1-1, Minatomidorimachi, Kishiwada City	072-433-0875

Access Map

■ 電車でのアクセスマップ

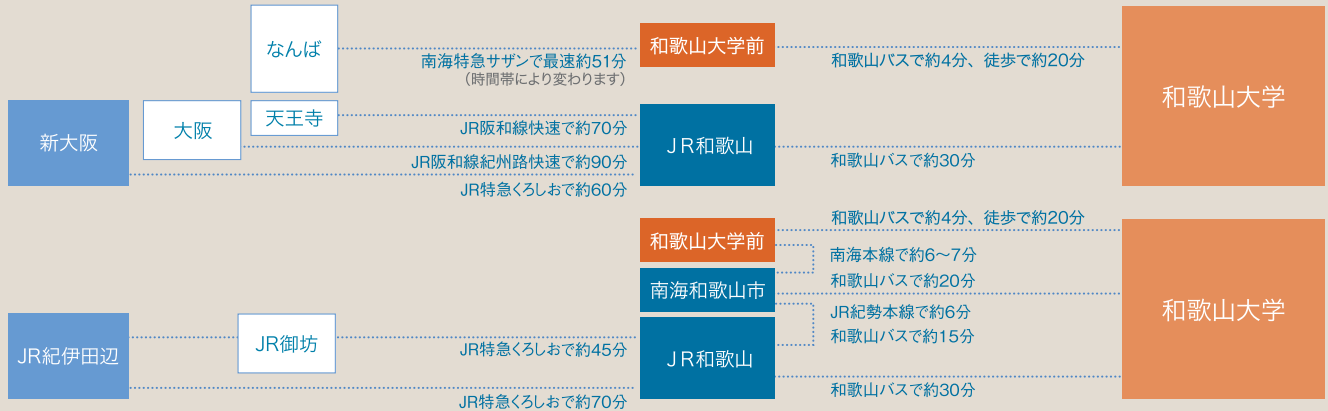


■ アクセスマップ

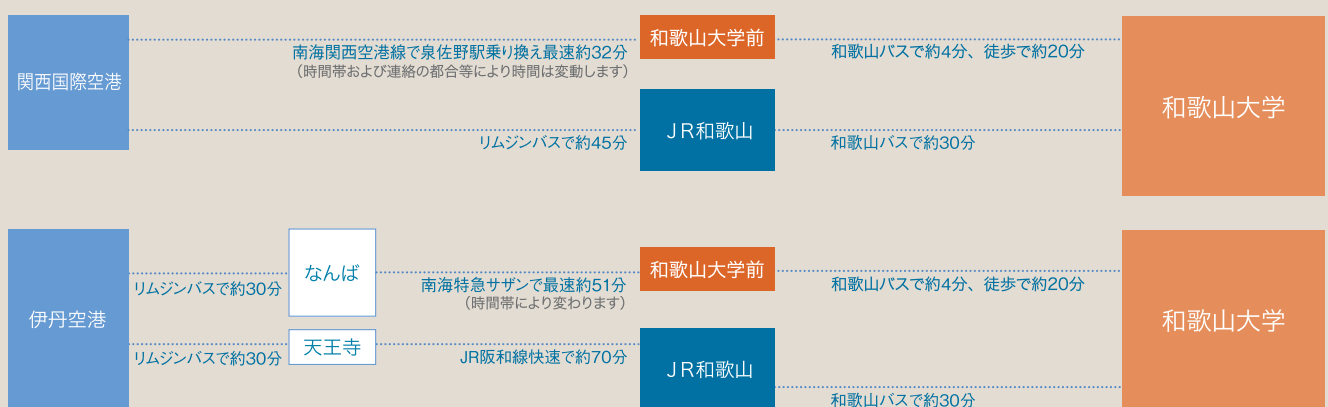


南海「和歌山大学前」駅から和歌山バスで約4分
 南海「和歌山市」駅から和歌山バス(6番・7番乗場)で約20分
 JR「和歌山」駅から和歌山バス(4番乗場)で約30分

● 電車でのアクセス



● 空港からのアクセス





和歌山大学概要

outline of wakayama univ.

■発行： 2015年10月
published : October, 2015

■編集： 和歌山大学広報室
edited by
public relations office
wakayama univ.